

令和4年度  
事業報告書

社会福祉法人 宮城県障がい者福祉協会

# 目 次

## 社会福祉事業

A 法人本部	・・・	1
B 杏友園（障害者支援施設）	・・・	7
C ふぼう（障害者支援施設）	・・・	20
D 啓生園（障害者支援施設）	・・・	33
E 第二啓生園（就労継続支援B型事業）	・・・	44
F 宮城県障害者福祉センター（指定管理施設）	・・・	52
G オアシス（特定相談支援事業）	・・・	67

## 公益事業

H 地域公益事業	・・・	72
I 宮城県障害者社会参加推進センター（受託事業）	・・・	76
J 幸町ウェルフェア温水プール（補助事業）	・・・	84
K 宮城県障害者総合体育センター（指定管理施設）	・・・	90
L 肢体不自由児協会事業	・・・	100

事業報告書の付属明細書	・・・	107
-------------	-----	-----

## A 法人本部

令和2年1月、国内初の新型コロナウイルス感染症患者が発生した当時と、3年以上経過した現在では、感染防止策やマニュアルの精度も向上しました。各施設および事業所では、利用者本位のサービスが提供できるよう工夫を凝らしながら、意思決定の支援に配慮し、業務を継続してきました。

理事会や評議員会等は、感染症対策を徹底し、参集型により滞りなく開催できました。毎月定例の施設長会議、社労士打合せ会等は、その時々状況に応じてハイブリット型で実施しました。

改正育児・介護休業法に伴い、就業規則を整備し周知に努めたところ、初めて男性の育児休業取得者が出ました。「働きやすい環境づくり」「働きがいのある魅力的な職場づくり」に繋がる取組みを今後も検討します。

昨年度スタートした人事評価制度は、本格的な運用までもう少し時間をかけ、より有効なものになるよう準備しています。

### 1 理事会および評議員会に関すること

#### (1) 理事会

場所：宮城県障害者福祉センター

開催月日	出席者数 (定数)	監事 出席	審 議 事 項
6月6日	11/12 (6~12名)	3/3	(1)決議事項 第1号議案 令和3年度事業報告及び決算並びに監査報告について 第2号議案 第1次補正予算(案)について 第3号議案 令和4年度定時評議員会の招集について 第4号議案 定款施行細則の変更について その他 (2)報告事項 報告1 人事の発令について 報告2 日身連会長表彰について
9月30日	12/12 (6~12名)	3/3	(1)決議事項 第1号議案 第2次補正予算(案)について 第2号議案 育児・介護休業等に関する規則の改正について その他 (2)報告事項 報告1 会長の専決事項について 報告2 会長及び常務理事の職務執行状況について 報告3 市町村協会の現況について 報告4 第二啓生園 デジタル化業務進捗状況について 報告5 懲戒処分について

12月16日	12/12 (6~12名)	3/3	(1)決議事項 第1号議案 第3次補正予算(案)について その他 (2)報告事項 報告1 上半期に係る事業報告および監事監査について 報告2 令和4年度宮城県障がい者福祉協会会長表彰について 報告3 肢体不自由児協会事業 車いす送迎自動車について 報告4 第二啓生園 デジタル化業務進捗状況について 報告5 懲戒処分について
3月17日	11/12 (6~12名)	2/3	(1)決議事項 第1号議案 第4次補正予算(案)について 第2号議案 令和5年度事業計画(案)について 第3号議案 令和5年度資金収支予算(案)について 第4号議案 正職員給与規程、契約職員給与規程、パート職員賃金規程の改正について 第5号議案 役員賠償責任保険の契約について 第6号議案 施設長の任免について その他 (2)報告事項 報告1 会長の専決事項について 報告2 会長および常務理事の職務執行状況について (3)その他の報告 令和5年度年間行事計画について

(2) 評議員会

場所：宮城県障害者福祉センター

開催月日	出席者数 /定数	監事 出席	審 議 事 項
6月24日	14/15 (7~20名)	1/3	(1)報告事項 報告1 令和3年度事業報告について 報告2 人事の発令について 報告3 日身連会長表彰について (2)決議事項 第1号議案 令和3年度決算及び監査報告について 第2号議案 定款の変更について

(3) 常任理事会

場所：宮城県障害者福祉センター

開催月日	出席者	審 議 事 項
5月13日	会長 副会長2名 常務理事 理事兼施設長2名 事務局長 事務局次長 事務局事務員2名	(1)決議事項 議案1 令和4年度第1回理事会について その他
6月27日		※令和4年度定時評議員会における議題について、評議員からの提出がなかったため、開催せず

8月24日	会長 副会長2名 常務理事 理事兼施設長2名 事務局長 事務局次長 事務局事務員2名	(1)決議事項 議案1 令和4年度第2回理事会について 議案2 令和4年度市町村協会会議について 議案3 令和4年度協会長表彰被表彰者について (被表彰者選考委員会) その他
11月25日	会長 副会長2名 常務理事 理事兼施設長2名 事務局長 事務局次長 事務局事務員2名	(1)決議事項 議案1 令和4年度第3回理事会について その他
3月1日	会長 副会長2名 常務理事 理事兼施設長2名 事務局長 事務局次長 事務局事務員2名	(1)決議事項 議案1 令和4年度第4回理事会について その他 (2)報告事項 報告1 啓生園・第二啓生園建替えについて

## 2 監査等に関すること

### (1) 監事監査

場所：宮城県障害者福祉センター

開催月日	出席監事	出席役員および職員	監査の内容
5月26日	3/3	会長 常務理事 事務局長 事務局次長 各拠点会計責任者 および出納職員	令和3年度決算にかかる監査 ・事業報告(概要) ・法人全体決算報告 ・拠点区分ごとの事業報告および総務・経理関係等の監査 ・監査講評 ・監査報告書の作成
11月18日	3/3	会長 常務理事 事務局長 事務局次長 各拠点会計責任者 および出納職員	令和4年度中間監事監査 ・法人会計の説明 ・各事業、拠点区分ごとの上半期監査 ・監査講評 ・監査報告書の作成

### (2) 大藤会計事務所の巡回監査

場所：宮城県障害者福祉センター

監査者	対象	開催年月日	
大藤会計事務所	法人全拠点区分	令和4年	4月13日, 5月26日, 6月23日 7月21日, 8月25日, 9月22日 10月21日, 11月24日, 12月22日
		令和5年	1月26日, 2月24日, 3月23日

## 3 行政庁等への届出に関すること

月日	事項 / 提出先	内容
5月30日	断続的な宿直勤務許可 (仙台労働基準監督署)	宮城県障害者福祉センター

6月27日	社会福祉法人変更登記 (仙台法務局)	令和4年3月31日資産の総額の変更
6月28日	現況報告書 (仙台市健康福祉局)	社会福祉法第59条に基づく提出
7月1日	社会福祉法人変更登記 (仙台法務局)	理事長の重任(就任日:令和3年6月18日)
10月12日	就業規則変更届 (仙台労働基準監督署)	「育児休業等に関する規則および介護休業等に関する規則」 ・育児・介護休業法の改正に伴う規則の改正として、産後パパ育休(出生時育児休業)制度の創設、育児休業の分割取得等を追記
3月29日	就業規則変更届 (仙台労働基準監督署)	「正職員給与規程・契約職員給与規程・パート職員賃金規程」 ・働き方改革関連法により、月60時間を超える時間外労働に対する割増賃金率が50%に引き上げられることに伴う条文の改正
3月29日	時間外労働・休日労働に関する協定届 (仙台労働基準監督署)	労働基準法第36条に基づく協定書提出

#### 4 契約に関すること

##### (1) 競争入札関係

場所:宮城県障害者福祉センター

開催月日	会議名	出席者	内容
※該当なし			

#### 5 職員および施設運営に関すること

##### (1) 施設長会議

場所:宮城県障害者福祉センター

開催日	出席者	内容
原則として 毎月第2木曜日 午後に開催	会長 常務理事 事務局長 各事業所施設長 事務局次長	内容:各施設の状況と行事予定の報告 諸課題の検討 新型コロナウイルス感染症対策 他

##### (2) 労務管理打合せ会

場所:宮城県障害者福祉センター

開催日	出席者	内容
原則として 毎月第2木曜日 午前開催	顧問社会保険労務士 常務理事 事務局長 各事業所施設長 事務局次長	内容:労務管理の問題調整 ・労働契約(採用から退職まで)について ・改正育児・介護休業法について ・労務管理分野の法改正への対応について ・就業規則の確認と見直し 他

##### (3) 総務担当職員の打合せ会

場所:宮城県障害者福祉センター

開催日	出席者	内容
毎月 (大藤会計事務所 の巡回指導日 に開催)	本部事務局 各施設の総務担当者	内容:総務および会計に関する伝達と確認 ・福祉・介護職員処遇改善加算、特定処遇改善加算、 処遇改善臨時特例交付金、調整手当について ・令和3年度決算概要について ・団体総合生活補償保険について ・給与の一括した取扱いについて 他

## (4) 職員研修の開催

場所：宮城県障害者福祉センター

開催月日	出席者	内 容
4月4日	新任職員研修 講師：会長 常務理事 事務局長	目的：法人の理解を深める 内容：(1)法人組織並びに基本理念 (2)法人の各種事業 (3)福祉従事者としての職業倫理の基本 (4)社会福祉の動向と現状 (5)法人の就業規則とその他の諸規程 (6)職員の行動規範 (7)施設見学（仙台地区） 参加：新採用および年度途中の採用職員 計6名
11月7日	法人職員研修会 講師：仙台地区産業医 清治邦章先生	内容：飲酒教育「お酒と上手につき合うために」 対象：全職員

## (5) 職員対象の諸事業

開催月日	会議名	内 容
4月1日	進発式・辞令交付式	目的：新年度初日付の辞令を交付するとともに、法人役員の訓示を受けることで、新たな気持ちで新年度を始める 内容：辞令交付 昇任6名、正職員登用2名、新採用6名、異動5名 訓示 職員の決意表明 場所：宮城県障害者福祉センター
6月30日	職員表彰	目的：職員表彰規程に基づき、誠実に勤務した職員の功績を称える 内容：永年勤続表彰 勤続20年4名、10年6名 計10名に授与  ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、法人本部が各施設を訪問し、表彰式をおこなった

## (6) 懲戒処分委員会の開催

場所：宮城県障害者福祉センター

開催月日	委員構成	内 容
9月21日	委員：7名 常務理事 事務局長 理事兼施設長2名 施設長2名 職員代表	啓生園職員により、就業規則第71条2項に抵触する事案があり、懲戒処分委員会を開催して本人に弁明の機会を与えるとともに、処分を審議した。
11月18日	委員：7名 常務理事 事務局長 理事兼施設長2名 施設長2名 職員代表	啓生園職員による不祥事に関する管理職の処分について、懲戒処分委員会を開催して弁明の機会を与えるとともに、処分を審議した。

3月9日	委員：7名 常務理事 事務局長 理事兼施設長2名 施設長2名 職員代表	第二啓生園において、就業規則第11条の2(管理職等の服務心得)に抵触する事案があり、職務遂行状況を確認調査するため、懲戒処分委員会を開催して弁明の機会を与えとともに、処分を審議した。
------	--	---

## 6 会長の専決事項に関すること

年月日	事 項	内 容
12月21日	ふぼう 浴室改修について	「ふぼう拠点区分」 利用者の重度高齢化に伴い、埋め込み式の一般浴槽を撤去し、新たに入浴機器を購入することを承認した。  契約業者：株式会社アマノ 計3,174,600円
12月23日	「指名委員会規程」の改正	第5条(監事並びに関係者の出席)で、必須としている監事の出席を委員長が必要であると認める場合に変更。  改正日：令和5年1月1日
12月27日	「給食業務委託事業者選定委員会規程」の改正	第5条(監事並びに関係者の出席)で、必須としている監事の出席を委員長が必要であると認める場合に変更。  改正日：令和5年1月1日
通年随時	正職員採用の承認	各施設における正職員7名の採用を承認した。
通年随時	退職希望の承認	自己都合による退職希望者6名を承認した。



## B 杏友園（障害者支援施設）

令和4年度も新型コロナウイルス感染症の脅威から利用者の健康と生活の質を守ることに重点を置き支援してきました。感染症予防対策とまん延防止策を講じながら、生活介護・施設入所支援各事業の業務継続の検討、検証をおこない、様々な制限がある中でも利用者の方が楽しめるような行事や日中活動等を実施しました。

また、コロナ禍でも個別支援計画を実行するために、サービス管理責任者と生活支援員等が連携して、利用者の要望に沿った支援に努めました。感染症対策を徹底しながらの近隣の二市三町への外出、個別食事会や調理実習、余暇支援等を他職種とも連携して、利用者ニーズの充足実現に取り組みました。

新型コロナウイルス感染症対策を徹底していましたが、令和4年8月に利用者1名、令和5年1月に利用者2名への感染がありました。発生時には、感染症対策委員会を中心に、感染症対策を強化徹底して、各種関係機関との連携を図り、それ以上の感染を防ぐことができました。

施設整備については、県のICT補助事業にて施設内のインターネット環境構築整備ができたことで、タブレットを活用してのバイタル測定や感染症対策時にゾーン内での情報共有などで職員の業務軽減に繋げることができました。

また、世界的な物価高に影響されないように、国や県の助成金等を活用して、安定した施設運営に努めました。

利用者の障がいの重度化、高齢化により身体状況の低下がみられているため、健康管理体制に重点をおき、他職種との連携をより強化して、疾病予防の取組みと異常発見に努めました。

職員の資質向上については、介護福祉士実習の受け入れ再開や、新型コロナウイルス感染症対策としてオンラインを活用した研修を実施しました。

### 1 生活介護事業・施設入所支援（生活班）

個別支援については、これまで同様、サービス管理責任者が定期的にモニタリングをおこない、利用者一人ひとりのご希望を伺いながら個別支援計画を立てています。実施については、ケース担当を中心に職員全体で支援しています。

様々なニーズがある中で、希望が多い外出については、市中の感染状況をみながら、二市三町の範囲内で職員付き添いのもと感染対策をしっかりとおこないました。

外泊については、特別な場合を除いて未だ解除できない状況が継続しています。

クラブ活動については、数年実施できない状況が続き、所属していた利用者からも希望がでていないので中止のままとし、代わりに、昨年度後期から実施している日中活動を月に2回程実施できるように調整して、余暇支援の充実を図りました。

施設行事については、新緑会及び芋煮会を実施しています。

また、管理栄養士が栄養ケアマネジメントをおこない、利用者それぞれに合わせた栄

養支援計画をたて、ケアスタッフと連携して支援しています。また、季節に合わせた献立を工夫し、行事食として提供しました。

健康面では、医療機関との連携を図りながら、職員全体で速やかな情報共有をして、異常の早期発見に努め、重篤な患者やクラスターの発生は避けることができました。

### (1) 外出・外泊状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
外出	4	1	2	10	6	7	11	14	0	2	11	8	76名
外泊	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	1	0	4名

### (2) 日中活動・施設行事

開催日	内 容	対象	参加人数
5月11日	風船バレー	男性	15
5月24日	風船バレー	女性	9
6月5日	新緑会	全利用者	47
6月21日	ゲーム (Wii、ボードゲーム等)	女性	8
7月6日	七夕 (願い事、飾り付け、紙芝居)	男性	11
7月19日	七夕 (願い事、飾り付け、紙芝居)	女性	18
8月30日	ミニ縁日 (ヨーヨー釣り、輪投げ、射的)	女性	14
9月30日	ボッチャ	男性	16
10月3日	ミニ縁日 (ヨーヨー釣り、輪投げ、射的)	男性	16
10月23日	芋煮会	全利用者	49
11月16日	風船バレー	男性	16
11月22日	風船バレー	女性	16
12月7日	ゲーム (Wii、ボードゲーム等)	男性	18
1月10日	書初め	女性	14
1月18日	書初め	男性	14
2月8日	豆まき、クイズ大会	男性	18
2月28日	豆まき、クイズ大会	女性	14
3月7日	ボウリング大会	女性	14
3月15日	ボウリング大会	男性	14

### (3) 栄養ケアマネジメント・行事食の実施

#### ア 栄養ケアマネジメント

入所利用者全員を対象とし、栄養支援計画に沿った支援を実施しています。栄養スクリーニング、栄養アセスメントの結果に基づき、低栄養リスク「低」の方は3か月に1回、リスク「中」の方は1か月に1回、リスク「高」の方は2週間

に1回のモニタリングを実施して、体調の変化を確認しながら、必要に応じて支援内容を再検討し、健康状態の維持、改善に向けて支援をおこないました。

#### イ 行事食

実施日	行事食名	内 容
4月20日	春の膳	そば、天ぷら盛り合わせ(海老、南瓜、かにかま、椎茸)、キャベツの柚子サラダ、いちご
5月27日	ランチ バイキング	〈共通〉おにぎり2種(昆布、おかかチーズ)、トマトサラダ、ゴールデンキウイ 〈選択〉ハンバーグ、卵焼きとウインナー、エビマヨ、はんぺん チーズ焼き、ぶりの漬け焼き、一口そうめん、とうもろこしムース
6月5日	新緑会	とうもろこし御飯、天ぷら盛り合わせ、鯖の西京焼き、里芋の白煮、だし巻き卵、菜の花の湯葉和え、トマトのポン酢和え、ずんだ白玉
7月22日	夏の膳	うなぎちらし寿司、茶わん蒸し、冬瓜のえびあんかけ、メロン
8月24日	夏祭り メニュー	〈共通〉焼きそば、青梗菜のナムル 〈選択〉フランクフルト、焼き鳥(ねぎま、つくね)、焼きおにぎり
9月9日	秋の膳	御飯、秋刀魚の塩焼き、しらたきの炒め物、小松菜と菊のごま和え、梨
9月15日		※杏友園自治会よりソフトクリーム提供
10月23日	芋煮会	芋煮2種(宮城風、山形風)、栗御飯おにぎり、鶏肉の唐揚げ、卵焼き、鮭の塩焼き、豆腐しゅうまい、香の物、スイートポテトプリン
11月9日	お寿司の日	握り寿司(まぐろ、サーモン、海老、玉子、穴子)、いなり寿司、手まり麩のすまし汁、茶碗蒸し、鶏肉の炊き合わせ、柿
12月21日	クリスマス ランチ	ガーリックライス、ビーフシチュー、野菜サラダ ※デザートに杏友園自治会よりケーキ提供
1月1日	おせち料理	赤飯、お雑煮、おせち(刺身盛り合わせ、伊達巻、蒲鉾、黒豆、昆布巻き、たらもの照り焼き、炊き合わせ、栗きんとん)
2月16日	鍋の日	ご飯、たらとあさりのキムチ鍋、すき焼き、たくあん漬け、スフレロールケーキ
3月8日	デザート バイキング	〈共通〉 トマトリゾット、チーズタッカルビ、カリフラワーサラダ 〈選択〉プリン、ショートケーキ、チョコレートシフォン、レアチーズケーキ、抹茶ロールケーキ、フルーツ in ゼリー、おはぎ(こしあん、きなこ)、フライドポテト

#### (4) 利用者の検診等

実施日	検査内容	対象者数	受診者数
4月27日	基本健診	50	49
5月26日	高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種(希望者)	7	7
5月10日～13日	検尿(蛋白・糖・潜血)	50	48
5月18日	胸部X線検査	50	49
6月28日～29日	歯科検診	50	50
8月4・18日 12月15・22日	新型コロナウイルスワクチン予防接種(希望者)第4・5回目	50	50

9月7日・9月14日	子宮癌検診対象者	4	4
9月8日	乳癌検診希望者	2	2
10月5日	風疹抗体検査(希望者)	1	1
10月4日～7日	検尿(蛋白・糖・潜血)	50	49
10月27日・11月10日	インフルエンザ予防接種(希望者)	50	49
11月14日～21日	大腸癌検査(40歳以上)	48	48

(5) 利用者の通院状況 代理受診込 (延べ人数) ※ ( ) 内は前年度数

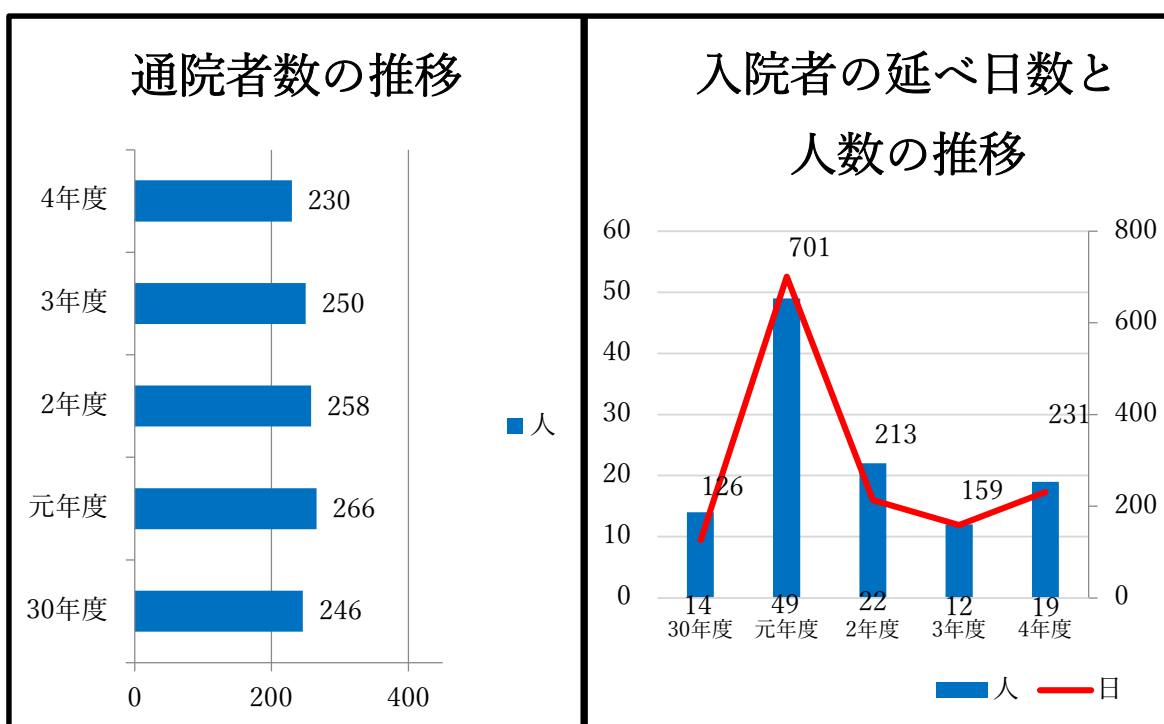
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	17	22	18	16	21	25	22	18	20	17	19	15	230(250)

※通院とは別に、月1回内科、月1回精神科の嘱託医の診察を実施しています。

(6) 利用者の入院状況 (入院日数：延べ日数) ※ ( ) 内は前年度数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	1	2	2	1	2	1	2	0	2	3	1	2	19人(12)
日数	4	45	25	13	29	11	33	0	20	38	1	12	231日(159)

※今年度の入院人数にコロナ感染者1名含む。(重複して入院している利用者も含む)



新型コロナウイルス感染者1名が入院し、園内にて2名の感染者が発生しましたが、いずれも軽症でクラスターを起こすことなく経過しました。感染症の状況によっては、職員のみでの受診対応も実施することがありました。

障がいの重度化、高齢化により健康状態の変化が表れておりますが、職員間の連携をより強化し、疾病予防の取組みと異常の早期発見に努めたことで、医療機関への通院数は減少しました。入院者については、人数は減少傾向ですが病状の重度化による急変や、病状自体の急変により長期入院される利用者も数人見られました。

#### (7) 感染対策

昨年度から感染症対策委員会を設置し、新型コロナウイルス感染症関連の情報共有をおこない、職員全体への周知をしてきました。

今年度は、二度、利用者の施設内での発症があり、ゾーニングや物品準備等、感染対策強化に奔走しました。まだ設置年数も浅いため、委員それぞれが自己研鑽に努め、検証を重ねています。

#### (8) 補装具支援

##### ア 補装具費支給（車椅子・装具の購入及び修理）

・車椅子購入……………	0 件	・装具購入……………	1 件
・車椅子修理件数………	27 件	・装具修理件数……………	1 件

##### イ 車椅子の使用状況

・自力駆動……………	男性 13 名	女性 9 名
・介助移動……………	男性 0 名	女性 2 名
・電動車椅子……………	男性 12 名	女性 12 名
・アシスト式電動車椅子…	男性 1 名	女性 0 名
・車椅子未使用……………	男性 0 名	女性 0 名

月に2回程度の頻度で福祉用具業者に来園していただき、車椅子等の補装具のメンテナンス及び修理の相談をおこないました。必要に応じて、市町村へ補装具費支給申請の手続きや、判定の際の付き添い等の支援もおこないました。

#### (9) 介護設備の更新・保守

月日	備品種類	内 容
8月 4日	浴室天井走行リフト (3台)	定期点検実施(ジェー・シー・アイ)
8月 24日	座位特殊浴槽	定期点検実施(オージー技研)
9月 15日	業務用乾燥機	不具合(異音)のため点検(ジェー・シー・アイ)
	浴室天井走行リフト	1台更新し設置(ジェー・シー・アイ)
9月 22日	座位特殊浴槽	肩掛けシャワーの不具合解消のため部品交換(オージー技研)
9月 28日	業務用洗濯機、汚物除去機	定期点検実施(ジェー・シー・アイ)
	業務用乾燥機	
	業務用乾燥機	不具合(異音)対応の部品交換実施(ジェー・シー・アイ)

1月 19日	浴室天井走行リフト(3台)	定期点検実施(ジェー・シー・アイ)
2月 8日	2棟天井走行リフト(2台)	調整作業実施(ジェー・シー・アイ)
2月 17日	おしぼり用清拭車	故障により更新
2月 27日	座位特殊浴槽	定期点検実施(オージー技研)
3月 24日	業務用洗濯機、汚物除去機 業務用乾燥機	定期点検実施(ジェー・シー・アイ)
3月	入浴用スリング(4枚)	経年劣化による更新

### (10) サービス向上への取組み

#### ア 苦情解決制度の取組み

利用者の方々からの苦情等について、適切に対応するように苦情解決担当者を受け対応しました。今年度は苦情が1件あがり、当該利用者に関係職員で話し合いをおこない、解決に至っています。

[苦情受付件数] : 1件 [要望受付件数] : 0件

#### イ 障害者虐待防止・身体拘束適正化

障害者虐待防止法の施行にともない、障がい者への虐待等についての相談担当者を設けて、利用者及び家族等からの相談を受け付けています。定期的な委員会の開催と職員に向けた研修やアンケートを実施して職員のサービス向上を図りました。また、利用者に対してもアンケートを実施し、職員への意識改革に繋げています。

また、利用者の身体拘束についても、定期的に検討、検証をおこない、身体拘束適正化に努めてきました。

[受付件数] : 0件

## 2 家族との関係

今年度も、新型コロナウイルス感染症防止のため、ご家族参加の施設行事は休止せざるを得ない状況となり、ご家族との交流の機会はありませんでした。

面会、外出、外泊等についても休止期間や面会時間制限を設け、ご家族にはその都度連絡を入れながら対応しました。ご家族へ利用者状況を伝えていく機会が希薄になりつつある中で、電話やオンライン等を活用した関係構築を図りました。

### (1) 面会人数

※ ( ) 内は前年度実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
男性利用者	0	0	0	16	11	12	14	21	12	18	13	19	136人(155)
女性利用者	0	0	0	12	2	5	11	9	7	12	3	14	75人(81)

## 3 在宅障害福祉サービス

### (1) 短期入所事業

昨年同様、新型コロナウイルス感染症防止のため、緊急対応を除いて基本は2泊3日という制限を設けて短期入所事業を実施しました。近隣地域における新型コロナウ

イルスの感染拡大、入所利用者及び職員の罹患者が発生した際には、感染拡大防止のために短期入所事業を一時中止するなどの対応をおこないました。

短期入所利用者が利用される際には、利用中の感染対策の徹底はもちろん、利用前の検温等の体調確認、新型コロナウイルス抗原検査を実施し、安心して利用できるよう努めました。

ア 利用状況（福祉型短期入所区分Ⅰ、Ⅱ該当）

※（ ）内は前年度実績

月	区分6		区分5		区分4		区分3		区分2		計	
	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数
4月	4	11	0	0	1	2	0	0	0	0	5	13
5月	4	11	0	0	1	1	0	0	0	0	5	12
6月	4	11	0	0	2	4	0	0	0	0	6	15
7月	5	14	0	0	1	2	0	0	0	0	6	16
8月	3	8	0	0	1	2	0	0	0	0	4	10
9月	4	11	0	0	0	0	0	0	0	0	4	11
10月	3	8	0	0	0	0	0	0	0	0	3	8
11月	3	9	0	0	0	0	0	0	0	0	3	9
12月	2	5	0	0	1	2	0	0	0	0	3	7
1月	4	11	0	0	0	0	0	0	0	0	4	11
2月	3	10	0	0	1	2	0	0	0	0	4	12
3月	4	10	0	0	2	4	0	0	0	0	6	14
計	43	119	0	0	10	19	0	0	0	0	53 (43)	138 (118)

(2) 生活介護事業（地域班）

宮城東部地区二市三町における地域支援の一翼を担う事業所として、関係市町村や相談支援事業所と連携し、安定的なサービスの提供に努めました。

他事業所と併せてご利用されている方も多く、事業所間での情報共有、連携等、在宅生活利用者の細やかな支援がますます大切になっています。

今年度も、感染予防対策を徹底しながら安心安全にご利用していただけるよう支援に努めました。新規利用者1名が利用開始となり、個別ニーズを伺いながら支援を進めてきました。

食事、カードゲーム等実施時に飛沫防止として遮蔽版を設置、浴室、送迎車両の消毒等、感染症予防対策の徹底を継続しながら、個々のADL状況を考慮したサービスの提供をおこないました。経管栄養や痰吸引等の医療的行為が必要な利用者も多く、健康班との連携を図りながら、利用者主治医からの協力もいただき対応してきました。

また、サービス管理責任者を中心にご家族、障害福祉サービス事業所、相談支援事業所と新型コロナウイルス感染症やその他の情報を共有して、連携を図りながら対応するように努めました。

余暇活動においては、利用者のニーズを把握し、グループ活動や個別活動を継続してきましたが、密にならない環境調整や遮蔽板の設置、消毒、換気等をおこない、希望に沿った活動実施に努めてきました。

ケアプラン等での希望外出に関しては、県内の感染者数の変動が大きく、実施は見送りましたが、散歩を兼ねてのコンビニでの買い物を再開しています。

#### ア 利用状況（地域班）

※（ ）内は前年度実績

月	区分 6		区分 5		区分 4		区分 3		区分 2		区分 1		計	
	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数
4月	11	116	1	8	3	18	0	0	0	0	0	0	15	142
5月	12	111	1	6	3	17	0	0	0	0	0	0	16	134
6月	12	131	1	8	3	15	0	0	0	0	0	0	16	154
7月	12	119	1	7	3	11	0	0	0	0	0	0	16	137
8月	12	105	1	6	3	15	0	0	0	0	0	0	16	126
9月	12	116	1	9	3	15	0	0	0	0	0	0	16	140
10月	12	126	2	12	2	6	0	0	0	0	0	0	16	144
11月	12	109	2	13	2	5	0	0	0	0	0	0	16	127
12月	12	95	2	13	2	2	0	0	0	0	0	0	16	110
1月	12	90	2	15	2	2	0	0	0	0	0	0	16	107
2月	12	106	2	15	2	7	0	0	0	0	0	0	16	128
3月	12	128	2	5	2	9	0	0	0	0	0	0	16	142
計	143	1352	18	117	30	122	0	0	0	0	0	0	191 (179)	1591 (1528)

#### イ 市町村別登録者数

塩釜市		多賀城市		七ヶ浜町		利府町		松島町		計	
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
0	4	3	3	2	2	0	1	1	0	6	10

### 4 地域との連携・地域公益活動

昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症対策のため、多目的ホール及び会議室等の貸し出しについては実施しませんでした。近隣地域での行事への参加についても、行事自体の中止や、同感染症対策のためおこないませんでした。

宮城東部地域 2市3町で構成されている『宮城東部地域自立支援協議会』へ運営委員として職員を派遣し、近隣地域の障害福祉についての協議に参加しました。

### 5 職員の資質向上

新型コロナウイルス感染症防止対策を実施しながら、令和3年度に実現できなかった外部講師を招いた「虐待防止研修」を開催し、当日参加が難しかった職員についても、録画視聴



により受講しており、虐待防止に対して、より一層意識を持てるように努めました。

コロナ禍によりオンライン研修が杏友園内においての参加が可能となったことで、職員へ参加を促すこともでき、これまで全員で研修参加が難しかった「虐待防止研修」「感染症対策研修」等においては、動画配信期間中に全職員が視聴参加してことで意識改革に繋がりました。

職員の研修参加機会が多く、自ら研修受講を希望する職員も多くなっており、スキルアップを図ることができました。

#### (1) 施設内研修

月 日	内 容	会 場	対象職員
4月1日～21日	新規採用職員研修	杏友園内	1
4月中	虐待防止研修(読み合わせ)	会議室	全職員
5月27日 ～6月中旬	虐待防止研修 (外部講師：佐野氏)	多目的ホール 杏友園内	全職員

#### (2) 外部研修

月 日	内 容	会 場	参加者数
5月28日～ 8月	喀痰吸引等第三号研修	東北大学 クリニカルスキルラボ	1
6月 9日	福祉スキルアップ研修・初任者研修「障害編」	オンライン	1
7月 6日	クレーム対応研修	オンライン	1
7月21日	宮城県サービス管理責任者等更新研修	オンライン	1
8月10日	アンガーマネジメント(リーダー向け)研修	オンライン	1
8月25日	新人職員育成のための講座	市民ホールセンター	2
9月 6日	特定給食施設等研修	オンライン	1
9月 1日	保健担当職員研修	オンライン	1
9月 2日	コーチング研修	オンライン	1
10月13日	事例から学ぶ認知症ケアの実際	市民ホールセンター	1
10月26日 11月 9日	医学的知識とフィジカルアセスメント	オンライン	1
10月21日	障害者支援施設における栄養管理のあり方	オンライン	1
11月 7日	福祉現場におけるリスクマネジメント	エスポールみやぎ	1
11月 8日	記録の要点とチームケア	市民ホールセンター	1
11月16日	障害者福祉施設職員研修	オンライン	1
11月22日	感染症予防オンラインセミナー	オンライン	1
12月 7日	リーダーのためのコーチング研修	オンライン	1
12月 9日 12月23日	高次脳機能障害の理解と関わり方	オンライン	1
1月19日	薬の知識と服薬支援	オンライン	1
2月28日	スーパービジョン研修	オンライン	1

## 6 実習生の受け入れ

介護福祉士養成校より依頼を受け、感染対策を徹底し、介護実習の受け入れをおこないません。

年々、各学校とも介護を志す学生が減少しており、実習中止や見学実習のみとなるなど受け入れ人数も減少しています。

介護福祉士養成校新カリキュラム対応のための介護福祉士実習指導者も増やしており、職員側において質の高い実習指導ができるよう努めました。

### (1) 受け入れ実績

期 間	実日数	学校名	学生数
6月 1日～6月 21日	18日間	東北福祉大学	2
6月 2日～6月 28日	20日間	仙台医療福祉専門学校	2
7月 11日～7月 22日	9日間	仙台医療秘書福祉専門学校	2
8月 1日～9月 1日	24日間	東北福祉大学	2
10月 3日	1日間	東北文化学園専門学校	5
10月 4日～11月 1日	22日間	仙台医療福祉専門学校	2
10月 21日～11月 8日	15日間	仙台医療秘書福祉専門学校	2
12月 1日～12月 16日	13日間	仙台医療福祉専門学校	4
2月 6日～2月 21日	13日間	東北文化学園専門学校	2

### (2) 実習指導者派遣

月 日	派 遣 先	派遣指導者
7月 28日	仙台医療福祉専門学校	松原副主任
11月 15日	東北文化学園大学校	吉田課長

## 7 安全管理と防災対策

安全防災委員会および防火管理責任者を中心として、総合防災訓練、消防通報訓練、防火管理自主点検などを実施して、利用者が安全、安心に生活できるように努めました。

日中火災想定総合防災訓練を9月に実施し、火災時における避難誘導、通報、消火の訓練をおこないました。3月には、夜間想定総合防災訓練を実施し、夜間における避難誘導、通報、消火の訓練をおこないました。

消防署による立ち入り検査を2月に受け、指摘事項はありませんでした。

また、施設内の消防設備点検を4月と10月に実施、非常用発電機器不可試験を5月に実施して、指摘のあった事項については改善計画を立て、12月に適切に修理改善をおこないました。

県の指導にて、「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震防災規程」の作成指示があり、当施設の消防計画に組み込み、地震による津波への防災対策の強化を図りました。

(1) 消防点検等及び訓練内容

実施日	内 容	入 所 利用者	短 期 利用者	通 所 利用者	職員他
4月26日	消防用設備等点検	—	—	—	—
5月22日	非常用発電機負荷試験	—	—	—	—
6月30日	消防設備修繕	—	—	—	—
9月27日	総合防災訓練(日中火災想定)	49	0	0	15
10月24日	消防用設備等点検	—	—	—	—
12月23日	消防設備修繕	—	—	—	—
2月22日	消防立ち入り検査	—	—	—	—
3月 7日	総合防災訓練(夜間火災想定)	49	0	0	8

8 施設の保全

令和4年度は、大規模な修繕等はありませんでした。

ボイラー設備、浴室ろ過設備、空調設備、その他の設備について、定期的にメンテナンスをおこないました。各設備とも不具合が生じた際には、その都度点検及び修繕の対応を依頼し実施しました。

施設内各所の床については、業者による清掃及びワックス掛け等のメンテナンスを実施。高所ガラスについても同様に清掃を実施しました。

9 資料 (令和5年3月31日現在)

(1) 利用状況

所 属	入所支援 (定員50)		生活介護 (入所定員50)		生活介護 (通所定員10)	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
在園人数	26	23	26	23	6	10
	49		49		16	
延利用人数	17,916/18,139		13,183/13,339		1,420/3,872	
利 用 率	98.7%		98.8%		36.6%	

※延利用人数、利用率は、年度内の利用者数(入退所者含め)で算定している。

(2) 施設入所利用者

ア 年齢別

※( )内は前年度実績

性別	20～30歳	31～40歳	41～50歳	51～60歳	61歳以上	計
男性	1(1)	1(1)	3(5)	6(5)	15(13)	26(25)
女性	0(0)	0(0)	3(3)	3(5)	17(15)	23(23)
計	1(1)	1(1)	6(8)	9(10)	32(28)	49(48)

平均年齢 60.7歳(59.8歳)

## イ 障害別

※( )内は前年度実績

障害名	男性	女性	計
脳性麻痺	15(14)	21(21)	36(35)
脳血管障害	3(3)	2(2)	5(5)
多発性硬化症	1(1)	0(0)	1(1)
頭部外傷後遺症	3(3)	0(0)	3(3)
頸椎損傷	1(1)	0(0)	1(1)
その他	3(3)	0(0)	3(3)
計	26(25)	23(23)	49(48)

## ウ 障害等級別

障害別	視覚	聴覚	言語	肢体不自由				内部障害	計
				上下肢	上肢	下肢	その他		
1級	(2)	(1)	(3)	29	3	3	3	0	38(6)
2級	(1)	(1)	(1)	6	1	1	3	0	11(3)
計	(3)	(2)	(4)	35	4	4	6	0	49(9)

※( )内は重複している障害/49名中療育手帳所持者9名

## エ 障害支援区分別

※( )内は前年度実績

	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男性	0(0)	1(1)	6(5)	19(19)	26(25)
女性	0(0)	0(0)	3(4)	20(19)	23(23)
計	0(0)	1(1)	9(9)	39(38)	49(48)

平均支援区分 5.8(5.7)

## オ 在園年数

※( )内は前年度実績

	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	計
男性	2(1)	1(2)	4(4)	4(3)	2(2)	13(13)	26(25)
女性	2(0)	2(4)	2(0)	2(2)	1(0)	14(17)	23(23)
計	4(1)	3(6)	6(4)	6(5)	3(2)	27(30)	49(48)

平均在園期間 13.3年(14.0)

(3) その他

ア 職員検診

実施月日	検査内容	対象者	実施機関	受診者数
10月7日	子宮頸がん検診	20歳代偶数歳女性職員	利府掖済会病院	1
6月8日～7月	定期健康診断	35歳未満職員	杜の都産業保健会	19
6月2日～2月16日	生活習慣病予防健診	35歳以上職員	坂総合病院他	24
9月1日～10月24日	腰椎検診(問診のみ)	夜勤従事職員	藤野整形外科	29
1月16日～3月10日	定期健康診断	夜勤従事職員	杜の都産業保健会	28
2月2日～3月7日	腰椎検診(X線・問診)	総務系職員を除く全職員	藤野整形外科	37

※インフルエンザ予防接種46人

イ 会議・委員会等

会議名	実施日	出席者
職員全体会議	年2回→中止	書面にて周知
運営会議	月1回	施設長, 課長, サービス管理責任者, 生活班主任, 地域班副主任
個別支援会議	月1～5回	施設長, 課長, サービス管理責任者, ケース担当, 健康班職員
班 会 議	男女ケア会議 男女ケアスタッフ 月1回	課長, サービス管理責任者, 生活班職員, 地域班職員
	地域班会議 月1回	施設長, 課長, サービス管理責任者, 主任, 地域班職員
給食会議	2か月に1回	施設長, 管理栄養士, 課長, 利用者代表, 委託業者栄養士等
安全衛生委員会	2か月に1回	産業医, 施設長, 課長, 安全衛生管理者
安全防災委員会	3か月に1回	防火管理者, 生活班職員, 地域班職員
虐待防止委員会	3か月に1回	施設長, 課長, サービス管理責任者, 生活班主任, 地域班副主任
感染症及び食中毒 対策委員会	2か月に1回	課長, 主任, 副主任, 健康班職員, 生活班職員

## C ふぼう（障害者支援施設）

年度はじめには、ウィズコロナの施設生活のあり方を模索し、活動を工夫することによって、利用者へ昨年度以上に楽しい時間を提供していくはずでした。

春先から夏までは、ドライブや食事のテイクアウト等、さまざまな活動で楽しいひとときを持ってもらうことができていました。

しかし、「第7波」「第8波」に飲み込まれ、後戻りしたというより過去最悪の状況への対応に迫られ、施設の日常も変容してしまいました。職員あるいは職員の家族がコロナ感染の疑い、あるいは陽性者となってしまったことで、現場の人員配置確保が困難な状況が多くありました。シフトの人員確保もままならず、利用者の日常へも大きな影響がありました。

困難な状況は多くありましたが、未だ利用者への感染が認められていないのは、職員各々が、ふぼうの利用者にはコロナ感染が生命の直接的な問題となり得ることを理解し、感染防止のための最大限の努力を継続しておこなっているからと感じています。

社会全体ではコロナウイルス対策に関し、制限緩和の方向性がはっきりとしています、今後も感染防止対策を最優先に考え、利用者を守る対応を継続しなければならないと考えています。

三人行事の「春の集い」「ふぼう祭り」「忘年会」については家族参加が叶わず、利用者や職員のみで開催となりましたが、職員一同がアイデアを出し合い、内容を工夫して新しい試みを組み入れながら実施しました。家族へは、面会等の制限が続いていることもあり、行事や活動の様子を写真やDVDにして送付し、安心していただけるように取り組みました。施設内活動も同様に、外出に制限がある中、テイクアウトの食事や日中活動を重視し、我慢が続く日常に少しでも愉しみを感じてもらえるように努力しました。施設外活動においてはドライブ外出で季節の風景を楽しんでいただきました。

利用者の重度高齢化は顕著となり、コロナ対策と合わせ日々の健康管理を充実し、体調変化にいち早く対応することが何より重要でした。しかし、入退院を繰り返すケースや入院期間の長期化が認められ、日常における医療的な支援の強化に努める必要がありました。

新規入所の相談や見学希望等、外部との連絡調整が困難な状況ではありましたが、施設環境を撮影した動画を活用する等、工夫した対応を継続しておこなっています。

### 1 生活介護事業・施設入所支援

昨年度から、新型コロナウイルス感染症対策のための一部制限を設けた支援を、通所、短期入所、面会において継続しています。

利用者の重度高齢化に伴った障がいや疾病への理解を深め、日々の観察と把握に注意し、安全で安心した生活を提供できるように心がけてきました。小さな変化や異常に気付き、早期発見、早期対応ができたものも多くありました。また、アクシデント報告やヒヤリハット報告から未然に防ぐことができた怪我等もありました。

新型コロナウイルス感染症の予防に努めながら、社会や地域で暮らす一員として、季節を感じられる外出ができるよう工夫して取り組んできました。春は桜並木や菜の花畑を散歩し、夏は潮風を浴びに海岸へ、秋は赤や黄色に色づいた木々を見ながら紅葉狩りと、飲食を伴わないドライブ外出でしたが実施できました。

家族参加の行事については残念ながら今年度も参加を控えていただきましたが、三大大行事の開催は実行委員の創意工夫にて盛大におこなうことができました。ご家族には、各行事の雰囲気や少しでも味わってもらえるように、昨年度好評だったDVDや写真にして送付をし、喜んでいただきました。

通所利用については、入所利用者と活動の場を分ける対応を継続させていただきました。季節感を感じる創作や活動内容を取り入れ楽しんでいただき、制作した作品は展示することで、様々な人に目にしてもらい制作活動の励みになるよう努めました。

サービス管理責任者が中心となり、利用者の個性を重視した支援に取り組みました。

(1) 入所、退所状況 (単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
入所者	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
退所者	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1

(2) 外出支援状況

ア 外出（半日） (単位：人)

実施日	場所	参加者
4月18日(月)	ドライブ外出(遠刈田方面)	利用者6 職員4
4月19日(火)	ドライブ外出(村田町内)	利用者4 職員2
4月19日(火)	ドライブ外出(白石市材木岩方面)	利用者4 職員2
4月20日(水)	ドライブ外出(白石市材木岩方面)	利用者4 職員2
4月20日(水)	ドライブ外出(角田市菜の花畑方面)	利用者3 職員2
4月21日(木)	ドライブ外出(川崎町釜房ダム方面)	利用者3 職員2
4月21日(木)	ドライブ外出(角田市菜の花畑方面)	利用者3 職員2
4月22日(金)	ドライブ外出(白石市材木岩方面)	利用者3 職員2
4月22日(金)	ドライブ外出(七ヶ宿町長老湖方面)	利用者3 職員2
6月1日(水)	ドライブ外出(秋保方面)	利用者3 職員2
7月15日(金)	ドライブ外出(仙台空港)	利用者7 職員4
7月20日(水)	ドライブ外出(亶理町鳥の海方面)	利用者3 職員2
10月3日(月)	ドライブ外出(亶理方面)	利用者4 職員2
10月6日(木)	ドライブ外出(亶理方面)	利用者3 職員2
10月11日(火)	ドライブ外出(亶理方面)	利用者3 職員2
10月14日(金)	ドライブ外出(亶理方面)	利用者3 職員2
11月2日(水)	ドライブ外出(秋保方面)	利用者2 職員2
11月4日(金)	ドライブ外出(秋保方面)	利用者3 職員2
11月14日(月)	ドライブ外出(秋保方面)	利用者3 職員2

- イ 外出(終日) ※新型コロナウイルス感染症防止のため実施できませんでした。  
 ウ 宿泊旅行 ※新型コロナウイルス感染症防止のため実施できませんでした。

(3) 個人外出状況(延べ人数) ※ ( )内は前年度数 (単位:人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0(1)

(4) 個人外泊状況(延べ泊数) ※ ( )内は前年度数 (単位:人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
泊数	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0(16)

(5) 日中活動と慰問参加人数(延べ人数) ※ ( )内は前年度数 (単位:人)

創作	カラオケ	運動	DVD(YouTube 含)	花火大会
74(279)	42(22)	129(147)	44(217)	40(47)
個別支援	かき氷	園芸	美容	イベント
137(138)	41(40)	3(33)	63(34)	0
慰問	チョコフォンデュ	脳トレ	テイクアウト	スイカ割り
0	45(46)	29(60)	56(87)	43(34)
調理教室	さつま芋会			参加者合計
19(4)	44			809(1188)

日中活動では、コロナ感染による職員の人員確保が困難な状況があり、実施回数や活動の内容の検討が必要になる等、大きな影響がありました。そのような状況でも生活に彩りを添えられるように工夫し、少人数を対象にしたグループ分けを考えたり、個別活動を充実させる等、少しでも楽しんでもらえるような活動を目指しました。

夏には七夕、かき氷、スイカ割、花火会。秋には園芸で施設内の畑に植えた芋を収穫し、焼き芋にして食べることができました。

外部イベントには、コロナウイルスの感染防止の観点から不参加としました。外出ができない分、食事のテイクアウトを取り入れて、利用者からも好評を得ました。

- ア 創作活動 … クリスマス飾り、装飾作業、  
 イ 運動 … 散歩、マット運動  
 ウ 園芸 … 野菜収穫(さつま芋)  
 エ 美容 … リラクゼーション、足浴、ネイル、爪切り



- オ 個別支援 … 編み物、ビーズでの小物作成、読書、塗り絵、パズル  
(個人で購入したドリルなど)
- カ 脳トレ … オセロ、テーブルゲーム、間違い探し
- キ 観賞 … DVD・ユーチューブ(動画・歌・映画等)カラオケ等

(6) 健康管理について

利用者の体調不良時の対応には、船岡今野病院の医師、看護師と今まで以上に細かな連携を図り、受診等を迅速にすすめることができました。

一昨年度は腸閉塞で繰り返し入院するケースが多くありましたが、排便コントロールをおこなった結果、昨年度は入院となる利用者はいませんでした。

利用者の高齢化や進行性疾患に伴うADLの低下が目立ってきています。日々の健康管理と体調不良時には速やかに嘱託医へ報告することにより病院受診等につなげ、体調変化に合わせた支援と利用者の健康維持と増進を図ってきました。

新型コロナウイルス感染対策として、発熱時には嘱託医指示で抗原検査を施行、必要時にはPCR検査を施行しました。感染予防の対応をおこない、利用者への感染はありませんでした。引き続き、利用者と職員の感染予防に努めていきます。

ア 利用者の検診 (単位：人)

実施年月日	検査内容	受診者数
6月 1日～29日	血液検査	57
6月 13日～17日	検便(サルモネラ菌・腸管出血性大腸菌)	56
7月 11日～15日	検尿(蛋白・糖・潜血)	56
8月 3日	基本健診(心電図・胸部XP)	54
5月・8月	全身体重測定	56
9月 15日	がん検診	0
	子宮がん検診	5
	前立腺がん検診	5
12月 12日～16日	検尿(蛋白・糖・潜血)	57

イ 利用者の通院状況(延べ人数) ※( )内は前年度数 (単位：人)

内科	消化器	神経内科	乳腺外科	泌尿器科	てんかん科
17(11)	7(12)	19(33)	5(1)	13(14)	7(12)
眼科	婦人科	皮膚科	救急外来	整形外科	PEG交換
2(3)	5(3)	30(23)	5(2)	28(47)	19(19)
形成外科	リハビリ科	外科	放射線科	精神科	糖尿外来
5(8)	0(2)	12(3)	4(0)	75(66)	7(7)
循環器科	意見書診断書	麻酔科	小児血液	小児科	計
8(11)	29(10)	0(1)	4(2)	2(0)	303(290)

※ 通院とは別に、月1回来所する嘱託医による施設内診察がおこなわれています。

ウ 利用者の入院状況 ※ ( )内は前年度数

病 院 名	入院数 (回)
みやぎ県南中核病院	8
今野病院	10
大泉記念病院	1
川崎国保病院	3
計	22 (25)

(7) リハビリテーションについて

理学療法士と生活支援員主体によるリハビリをおこないました。プログラムとしては、日常生活動作において重要な関節可動域や筋力の維持向上を図るため、関節可動域訓練、マシントレーニングを中心に、起居動作訓練、歩行訓練等をおこないました。

今年度は支援員の病休やコロナウイルス感染による人員不足の状況があり、リハビリ実施件数が減ってしまった月が多くありました。3月辺りからまた徐々に体制が戻り、リハビリ件数も増えてきました。

その他、専門職と支援員で利用者の車椅子作成カンファレンスをおこない、色々な視点からの意見を交換し、情報の共有もできました。

ア 理学療法士・支援員の実施件数 (単位：回)

項 目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
ビタグライド	22	39	26	28	33	29	35	40	37	34	43	50	416
メイウォーク	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
セラバイタル	50	48	39	38	35	29	30	32	40	45	48	50	484
歩行訓練	19	23	16	12	8	10	19	15	18	11	8	15	174
ボール運動	2	3	4	4	3	4	0	2	1	1	0	2	26
ストレッチ	2	2	2	3	2	3	4	1	3	1	2	5	30
マッサージ	36	35	10	11	11	10	23	28	30	33	28	31	286
起居動作訓練	19	23	18	19	20	20	18	19	23	25	23	28	255
関節可動域訓練	52	49	48	45	50	48	50	43	60	61	58	57	621
ラビット	38	33	28	31	27	26	32	20	23	22	24	28	332
その他	14	8	15	10	10	9	7	8	9	8	13	16	127
計	255	264	206	201	199	188	218	208	244	241	247	282	2753

イ 補装具申請状況 (申請中は除く)

補装具修理申請	26 件
補装具支給申請	4 件

(8) 食事について

年々高齢化、障がいの重度化は進んでおり、食べることに何らかの問題を抱える利用者が増えてきています。また、コロナ禍で歯科受診ができなかったこともあり、口

腔状態が悪くなり、やむを得ず食形態を下げて提供する利用者も数名いました。

利用者の楽しみでもある「食」をどのように提供していくか、厨房スタッフを含めた多職種との連携を図りました。

毎月、嘱託医来設時には体重の推移や血液検査結果を受けての食事指示のある方についての指示をいただいています。給食の提供については、昨年度仙南保健福祉事務所に助言いただいた内容を今年度も引き続き摂食委員会、厨房委託業者と連携を図りながら食べやすい食形態について検討をしました。

施設行事については、3大行事は新型コロナ対策で利用者だけの行事となり、いずれの行事もお弁当での昼食提供で、おしながきは利用者を書いてもらったものを使用しました。

年2回のおやつバイキングの他、厨房委託業者から創業記念で旬の果物やケーキ等が月1回提供され、食材料費の高騰で提供回数が減少している果物やケーキに利用者は大変喜ばれていました。

非常時の備えとして、地震や台風などの自然災害時の対応について、安全防災委員会厨房栄養士とも検討を重ねました。自然災害以外でも新型コロナ対応の食事提供についても検討をしました。厨房スタッフの新型コロナ感染者はいませんでした。

栄養ケアマネジメントにおいては、昨年度研修会に参加し、改めて栄養ケアマネジメントの目的や方法について理解を深めることができました。

#### (9) 相談（入所、通所、短期入所）業務について

今年度新規入所の相談は、“入院中だが退院の話が出ているのですぐに入所できないか”という話が多くありました。そのため、実態調査と待機申請が同時期になることもありました。ご家庭の事情や病状、地域の状況を考慮し、入所の順番を検討しました。

その他の相談に関しては、新型コロナウイルスが第5類に分類されるニュースが流れ始めると、短期入所に関する連絡が多くなりました。

支援学校から見学の依頼があり対応を検討していましたが、コロナ感染拡大した時期になり、リスクを考慮し残念ながら中止になっています。

区分調査については、コロナ感染対策で昨年度1年間の延長になっていた3名を含め、調査対象者全員の調査をおこなうことができました。加齢のためかコロナ感染対策での環境の変化の影響か、障害支援区分が重くなった利用者が数名いました。

今年度は、ここ数年続いていた体調の変化によって退所する利用者が減少しています。新規入所の相談や待機申請をしていた方の入所の相談もあり、今後の入所につなげていきます。

新規入所1名（待機者3名、待機取り消し1名）、新規通所0名、新規短期入所3名の利用がありました。短期入所利用の2名は、通所利用をおこなっていたため、情報収集もスムーズにおこなうことができました。

相談内容	相談件数	見学者数	調査件数
入所に関すること	18	3	2
通所に関すること	1	0	0
短期入所に関すること	11	0	1
その他	0	0	0
合 計	30 件	3 人	3 件

## (10) サービス向上への取組み

### ア 苦情・要望の受付

施設利用者からの苦情や要望について、迅速かつ適切に対応し、サービスの質の向上を図るため、苦情受付についての掲示、周知をおこなっています。

また、利用者やその家族、職員が要望をあげやすいように意見箱を施設内3か所に設置しています。

[苦情受付件数] : 0件

[要望受付件数] : 0件

### イ 障害者虐待（相談・通報・届出）の受付

虐待防止委員会を年4回開催し、その中で身体拘束に関する検討もおこなってきました。身体拘束に対して支援員の意識が高くなり、利用者の状況に変化があった時にしっかり考えるようになりました。

今年度も直接利用者に調査する「ぎゃくたいアンケート」をおこないました。虐待にあたる案件はありませんでしたが、アンケートであがった利用者の声を受け止め、再聞き取りをおこない内容を精査しました。精査した結果を虐待防止委員会で検討し、名前があがった職員に伝え、その後改善されているか確認をしています。

虐待防止のための内部研修もおこなっています。DVDを利用し、話し合いや感想を記載してもらい、全職員に周知しています。

[受付件数] : 0件

## 2 短期入所事業

新型コロナウイルス感染症拡大予防として、昨年から引き続き、短期入所受け入れを制限し、緊急性のある方やロングでの利用の方を受け入れました。

利用前には、ワクチン接種状況確認や受け入れ当日の抗原検査実施、利用中も様々な制限にご理解と協力をいただきました。

再開を待ち望んでいるご家族も多く、問い合わせも数件ありましたが、難しい状況の説明をし、ご理解をいただきました。

新型コロナウイルス感染症の影響から、利用実績は昨年度同様に減少となりました。

ア 利用実績 ※ ( )内は前年度数

月	区分6		区分5		区分4		区分3		計	
	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数
4月	1	4	0	0	0	0	0	0	1	4
5月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	1	4	0	0	0	0	0	0	1	4
7月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	1	4	0	0	1	21	0	0	2	25
11月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12月	0	0	1	8	0	0	0	0	1	8
1月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	1	16	0	0	0	0	1	16
3月	0	0	1	5	0	0	0	0	1	5
計	3	12	3	29	1	21	0	0	7(5)	62(91)

イ 児童の利用実績 ※ ( )内は前年度数

月	区分3		区分2		区分1		計	
	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数
4月～9月	0	0	0	0	0	0	0	0
10月～3月	0	0	0	0	0	0	0(0)	0(0)

### 3 家族との関係

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一昨年から継続して、外泊は中止としています。面会については、利用者の居室ではなく、新たに準備した面会室等でガラス越しやパーテーション越しに、長くても30分程度の面会としています。ZoomやLINEを活用してのリモート面会もご案内していますが、ガラス越しでも会うことを望むご家族が多く、リモート面会をおこなうことはありませんでした。今年度は、面会の回数が増え、コロナが流行してから面会に来ていなかったご家族の面会も見られるようになりました。

行事はおこなっていますが家族の参加はご遠慮いただいているため、各種行事の担当者から行事の様子の写真を送ったり、個人担当者を中心に電話や手紙（活動で作った作品を同封）を送ることで、ご家族に生活の様子を伝えました。ご家族間で情報共有ができていないような時には、共有できるように複数連絡することもありました。また、日々の体調の変化や受診時の結果等、健康に関することは看護師からご家族に説明しました。入院時には医師からのご家族への説明時同席させていただき、情報を共有することで必要な支援につなげるようにしました。

面会人数 ※ ( )内は前年度数 (単位：人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
32	29	29	18	22	27	22	18	23	30	26	27	303
(12)	(26)	(22)	(13)	(20)	(18)	(25)	(29)	(31)	(20)	(8)	(10)	(234)

#### 4 地域との連携・地域公益活動

地域住民との交流や町内への外出などで地域を知り交流を図ることについては、感染対策のために中止にせざるを得ませんでした。村田町における「福祉まつり」は、今年度も中止となり、感染の不安をぬぐえない限り外出や地域との交流は困難な状況でした。

近隣4行政区との関係構築が重要であり、機関紙「ひまわり」を配布し、多岐にわたり、より多くの方に「ふぼう」を知っていただけるよう情報発信と利用者の生活状況を理解してもらえるよう努めました。近隣行政区の沼辺北区に消防団が組織され、防災訓練との連携を模索しておりましたが、新型コロナウイルスのために実現とはなりませんでした。

慰問やボランティア、また実習生の受入れについては現在も休止状態になっています。

村田町役場とは福祉避難所、台風被害時の車の避難場所として提携しています。また新たに、村田町内における高齢者施設や就労施設を含めた福祉施設の連絡会（仮称）の構築も検討されています。

#### 5 職員の資質向上

職員の関心のある専門的研修の情報を提供しスキルアップの意欲を促すことや、障害者虐待の抑制に役立つ研修の開催は、新型コロナウイルス感染症の影響で思うような研修の実施はできませんでしたが、生活支援課会議の時間を活用し虐待防止の研修を実施できました。

外部研修は、職業人としてのマナーや法人職員として必要な職務態度などの研修をおこない、組織としての規律性、協調性、積極性を高める研修を目標にしていますが、こちらも新型コロナウイルス感染症の影響で思うような実施とはなりませんでした。リモート研修への参加ができましたが、主に専門職の参加となり多くの職員の参加とは残念ながらなりませんでした。

職員からの要望にもあるアンガーマネジメント研修や衛生アイテムの研修など、日常業務から課題を見つけ内外研修の実施につなげます。

##### ア 施設内研修

月 日	内 容	会 場	人数
8月 1日～ 5日	新任職員研修	ふぼう	1
9月 16日～ 25日	重症心身障害児(者)栄養アセスメント(リモート)	ふぼう	1
10月 3日～ 14日	東北ブロック身体障害者施設職員研修	ふぼう	4
11月 25日	虐待防止研修	ふぼう	16
12月 27日	宮城県発達障害支援者圏域別研修	ふぼう	2
1月 21日	福祉スキルアップ研修会	ふぼう	1

1月23日～31日	東北ブロック身体障害者施設協議会職種別研修	ふぼう	6
2月28日	障害の理解啓発セミナー	大河原合庁	1
2月28日	障害の理解啓発セミナー	ふぼう	2
3月5日	介護実習・社会福祉援助技術現場実習教育懇談会	仙台大学	1
3月7日	仙南栄養士会研修	ふぼう	1

## 6 安全管理と防災対策

6月に「夜間想定避難訓練」、10月に「総合防災避難訓練」をおこないました。夜間訓練、総合訓練とも反省点が多く残る結果となってしまったため、改めて、基本的な避難行動の周知を課題として、防災意識が高まるよう対策を検討しました。訓練参加職員より防火扉が認識しづらいという意見があり、総合訓練後、全防火扉に、目に付きやすい貼り紙を作成しました。避難誘導や避難介助については、夜間と日中に分けて簡単なマニュアルを作成しました。

LINEを使用した「非常用緊急連絡網による非常通報訓練」は、10月に1回実施し、改めて返信方法について周知しました。その結果、概ね15分以内に連絡が終了できる時間短縮の見込みも立ちました。

施設内の自主検査は全職員が携わるよう毎月職員2名を変えながら実施し、各職員の安全防災意識向上にもつながったと感じられました。

月 日	内 容	人数
6月22日	夜間想定避難訓練	4
10月26日	総合防災訓練	勤務者
10月26日	緊急連絡網による非常通報訓練（勤務者を除く）	全職員

## 7 資 料

(1) 各事業の利用者数（延べ人数）・稼働率

※（ ）内は前年度実績

ア 入所支援

(単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
男性	949	983	966	998	1015	990	997	960	1004	996	881	1022	11761 (11556)
女性	732	757	721	738	719	720	710	655	765	766	692	747	8722 (8576)
合計	1681	1740	1687	1736	1734	1710	1707	1615	1769	1762	1573	1769	20483 (20130)
一日平均	56.0	56.1	56.2	56.0	55.9	57.0	55.1	53.8	57.1	56.8	56.2	57.1	56.1 (55.2)
稼働率	93.4	93.5	93.7	93.3	93.2	95.0	91.8	89.7	95.1	94.7	93.6	95.1	93.5 (91.9)

イ 生活介護（通所含む）

（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
男性	727	753	730	761	777	744	755	722	766	757	651	781	8924 (8672)
女性	579	602	587	597	584	579	576	528	611	609	537	595	6984 (6781)
合計	1306	1355	1317	1358	1361	1323	1331	1250	1377	1366	1188	1376	15453 (15453)
一日平均	59.4	58.9	59.9	59.0	59.2	60.1	57.9	56.8	59.9	59.4	59.4	59.8	59.1 (57.4)
稼働率	98.9	98.2	99.8	98.4	98.6	100	96.4	94.7	99.8	99.0	99.0	99.7	98.6 (95.7)

ウ 短期入所

（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
男性	0	0	0	0	0	0	21	0	0	0	0	0	21(0)
女性	4	0	4	0	0	0	4	0	8	0	16	5	41(91)
合計	4	0	4	0	0	0	25	0	8	0	16	5	62(91)
一日平均	0.13	0	0.13	0	0	0	0.80	0	0.25	0	0.57	0.16	0.17 (0.25)
稼働率	2.6	0	2.6	0	0	0	16	0	5	0	11.4	3.2	3.4% (5%)

(2) 入所者に関する資料（令和5年3月31日現在）

ア 年齢別

（単位：人）

	～30歳	31～40歳	41～50歳	51～60歳	61歳以上	計
男	1	1	2	15	14	33
女	0	1	1	8	15	25
計	1	2	3	23	29	58

（平均年齢 61.4歳）



## イ 障害別

(単位：人)

障害名	男性	女性	計
脳性麻痺	18	15	33
脳血管障害	4	3	7
水頭症	0	0	0
頭部外傷後遺症	3	2	5
てんかん	1	1	2
脳腫瘍後遺症	0	1	1
脊髄小脳変性症	0	0	0
その他 難病および特定疾患	7	3	10
計	33	25	58

## ウ 障害等級別

(単位：人)

障害別	視覚	聴覚	言語	肢体不自由	内部障害	計
認定	1級	1	1	(4)	33	35(4)
	2級			(1)	15	15(1)
	3級				5	5(0)
	4級	(1)			2	2(1)
	6級				1	1
計	1 (1)	1	(5)	56		58(6)

※58名中、療育手帳所持者19名。( )内は重複されている障害。

## エ 在所期間（前宮城県不忘園からの継続期間）

(単位：人)

	1年未満	1年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年～15年未満	15年～20年未満	20年以上	計
男	1	5	4	6	3	2	12	33
女	0	2	2	5	3	1	12	25
計	1	7	6	11	6	3	24	58

## オ 障害支援区分別

(単位：人)

	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	計
男	23	7	2	1	0	0	33
女	16	7	2	0	0	0	25
計	39	14	4	1	0	0	58

(平均支援区分 5.56)

## (3) その他

## ア 職員の検診

(単位：人)

実施月日	検査内容	対象者数	実施機関	受診者数
8月～9月	基本健康診断	35歳未満	公立刈田総合病院	4
	生活習慣病予防健診 (子宮癌、乳がん)	35歳以上	公立刈田総合病院	36
			AERクリニック	1
			医師会健康センター	1
7月～8月	腰痛検査(レントゲン検査)	介護職員 看護師	善積整形外科	38
1月～2月	腰痛検査(夜勤従事者)	介護職員	善積整形外科	29
2月～3月	介護職員(夜勤従事者)	介護職員	今野病院	32

## イ 会議・委員会等

職員全体会議	全職員(勤務者を除く)	年2回
運営会議	施設長, 課長, 主任, サービス管理責任者	月1回
生活支援課会議	当日の勤務者(夜勤者を除く)	隔月
主任・副主任会議	主任1名, 副主任2名	随時
ケアプラン検討会議	サビ管, 主任, 看護師, 管理栄養士, 生活支援員	月3～4回
ケース会議	主任, 副主任2名, ケース担当者	随時
給食会議	施設長, 主任, サビ管, 管理栄養士, 給食業者	隔月
入所調整会議	施設長, 課長, サビ管, 主任, 看護師, 管理栄養士, 実態調査対応職員	随時
リスクマネジメント 委員会	看護師, 生活支援員	隔月
摂食委員会	管理栄養士, 理学療法士, 生活支援員	月1回
安全防災委員会	防火管理者, 総務課課長, 生活支援員	隔月
業務改善委員会	看護師, 生活支援員	月1回
生活向上委員会	生活支援員, 利用者代表	隔月
虐待防止委員会	施設長, サビ管, 生活支援員, 利用者代表	1か月毎
衛生委員会	施設長, 看護師, 生活支援員, オアシス(衛生管理者), 事務員, 産業医	毎月

## D 啓生園（障害者支援施設）

利用者の日常生活を取り戻すために、普段の暮らしに即した支援に心がけたことで様々な地域交流機会が増えたことを職員一同非常に嬉しく思います。

施設行事を復活したことで、外部の芸能団体と楽器演奏を通じて触れ合うことができたり、スポーツ団体が主催する対外試合に出場し、選手同士で勝敗を競い合い、隣接する宮城県障害者福祉センターが主催するカルチャー教室に参加し、作品を互いに評価し合い、当たり前の生活の中で、関心のある行事へ自らの意思で参加するための支援をおこなうことができました。

一方、令和5年1月、新型コロナウイルス感染症が施設内で流行した結果、16名の方が罹患されましたが、重症化することもなく収束することができました。

その際、当施設の感染症・食中毒対策検討委員会が計画した「ゾーニング対策支援」が実践で稼働し、多くの職員が冷静に業務を進めるなかで積極的にアイデアを出しあい、より効率的な職員配置や支援手順の調整を経て、職員の感染者が発生したとしても、安定して業務を継続することができ、職員相互の経験値を高めることができました。

また、反省することもありました。職員の酒気帯び運転による車両接触事故により、被害に遭われた方に対し精神的な苦痛を与えたことは、今後忘れることのできない出来事として職員研修を実施し、アルコールチェック検査を習慣化することによって飲酒マナーの向上に取り組んでいきます。

今年度は、6つの委員会が3年目を経過し、メンバー間での意思疎通も増え、様々なアイデアを具現化した一年でもありました。

業務改善委員会と環境整備委員会が連携し、ペーパーレス化を推進し会議で資料をすべて電子映像化することで、個別支援会議や職員会議を映像での報告にし、ICT化にせまる業務改善と情報共有を効果的に進めることができました。

安全防災委員会では、内部研修委員会とともに職員の質向上に取り組み、利用者支援の基礎としての介護実践研修を実施しました。利用者の生命を守るための訓練として、消防署員立会いの下、夜間の火災を想定した避難訓練を実施し、火元を探すところから実践さながらの緊迫した中で、限られた職員同士の連携について理解を深めることができました。

最後に、施設老朽化の影響が濃くなる中、利用者へ不便をおかけすることも増えていきます。冬期間に突然の居室エアコン故障や浴室空調および配管腐食など、生活に影響を及ぼす故障が増加しています。

定期的な建物検査の内容を把握し、今後の修繕計画を効果的に進めますが、新たな住環境への関心も高まる中、施設整備費の蓄えを増やし、将来的な視点での施設運営を展開できるように、安定的な収入について次年度も取り組みます。

### 1 生活介護事業・施設入所支援

昨年に引き続き、今年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響により家族の面会や各

種行事の実施を制限、縮小せざるを得ない状況となりました。令和5年1月にクラスターが発生し、これまでの感染防止対策やゾーニングの在り方などを再確認することとなりました。そんな中、感染症対策や職員の支援体制を維持しながら、個別支援計画に応じて利用者へ充実した生活が送れるように支援しました。

活動や行事では、3年ぶりに夏祭りを開催したほか、タイ芸能サークルを招いての芸術鑑賞会や忘年会を実施しました。また仙台市障害企画課より招待された木下大サーカスの観覧は感染防止を十分におこない参加することができました。

健康面では、各種感染症対策を今年度も実施し、引き続き共用部消毒、マスク着用、定時換気について、施設全体で取り組みました。

その他、入所者自治会「はぎの会」と、毎月1回役員会を開き、利用者の声を生活に反映させる目的で「自治会ノート」と「給食ノート」を設置し、利用者との意見交換を通して生活環境の改善、また食生活の楽しみの向上に努めました。

家族会の皆様には、日中活動や短期入所利用の現状について総会や役員会などを通して説明し、ご理解とご協力をいただきました。

#### (1) 健康管理

主治医や嘱託医、訪問歯科医のご協力をいただきながら、健康管理に努めました。また、感染症対応で閉塞感のある中で、訪問マッサージの定期的対応を増やし、心と体の緊張等を和らげる効果に努めました。

##### ア 利用者の健康診断

(単位：人)

実施月日	実施内容	実施人数	合計
7月～8月	尿検査・体重測定	入所：36 通所：5	合計：41
6月	内科検診 ※感染症予防対策で中止	—	—
6月10日	生活習慣病健診 血液検査, 心電図, 視力	入所：34 通所：7	合計：41
6月10日	胸部レントゲン	入所：34 通所：7	合計：41
6月10日	大腸癌検査	入所：34 通所：7	合計：41
4月18日 10月17日	新型コロナウイルスワクチン接種 (65歳以下17名×2) *3回目、4回目*	入所：34	合計：34
8月8日 12月26日	新型コロナウイルスワクチン接種 (65歳以上16名×2) *4回目、5回目*	入所：32	合計：32
11月29日 12月1日	インフルエンザ予防接種	入所：33 通所：3	合計：36
3月1日	内科健診 (書類提出)	入所：34 通所：8	合計：42

イ 訪問歯科診療 毎週木曜日

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	44	39	54	34	36	41	30	31	37	0	33	38	417

ウ 鍼灸治療（アスター治療院）毎週月曜日・水曜日

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	13	14	18	3	14	8	8	6	2	0	0	0	86

エ 訪問マッサージ（リーフマッサージ治療院）毎週月曜日から金曜日

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	54	54	62	48	60	78	78	88	81	10	89	90	792

オ 日常業務

定期通院、臨時通院、代理受診、毎日の検温、体調確認、内服薬管理、血圧管理、点眼介助、創処置、訪問歯科、訪問マッサージ状況調整等をおこない、健康管理に努めました。

(2) 給食

栄養管理に基づき、利用者一人ひとりに合わせた安全・安心な食事形態の提供に努めました。

新型コロナウイルス感染時には、ゾーニング対策として居室喫食、ディスポ食器提供をおこない、衛生管理の徹底を図りました。

「食べる楽しみ」に重点を置き、月1回定期開催される「給食会議」におけるご意見・ご要望を取り入れ、行事食や郷土料理の中に「旬」の食材を使用。普段の給食に「新メニュー」、「選択食」、「企画メニュー」、「外食産業食」を加えながら、利用者が心待ちになるような変化を付けた食事提供に努めました。

非常食に対して、抵抗感無く慣習できるよう、時折「備蓄品」を通常献立の中に取り入れてきました。

給食業者50周年記念の年、スイーツコレクション、ケーキ、高級果物、高級魚、牛肉を給食の中で提供出来たことで、給食のグレードも上がり、質の向上で利用者からの反応は概ね好評でした。

食育の一環として、昨年に引き続き園内の「農園野菜」で育てた「野菜」を給食の食材に加えたことも、給食への関心が高まった要因の一つになったかもしれません。

<行事食>

実施月日	行事食	献立名
5月1日	開園記念日	赤飯、お吸い物、マグロのカツ、春雨の酢の物、ロールケーキ
7月7日	七夕献立	七夕ちらし、さっぱりそうめん、いかと大根のかき揚げ、水まんじゅう

8月 5日	七夕元気ランチ	梅しらす・若布おにぎり, 豚カツ, プリの照り焼き, オクラの和え物, 大豆五目煮, 日本そば, みかん缶, しば漬け
9月 18日	啓生園夏祭り	夏祭り特製弁当
12月 16日	啓生園忘年会	握り寿司, オードブル, 飲料
12月 23日	クリスマス	チャーハン, 牛乳, 主菜選択食, ティラミス
12月 31日	大晦日	年越しそば, 海老天ぷら, いんげんと笹かまの辛子和え, 南瓜のミルク煮, みかん缶
1月 1日	おせち料理	赤飯, お雑煮, おせち料理, 里芋の田舎煮, みかん缶
2月 11日	建国記念の日	赤飯, お吸い物, 鶏もも肉の照り焼き, 生揚げと切干大根の煮物, フルーツポンチ
2月 23日	天皇誕生日	帆立風味五目ちらし, お吸い物, 胡瓜とカニかまぼこ酢の物, りんごとさつま芋重ね煮
3月 3日	雛祭りメニュー	緑の豆と菜の花玉子焼きのちらし寿司, お吸い物, ひじきの白和え, 苺ロールケーキ

### ○その他

- ・嗜好調査（1回）
- ・栄養指導
  - 摂食・嚥下 食事形態変更2名：汁ポタージュ状 → ヨーグルト状（1名）
  - 汁ポタージュ状 → プリン状（1名）
- ・生活習慣病予防健診 朝食時軽食提供
- ・新型コロナ発生時 変則食事提供
  - 1月4日(木)昼食～26日(金)朝食 ⇒居室喫食、ディスプレイ食器提供
- ・選択食実施（12回）
- ・新企画メニュー（日清：9回、栄養士：2回）
- ・新メニュー提供（10回）
- ・仙台市学校給食食材提供「鯖味噌煮」アレンジ献立：鯖炊き込みちらし、鯖ちらし
- ・外食産業食提供（6回）

### (3) 教養娯楽・余暇支援

#### ア 施設行事

実施月日	行事名	利用者	職員	家族	ボランティア
7月 22日	芸術鑑賞会 2022!	28	11	—	—
9月 18日	啓生園夏祭り 2022!	36	16	—	—
11月 29日	令和4年度招待行事 木下大サーカス観覧	7	3	—	—
12月 16日	忘年会 2022! ～昭和レトロとゆかいな 多国籍軍襲来～	40	19	—	—

## イ 他団体行事

実施月日	行 事 名	主 催	参加者
6月 5日	グラウンドゴルフ教室	宮城県障害者福祉センター	1
6月 12日	わくわくダンス	宮城県障害者福祉センター	3
6月 19日	グラウンドゴルフ教室	宮城県障害者福祉センター	1
6月 19日	クワイアチャイム	宮城県障害者福祉センター	4
7月 2日	卓球バレーフォローアップ教室	宮城卓球バレー協会	1
7月 3日	グラウンドゴルフ教室	宮城県障害者福祉センター	1
7月 3日	ボッチャ教室	宮城県障害者福祉センター	2
7月 3日	将棋教室	宮城県障害者福祉センター	1
8月 6日	フラワーアレンジと盆点前	宮城県障害者福祉センター	1
8月 13日	卓球バレーフォローアップ教室	宮城卓球バレー協会	2
9月 4日	書道教室	宮城県障害者福祉センター	2
9月 4日	将棋教室	宮城県障害者福祉センター	1
9月 11日	わくわくダンス	宮城県障害者福祉センター	3
9月 24日	eスポーツ体験教室	宮城県障害者福祉センター	2
10月 16日	わくわくダンス	宮城県障害者福祉センター	2
10月 16日	クワイアチャイム	宮城県障害者福祉センター	4
10月 22日	卓球バレーみやぎ大会	宮城卓球バレー協会	5
11月 6日	グラウンドゴルフ教室	宮城県障害者福祉センター	1
11月 6日	将棋教室	宮城県障害者福祉センター	1
11月 12日	卓球バレーフォローアップ教室	宮城卓球バレー協会	5
11月 20日	グラウンドゴルフ教室	宮城県障害者福祉センター	2
11月 20日	わくわくダンス	宮城県障害者福祉センター	7
11月 23日	わくわくダンスパラダイス	宮城県障害者福祉センター	2
11月 27日	どんどこさいわい太鼓	宮城県障害者福祉センター	6
12月 3日	卓球バレーフォローアップ教室	宮城卓球バレー協会	2
12月 4日	eスポーツ体験教室	宮城県障害者福祉センター	1
12月 11日	こみゅっとクリスマスコンサート	こみゅっと	1
12月 17日	eスポーツ体験教室	宮城県障害者福祉センター	1
12月 18日	フラワーアレンジ	宮城県障害者福祉センター	1
2月 11日	センターまつり 2022!	宮城県障害者福祉センター	3
2月 19日	クワイアチャイム	宮城県障害者福祉センター	3
3月 19日	クワイアチャイム	宮城県障害者福祉センター	3

### (3) サービス向上への取り組み

#### ア 苦情・要望の受付

施設利用者の方々からの苦情等について迅速かつ適切に対応し、サービスの向上を高めるため、平成14年度より本制度を設置しています。

令和4年度は、苦情・要望ともにありませんでしたが、日々の生活での相談等は随時対応しています。

#### イ 障害者虐待（相談・通報・届出）の受付

障害者虐待防止法の施行に伴い、障害者への虐待等についての迅速な対応およびその防止について啓発に努めるため、平成24年度10月より障害者虐待防止委員会を設置しています。

[受付件数] : 0件

## 2 短期入所事業

相談支援事業所や行政等と連携し、緊急性のある在宅者の方に対し積極的な受け入れをおこないました。

今年度は7月に通所利用者のコロナ感染、1月に入所利用者のコロナ感染があり、短期入所事業を休止したため、前年度と比較して利用日数や実人数ともに減少となりました。

## 3 職員の資質向上

### (1) 施設外研修会

研修日	研修内容	参加者
7月6日	クレーム対応研修（基本編）	1
7月30日	障がい者施設における予防的権利擁護について考える研修会	1
9月1日	社会福祉施設保健担当職員研修（基礎）	1
9月8日～9日	第44回全国身体障害者施設協議会研究大会 FUKUOKA2022 今こそ心をひとつに ～with コロナ after チャレンジ～	1
9月27日	アサーティブコミュニケーション研修	1
10月5日	ボランティアコーディネーター研修	1
11月9日	宮城野区給食施設関係者研修会	1
12月2日	社会福祉施設保健担当職員研修（実践）	1
12月6日	自閉症スペクトラム症特性の理解と支援 ～強みを活かして支援する～	1
1月23日～31日	東北ブロック身体障害者施設協議会職種別（専門）研修会	6
2月15日～16日	社会福祉施設新任職員研修4班	1
2月19日	障害者福祉施設における障害者虐待の防止と対応基本研修	1
2月28日	地域リハビリテーション推進強化事業障害の理解啓発セミナー ～障害者の加齢に伴う心身機能低下への対応と健康管理～	1
3月10日	第2回東北ブロック身障協施設長会議	1



(2) 内部研修

実施月日	研 修 内 容	参加者
4月21日	虐待防止に関する研修	15
9月22日	ケース記録の記載の変更について	14
3月23日	食事介助について	15

(3) 職員会議

実施月日	会 議 内 容	参加者
4月21日	<ul style="list-style-type: none"><li>・令和4年度事業計画について</li><li>・新たに取り組むこと</li><li>・その他施設長より</li></ul>	15
5月27日	<ul style="list-style-type: none"><li>・施設運営の課題への取り組みについて</li><li>・今年度、各課の取り組み</li><li>・報告 令和4年度「各種委員会活動計画」 「私たち職員の姿勢や言動について」</li></ul>	16
6月16日	<ul style="list-style-type: none"><li>・各課より（伝達事項）</li><li>・法人職員としての労務管理ルールを理解する</li><li>・事務作業のお願い</li><li>・各種支援マニュアルの作成について</li><li>・施設利用者の新型コロナワクチン接種（4回目）について</li><li>・職員の外部研修への派遣について</li><li>・口腔衛生管理体制加算取得にむけた取り組みについて</li><li>・夜間想定避難訓練の準備について</li><li>・グループワーク</li></ul>	20
8月18日	<ul style="list-style-type: none"><li>・各課からの連絡事項（今後の予定）</li><li>・啓生園祭り 2022 の進捗状況</li><li>・夜間想定避難訓練について</li></ul>	11
9月22日	<ul style="list-style-type: none"><li>・職員の業務中事故について（報告）</li><li>・事故に至った原因分析</li><li>・再発防止への取り組み</li><li>・自分を知る…安全運転自己診断</li><li>・職員内部研修会</li></ul>	14
10月20日	<ul style="list-style-type: none"><li>・各課から上半期実績の状況について</li><li>・施設長より 上半期に関すること 我々が目指すこと 公益性への目指すこと</li><li>・職員研修会</li><li>・職員情報交換</li></ul>	12

11月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設長より 上半期施設運営を振り返って</li> <li>・上半期活動報告</li> <li>・マニュアルの手順確認</li> <li>・グループ協議</li> <li>・協議の発表</li> </ul>	12
12月22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設長より 次年度に向けての準備</li> <li>・各課からの報告</li> <li>・研修報告会</li> <li>・スタッフ情報確認</li> </ul>	12
2月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設長より 施設内感染対応へのお礼 令和5年度 事業計画</li> <li>・各課からの報告</li> <li>・研修報告会</li> <li>・スタッフ情報共有</li> </ul>	16

#### 4 実習生の受入れについて

##### (1) 実習生

月 日	学校名	人数
9月6,7日	宮城県西多賀支援学校	1
2月15日	宮城県西多賀支援学校	1

#### 5 施設の保全・安全管理と整備事業

##### (1) 安全管理、保守点検、整備事業

実施月日	保守点検整備
毎月実施	エレベーター定期点検
隔月実施	電気設備点検
6か月毎実施	レジオネラ属菌検査 浴室ボイラー定期点検 汚水槽、グリストラップ清掃 自動ドア定期点検
4月22日	インターホン更新工事
5月17～18日	Wi-Fi 設備館内設置工事
5月19日	105・205・206号室 居室改修工事に伴うカーテン設置
6月1日	スロープ誘導等の修繕
6月13日	厨房内換気扇修繕工事
7月12日	浴室渡り廊下 トップライト（排煙窓）修繕工事

9月 1日	エレベーター機械室 換気扇交換工事
9月 16日	エレベーター ブレーキライニング・制御盤内冷却ファン取替
9月 30日	109号室 介護用ベッドの修繕
11月 5日	ボイラー室内 脱衣室床暖房系統配管修繕工事
12月 27日	ボイラー室内 安全弁交換
1月 24日	汚水桝改修工事
1月 26日	106～109号室 マルチエアコン ガス漏れ調査修繕工事
2月 7日	108号室 トイレ詰まり解消工事
2月 12日	101～105号室 マルチエアコン ガス漏れ調査修繕工事
3月 3日	ガス警報器交換

## (2) 防災・防犯対策

年3回、消防訓練を実施して職員・利用者の防災意識を高めました。

また、東北ブロック身体障害者施設協議会による防災シミュレーションや宮城県の要請に応じた原子力災害訓練にも参加しています。

9月 6日	第1回夜間想定避難訓練
10月 28日	宮城県原子力災害訓練
12月 12日	第1回合同避難訓練
2月 15日	東北ブロック防災シミュレーション
3月 17日	第2回夜間想定避難訓練

## 10 資料1 (令和5年3月31日現在)

### (1) 入所支援事業

※ ( ) 内数字は前年度

延べ人数	不在者数	実在籍者数	在籍率
10,648	1,825	12,473	85.3% (96.8)

### (2) 生活介護事業

※ ( ) 内数字は前年度

所 属	入 所 (定員 40)		通 所 (定員 10)		合 計	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
3月31日 在園人数	20(18)	16(16)	4(5)	2(3)	24(23)	18(19)
	36(34)		6(8)		42(42)	
延べ利用人数	10648/12473		742/832		11390/13305	
利 用 率	85.3%(96.8)		89.1%(55.5)		85.6%(91.3)	

## (3) 短期入所利用者状況

※ ( ) 内数字は前年度

月	区分6		区分5		区分4		区分3		区分2		計	
	実人数	日数	実人数	日数	実人数	日数	実人数	日数	実人数	日数	実人数	日数
4月	1	7	2	18			2	39			5	64
5月	1	13	2	15	1	2	2	40			6	70
6月	1	15	1	9	1	3	2	39			5	66
7月	1	7	2	43	1	7	1	14			5	71
8月	1	15	3	53			1	9			5	77
9月	1	15	1	10	1	4	1	10			4	39
10月	1	16	1	10			1	10			3	36
11月	1	15	1	10			1	10			3	35
12月	1	15	2	12			1	9			4	36
1月			1	2							1	2
2月	1	13	1	9			1	9			3	31
3月	2	21	1	9			1	9			4	39
計	12	152	18	200	4	16	14	198			48(73)	566(723)

## (4) 年齢層

※ ( ) 内数字は前年度

年代	入所		通所		合計			
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	計	構成%
10代	0	0	0	0	0	0	0	0
20代	0	1	1	0	1	1	2	4.7
30代	1	0	2	2	3	2	5	11.6
40代	0	2	0	0	0	2	2	4.7
50代	8	4	1	1	9	5	14	32.5
60代	6	7	0	0	6	7	13	30.2
70代	5	2	0	0	5	2	7	16.3
80代	0	0	0	0	0	0	0	0
計	20	16	4	3	24	19	43	
平均年齢	62.35	57.8	36.75	40.33	58.08	55.05	56.74	

(61.6) (56.8) (40.8) (47.3) (57.0) (55.3) (56.2)

## (5) 在園年数

※ ( ) は前年度実績

	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	計
男性	2(1)	1(0)	1(1)	4(5)	1(0)	11(11)	20(18)
女性	0(1)	2(1)	0(0)	5(5)	0(1)	9(8)	16(16)
計	2(2)	3(1)	1(1)	9(10)	1(1)	20(19)	36(34)

平均在園期間 13年2か月(12年11か月)

## (6) 障害支援区分

区 分	入 所		通 所		合 計	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
1	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0	0
3	3	2	0	0	3	2
4	3	3	0	1	3	4
5	10	8	1	1	11	9
6	4	3	3	0	7	3
計	20	16	4	2	24	18

平均支援区分 4.83 (4.86)

## (7) 障害等級

		入 所		通 所		合 計			
		男性	女性	男性	女性	男性	女性	計	構成%
身 障 手 帳	1	6	5	1	2	7	7	14	25.0
	2	11	7	3	1	14	8	22	39.3
	3	1	3	0	0	1	3	4	7.1
	4	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	6	1	0	0	0	1	0	1	1.8
療 育	A	2	4	2	1	4	5	9	16.1
	B	3	2	0	0	3	2	5	8.9
精神保健		1	0	0	0	1	0	1	1.8
計		25	21	6	4	31	25	56	

## (8) 主たる障害部位

	入 所		通 所		合 計			
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	計	構成%
上 肢	3	0	1	1	4	1	5	11.9
下 肢	3	5	0	1	3	6	9	21.4
上下肢	6	4	2	0	8	4	12	28.6
片麻痺	5	2	0	0	5	2	7	16.6
視 覚	0	1	0	0	0	1	1	2.4
聴 覚	0	3	0	0	0	3	3	7.1
平 衡	1	0	0	0	1	0	1	2.4
体 幹	2	0	0	0	2	0	2	4.8
内 部	0	0	0	0	0	0	0	0.0
その他	0	1	1	0	1	1	2	4.8
計	20	16	4	2	24	18	42	

## E 第二啓生園（就労継続支援B型事業）

今年度も、新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底し、安心して通所できる作業環境づくりを目標に、作業時間の短縮等、就労と感染予防の両立に努めました。

印刷班については、紙媒体からデジタルへの移行、紙代等の物価高騰による、顧客からの受注削減などの影響があり、前年度の売り上げには届きませんでした。新規顧客開拓と宮城県・仙台市など官公庁等の入札に積極的に参加しました。また、日本セルフセンターとの連絡も密に図り、受注に繋げています。

受託作業（包装作業・箱折作業）は、各業者の協力もあり、前年度同等の作業確保をすることができました。

オリジナル製品班については、メイン商品であるウォッシュクリーンの受注生産をおこない、販売に繋げています。

デジタル班については、国立国会図書館蔵書デジタル化業務を7月から開始し、宮城県、日本財団、全国の拠点と協働し、3月に納品を完了することができました。国立国会図書館からの厳格な進捗管理、納品期日厳守のため、実作業及びスケジュールの管理が予想以上に大変でした。日本財団の「働く障害者に高い工賃を支給」との考えにより、収支に対しても、厳しい管理がありました。

就労支援全体の収入については、前年度を上回る結果となり、工賃支給額も前年度より多く支給することができました。

生活支援については、ご家族や相談支援事業所・支援学校等と連携体制をとりながら支援をおこなってきました。

年間利用率は、90.3%（前年度89.7%）と、前年度に比べ増加したものの、施設利用者数の定員割れにより、月平均利用者数については33人（前年度34.2人）という状況となっています。

長期欠勤や入院、ご家族の体調不良、他事業所へ施設移行等、障がいの重度化・高齢化の影響が顕著になってきており、サービス管理責任者を軸に、相談支援事業所・行政・地域包括等と連携し支援に努めました。

衛生委員会のもと、産業医による事業所巡回やストレスチェックの実施により、職員の危険防止及び健康障害の防止に努めました。

### 1 就労継続支援B型事業

#### (1) 作業支援

図書館蔵書デジタル化業務の初年度として7月に蔵書が搬入され、作業を開始しました。日産数、週間数の進捗管理、品質の管理、納品日、納品数等の厳格な管理もあり、厳しい作業スケジュールではありましたが、宮城県、日本財団、全国他7拠点と協働し、遅延等が発生しないよう対応しました。スキャナー1台の故障トラブルもあり、目標納品数には届きませんでした。全職員が全力で対応し、無事に納品するこ

とができました。利用者育成までは、対応することができませんでしたので、令和5年度の課題として、各作業工程指示書を修正し、利用者育成に力を入れ対応します。宮城県図書館の蔵書デジタル化業務は令和5年2月に本格的にスタートし、5月のデータ納品に向け対応しています。

印刷作業では、前年度より売上げが下がる形となりましたが、取引先の新規開拓、宮城県・仙台市への積極的な入札参加、官公庁への営業活動、日本セルフセンター等との連携により、作業受注に繋がりました。

受託作業（包装・箱折作業）では、各業者との調整とご協力により、作業の受注に繋げることができ、利用者に安定した作業提供をおこなうことができました。

自主生産作業は、外部での販売参加は実施しませんでした。主力商品であるウォッシュクリーンの受注生産に力を入れ、コスト削減をおこない、数多くの受注に対応しました。

## (2) 生活支援

各相談支援事業所が作成するサービス等利用計画を、サービス管理責任者が個別支援計画に反映させ、ご本人の意向、ご家族の意向を基に支援をおこないました。

また、健康面、ご家族状況などによる退園者が多く発生しており、新規利用者確保のため、宮城県と共同で新規蔵書デジタル化事業の利用者説明会、各支援学校、各関係機関と連携し共有化を図りました。自治会代表者会議を定期的（偶数月）に開催し、意見交換を通して施設内の生活環境の改善に努めました。

## (3) 健康管理

### ア 各種健診の実施

実施日	実施内容	受診数
7月 13日	尿検査	36
5月 31日～10日	体重測定	35
6月 10日	生活習慣病予防健診（血液検査・心電図・聴力）	36
	（胸部レントゲン）	36
3月 1日	内科検診	36

### イ 訪問マッサージ（希望者）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	10	14	12	13	10	14	11	10	9	0	0	0	103

### ウ 給食の提供

給食業務は日清医療食品株式会社に委託しています。毎月の給食会議の中で、意見交換をしながら新型コロナウイルス感染防止を図り、利用者に喜んでいただける「安全・安心な・美味しい」食事提供に努めました。

日清医療食品株式会社の協力により外食有名店の料理の提供、行事食等四季折々

の食材を取り入れた食の提供、出前食事会を開催し、食への楽しみを感じていただけるように努めました。

各利用者の日々の給食について、嗜好調査をとおり把握に努めました。

(4) 教養娯楽・余暇支援

ア 行事等

※( )内数字は前年度

実施日	行事名	参加数
11月25日	出前食事会(お寿司)	利用者 26(21)・家族 0(0)

イ 他団体募集行事

新型コロナウイルス感染防止のため、中止又は不参加としています。

(5) サービス向上への取組み

ア 苦情・要望の受付

施設利用者からの苦情や要望について、迅速かつ適切に対応し、サービスの質の向上を図るため、平成14年度より本制度を設置しています。

[苦情受付件数] : 0件

[要望受付件数] : 0件

イ 障害者虐待(相談・通報・届出)の受付

障害者虐待防止法の施行に伴い、利用者への虐待防止と人権擁護等のため、平成24年10月より虐待防止委員会を設置しています。

[受付件数] : 0件

## 2 職員の資質向上

(1) 施設外研修会等

月日	研修内容	会場	参加数
4月4日	法人本部新任職員研修会	福祉センター	3
4月18日～ 20日	国立国会図書館蔵書デジタル化業務システム 工程研修会	コロニー東村山	2
11月22日	感染症予防オンラインセミナー	オンライン研修	2
11月28日	矯正施設退所者等の障害者・高齢者の方々への 地域生活支援に関する研修会	オンライン研修	1
12月21日	宮城県サービス管理責任者等基礎研修	オンライン研修	1
2月16日	就労支援事業会計処理に関するオンライン研修	オンライン研修	2

(2) 施設内研修会

月日	研修内容	参加数
3月11日	虐待防止研修会	8



### 3 実習生、見学者の受け入れについて

#### (1) 実習生（支援学校等）

期 間	内 容	学校名・事業所名	実習者
6月13日～6月17日	職場実習	仙台市立いずみ高等支援学校	1
6月21日～6月22日	職場実習	宮城県立小松島支援学校	1
6月21日～6月24日	職場実習	宮城野障害者福祉センター	1
6月27日～7月1日	職場実習	仙台市立鶴谷特別支援学校	1
4月8日	職場実習	その他(個人) デジタル事業	1
4月25日～4月28日	職場実習	その他(個人) デジタル事業	1
5月30日～6月3日	職場実習	その他(個人) デジタル事業	1
8月17日～8月23日	職場実習	その他(個人) デジタル事業	1

#### (2) 見学者

月 日	団 体 名	人数
5月23日	就労支援事業ひらく	2
6月14日	宮城野障害者福祉センター	2
8月19日	宮城県立小松島支援学校	2
9月28日	仙台市立鶴谷特別支援学校	2
10月21日	山形コロニー	2
10月31日	宮城県立小松島支援学校	2
10月31日	仙台昭和化学研究所	2
2月2日	個人	1
2月21日	宮城県・宮城県図書館	5
3月9日	結っ人	4
3月10日	結っ人	4
3月13日	結っ人	4
3月20日	宮城県立小松島支援学校	2
3月23日	結っ人	4

### 4 安全管理と防災対策

消防用設備は、年2回の保守点検の他に、職員による自主点検を毎月実施しました。避難訓練は年2回（9月・3月）、緊急放送設備や避難誘導の手順の確認をしながら、利用者及び職員の意識の向上に努めました。

### 5 施設保全 修理・工事

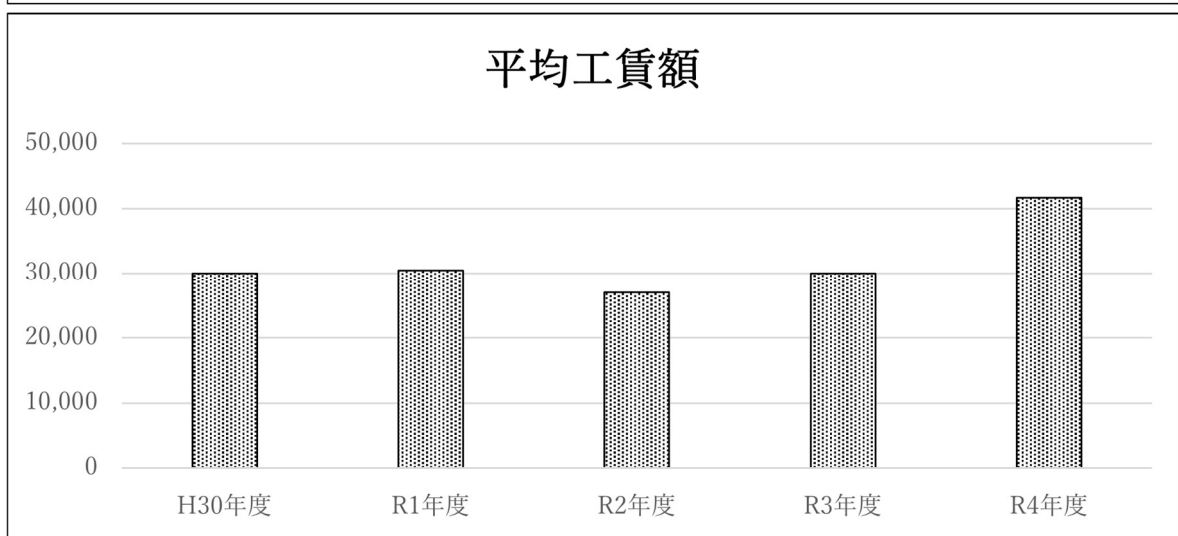
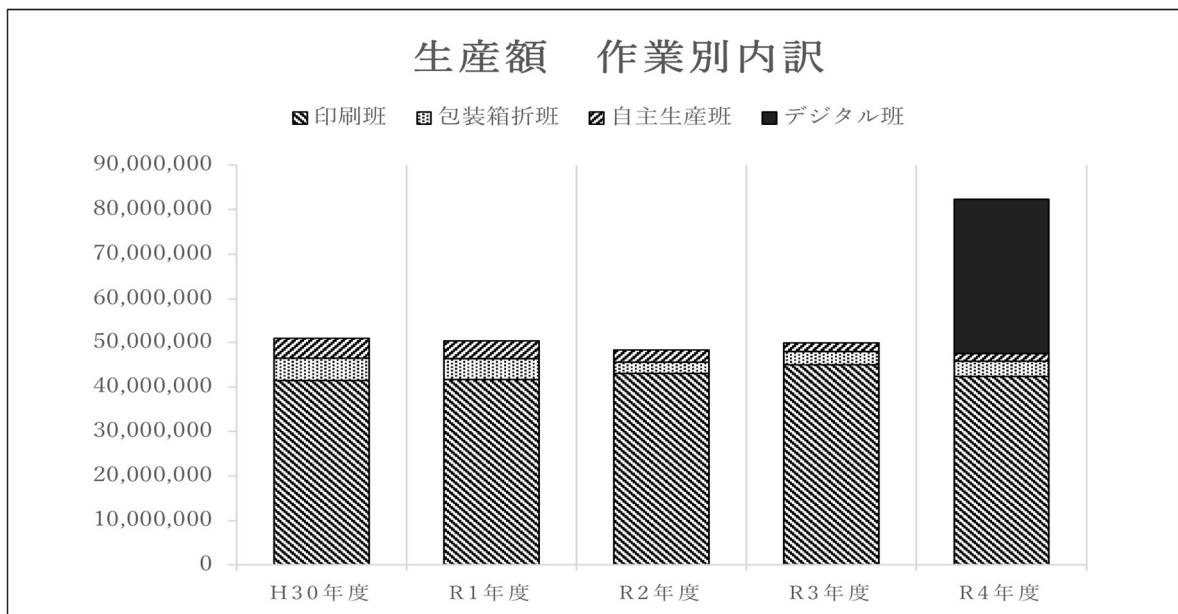
デジタル作業関連として、耐火保管庫設置工事、精密空調機設置工事、ネットワーク工事、防犯システム及びPC設置工事を実施しました。

資料 1

(1) 就労支援事業

(単位：円)

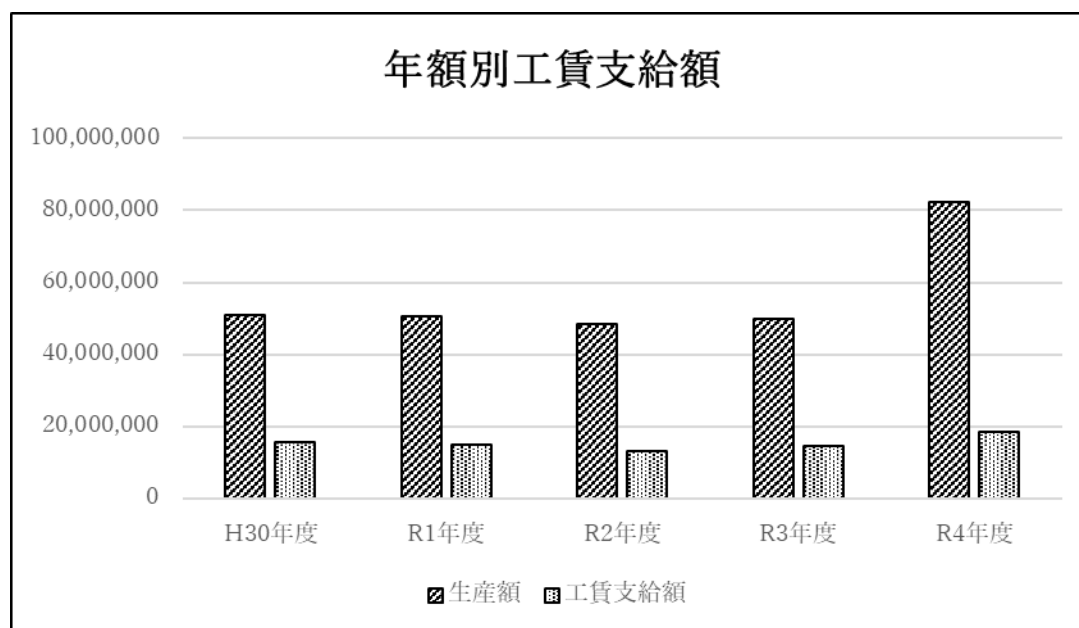
	令和 4 年度	令和 3 年度	増減比較
生産額			
印刷作業	42,341,536	44,986,808	△2,645,272
包装・箱折作業	3,427,678	2,966,823	460,855
自主生産作業	1,759,215	1,931,916	△172,701
デジタル作業	34,798,635	—	34,798,635
計	82,327,064	49,885,547	32,441,517
工賃支給総額	18,262,344	14,590,922	3,671,422
平均工賃額	41,694	30,006	11,688



## (2) 月別工賃支給状況

(単位：円)

月	工賃支給額		平均工賃額	
	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度
4月	694,627	1,090,955	18,773	26,608
5月	704,559	1,022,593	18,541	26,015
6月	680,046	1,165,793	18,890	28,433
7月	3,294,884	1,275,670	91,525	31,113
8月	3,088,914	1,178,576	85,803	28,745
9月	2,888,912	1,073,270	78,079	26,177
10月	2,499,240	1,102,145	67,547	26,881
11月	454,291	1,103,859	12,278	27,596
12月	454,764	1,057,109	12,291	26,427
1月	507,520	924,036	14,501	23,693
2月	507,863	906,753	14,107	22,668
3月	2,490,086	2,690,163	69,076	68,081
工賃支給総額	18,262,344	14,590,922		
平均額	1,521,862	1,215,910	41,694	30,006



## 資料2 (令和5年3月31日現在)

## (1) 利用者状況

※( )内数字は前年度

定員40名	3月31日在園人数		延べ利用人数	利用率
男性	22(24)	36(39)	7,777/8,612	90.3%
女性	14(15)		(8,217/9,840)	(89.7%)

## (2) 入退所状況

※( )内数字は前年度

	月初在籍者(男・女)	入所	退所	退所事由
4月	38(22・16)	1	1	家族都合
5月	36(21・15)	0	2	施設移行
6月	36(21・15)	0	0	
7月	36(21・15)	0	0	
8月	35(20・15)	0	1	施設移行
9月	37(21・16)	2	0	
10月	37(21・16)	0	0	
11月	37(21・16)	0	0	
12月	37(21・16)	0	0	
1月	37(21・16)	0	0	
2月	36(20・16)	0	1	施設移行
3月	36(20・16)	0	0	
計		3(0)	5(2)	

## (3) 年齢層

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計	(平均値)	(中央値)
男性	3	4	2	2	7	3	0	21	43.3	50.0
女性	1	3	0	0	5	5	1	15	48.4	55.0
計	4	7	2	2	12	8	1	36	45.5	55.0
%	11.1%	19.4%	5.6%	5.6%	33.3%	22.2%	2.8%			

## (4) 障害別

障害名	男性	女性	計
脳性麻痺	9	5	14
脳血管障害	1	1	2
筋ジストニア	0	1	1
頭部外傷後遺症	0	0	0
全ろう	0	1	1
その他	10	8	18
計	20	16	36

## (5) 主たる障害部位

部位	上肢	下肢	上下肢	片麻痺	視覚	聴覚	平衡	体幹	内部	その他	計
男性	1	2	9	3	0	2	0	1	1	0	19
女性	2	2	7	4	0	2	0	1	0	1	19
計	3	4	16	7	0	4	0	2	1	1	38
%	8.0%	10.5%	42.1%	18.4%	0.0%	10.5%	0.0%	5.3%	2.6%	2.6%	

(6) 障害等級

	身体障害者手帳						療育手帳		保健福祉手帳	
	1級	2級	3級	4級	5級	6級	A	B	1級	2級
男性	2	10	1	1	1	0	3	8	0	0
女性	3	5	2	1	1	0	2	3	0	1
計	5	15	3	2	2	0	5	11	0	1

(7) 障害支援区分

支援区分	1	2	3	4	5	6	計
男性	2	1	3	6	1	0	13
女性	2	6	0	0	3	0	11
計	4	7	3	6	4	0	24

(平均 2.95)

(8) 在園年数

年数	0~1	1~5	6~10	11~15	16~20	21~	計	(平均値)	(中央値)
男性	2	5	1	1	1	10	20	16.4	19.5
女性	2	4	0	2	0	8	16	19.2	23.0
計	4	9	1	3	1	18	36	17.2	22.0
%	11.1%	25.0%	2.8%	8.3%	2.8%	50.0%			

## F 宮城県障害者福祉センター（指定管理者施設）

福祉センターは、今年度においては休館することなく、通常どおりの運営をおこなうことができました。年間を通して、新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を徹底した上で、各室の利用人数における制限を徐々に緩和し、貸館の便宜を図りました。利用件数はコロナ禍前の約8割程度まで回復しました。利用人数は14,992人で前年度比51.72%の増加となりましたが、人数制限の影響もありコロナ禍前の約半数（元年度比49.7%）までの回復となりました。

来所時の体調確認及び検温・手指消毒等へご協力をいただくとともに、感染対策として、館内での換気や消毒の徹底、さらには職員への定期的な抗原検査の実施をおこない、感染を未然に防ぐことに努めました。

7月から8月にかけての感染者数の急増を受け、大型のイベント「センターまつり2022！」は翌年2月に延期しての開催となりました。主催事業の各種教室や出前教室などは順調に開催することができ、コロナ禍であっても余暇の充実や各種活動をとおしての楽しい交流のひとつは多くの方に喜んでいただき、利用者の活動拠点としての役割を果たすことができました。

電気料金の値上げや、社会情勢による物価の上昇および施設の老朽化による突発的な修繕への対処に日々、追われる一年となりました。今後も節電や様々な節約等の工夫を試み、計画的な修繕等の協議を宮城県に働きかけながら、効率的な施設運営に努めます。

宮城県による施設整備工事は昨年度に引き続き進められ、非常灯改修工事ならびに本館の照明機器LED交換工事が完了しました。

### 1 事業実施報告

#### (1) 相談事業

障がいのある方々やそのご家族からの電話によるご相談、来所によるご相談に対し、適切な情報の提供をおこなうなどの助言にあたるとともに、必要に応じて、県内の福祉関係機関と連携を密にしながら組織的対応で支援しました。即、解決の見通しがきかないご相談に対しても傾聴に努め、安心して相談ができる場を提供しました。

#### ア 相談件数

※（ ）内数字は前年度

電話相談	来所相談	訪問相談	メール	合計
18(28)件	1(5)件	4(1)件	1(1)件	24(35)件

#### イ 相談内容一覧

障害種別	相談内容							計
	職業	教育	生活	医療	福祉	訓練	その他	
肢体不自由	0(0)	0(0)	3(6)	0(0)	7(3)	0(1)	0(1)	10(11)
視覚障害	0(2)	0(0)	0(1)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	1(3)

聴覚障害	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
知的障害	0(0)	0(0)	0(7)	0(0)	3(0)	0(0)	0(0)	3(7)
精神障害	1(0)	0(0)	2(3)	0(0)	4(1)	0(4)	0(2)	7(10)
内部障害	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	1(0)
その他	1(0)	0(0)	0(2)	0(0)	1(0)	0(0)	0(1)	2(3)
計	2(2)	0(0)	5(19)	0(0)	17(4)	0(5)	0(4)	24(34)

## (2) 研修事業

地域及び関係機関との連携を強化し、障がい者福祉関係者の研鑽の場を提供しました。

### ア 障がい者福祉関係施設等職員研修会

宮城県内の障がい者福祉関係の施設や事業所職員、団体職員などを対象に、職員の資質向上を目的にした研鑽の場を提供しました。今年度はメンタルコーチングに着目し、心理学を通じたコミュニケーションの方法等について学びました。また、初めてオンラインでの研修を開催し、遠方の方々から多くの参加申込をいただきました。

※ ( ) 内数字は前年度

開催日 会場	参加人数	内容
2月24日(金) オンライン	36(9)	「メンタルコーチングワーク講座 ～いきいきと健やかな心を保ちながら働くためのコツを考えよう～」 講師：メンタルコーチングトレーナー 中野 雅子 氏

### イ 当事者及び家族に対する研修会

福祉サービスや暮らしに関する法律、制度や気になる話題をテーマに取り上げ、気軽に参加できる研修会の開催を目指しました。今年度はライフプランについて着目し、将来に向けてのお金の使い方について制度やサービスを交えて学びました。

※ ( ) 内数字は前年度

開催日 会場	参加人数 障害種別	内容
1月29日(日) 館内	25(29) ・知的障害 ・精神障害 ・肢体不自由 ・一般	「障がい者のライフプラン ～自分やご家族の将来を見据えて～」 講師：障がい者の暮らしとお金の相談室 理事長 齋藤 真一 氏

### ウ ボランティア養成に関する研修（ボランティア養成講座）

地域の方々やボランティアを希望する学生を対象に「聴覚障害」をテーマに「障がい」への正しい理解や手話を当事者団体から学ぶ機会を提供しました。

開催日 会場	参加人数	内 容
2月18日(土) 館内	29	ボランティア養成講座「手話言語ってなあに？」 講師：一般社団法人 宮城県聴覚障害者協会

エ 館内研修・外部要請研修（社員研修・施設見学等）の受け入れ

個人・団体問わず、宿泊利用や日中活動等の施設利用のための見学も随時受け入れました。

開催日	参加人数	内 容
6月27日 ～8月1日	2	社会福祉現場実習を23日間受け入れました。 (仙台医療福祉専門学校2年)
7月4日 ～7月11日	1	現場実習を5日間受け入れました。 (宮城県立船岡支援学校高等部2年)
11月9日	1	社会体験学習（職場体験）を1日間受け入れました。 (宮城県立視覚支援学校高等部1年) (協力：宮城県障害者総合体育センター)

(3) 日常生活支援事業

ア チャレンジトレーニング

障がいのある方が、身体機能の維持、日常生活並びに学習活動の訓練等を通して、自己の課題を可能な限り克服し、地域社会のなかで主体的に種々の社会活動に参加できるようになることを目指して実施しました。

訓練種別	対象	回数	内容
フォローアップ訓練	女性 60代 肢体不自由	5回	・部屋の片づけ支援・支援者間の連携調整
日常生活訓練	女性 50代 肢体不自由	3回	・介助の負担軽減を図り自立した着脱を目指すため、洋服の袖詰め作業を実施 (裁縫, アイロン)
	女性 40代 知的障害	10回	・コミュニケーショントレーニング ・調理実習・面談・パソコン作業

イ チャレンジプログラム「チャンスの種まき」

障がいのある方が、自分の興味・関心に応じたコースを選択し、講師や仲間との交流をとおして、自由により楽しく活動に取り組める環境を提供し、可能な限りの自己実現を支援しました。

新型コロナウイルス対策として参加人数の制限やコースによっては教室を分散させて開催しました。



## 種まきコース

※（ ）内数字は前年度

教室名	開催日	参加人数 障害種別	内容・講師（支援協力者）
「書」教室	7月～10月 5(4)回	52(45) ・肢体不自由 ・知的障害 ・精神障害 ・家族 ・一般	「四季からイメージされる文字をテーマとした書道」 「書き上げた作品から講師が作品を選定し、カレンダーを作成」 講師：大塚 耕志郎 氏
「輝けプラチナ世代！ミュージズ」	7月～11月 4(4)回	32(38) ・発声障害 ・知的障害 ・肢体不自由 ・精神障害 ・家族 ・一般	7月・11月「アロマ教室」 講師：日本アロマ環境協会 伊藤久美 氏 9月・10月「メイク教室」 講師：資生堂ジャパン 佐藤真理子 氏
「手仕事サロン ひだまり」	6月～12月 13(10)回	185(120) ・知的障害 ・聴覚障害 ・肢体不自由 ・発達障害 ・家族 ・一般	「各自の作業、主にズボンやバッグの制作」 講師：ユニバーサルファッション 工房繕 佐藤万里子 氏

## 育みコース

教室名	開催状況	参加人数 障害種別	内容・講師（支援協力者）
「クワイアチャイム音楽ひろば」	5月～3月 8(6)回 ※1回中止	108(72) ・肢体不自由 ・知的障害 ・家族 ・一般	「楽曲練習」 指導：福祉センター職員
「わくわくダンス」	6月～3月 8(5)回	176(121) ・知的障害 ・精神障害 ・肢体不自由 ・発達障害 ・家族 ・一般	「自己表現を大切に、曲にのって自由にダンスを踊る」 講師：すんぷちょ 及川多香子氏

絵画サロン 「アトリエ」	7月～12月 6(6)回	39(40) ・知的障害 ・精神障害 ・家族 ・一般	自由に絵を描き、楽しむことを主眼において開催
-----------------	-----------------	--	------------------------

(4) カルスポ（カルチャー・スポーツ）・交流事業

定員の削減、3密対策、消毒の徹底等の新型コロナウイルス感染防止対策をおこないつながりながら、各種教室等を開催しました。

ア スポーツ体験ひろば

※（ ）内数字は前年度

事業名	日時	参加人数 障害種別	内容
「eスポーツ体験教室」 (宮城県障害者総合体育センターと共催)	9月24日 10月22日 11月6日 12月4日 12月17日 5(3)回	65(60) ・知的障害 ・精神障害 ・肢体不自由 ・発達障害 ・家族	電子機器を使用する対戦型のスポーツ競技の体験 協力：仙台eスポーツ協会
	【大会参加状況】 ・「第5回大阪障がい者eスポーツ大会“アワハウスカップ”」 開催日：7月10日 参加者：1名 結果：優勝 ・「第6回大阪障がい者eスポーツ大会“アワハウスカップ”」 開催日：12月11日 参加者：1名 結果：3回戦敗退		
パラスポ体験・PR教室	10月24日	10(0) ・肢体不自由 ・視覚障害者	タンデム及びハンドサイクルの試乗体験 場所：名取市サイクルスポーツセンター

イ 体感ワークショップ「まっくら散歩道」

開催日 会場	参加人数 障害種別	内容
9月17日(土) 宮城野文化センター	64 ・障がい全般 ・一般	光の入らない部屋で、アテンドによる声かけ・誘導や白杖歩行をとおして感覚の変化やコミュニケーションを楽しむ。 協力：すんぷちょ(フラットシアターフェスティバル)

ウ センターまつり2022!

障がいの有無を越え、多くの方々に、事業紹介や活動成果の発表を通し、交流促進を図りながら楽しんでいただける時間を提供することをねらいとして、開催しました。

開催日 会場	参加人数 障害種別	内容
2月11日(土) 館内	138 ・障がい全般 ・一般	<p>【ステージ発表】</p> <p>太鼓の演奏(出演：幸南復興太鼓)</p> <p>タイ舞踊・楽器体験(出演：タイ芸能サークルミーオカー)</p> <p>【体験コーナー】</p> <p>ネイルコーナー(協力：日本保健福祉ネイリスト協会)</p> <p>アロマコーナー(協力：日本アロマ環境協会)</p> <p>小物づくり体験コーナー(協力：こみゅっと)</p> <p>チャーム作り体験コーナー(協力：石井喜子氏)</p> <p>縁日コーナー(協力：宮城県障害者総合体育センター)</p> <p>バルーンアートコーナー(鈴木かよ子氏, 小野みき子氏)</p> <p>【展示コーナー】</p> <p>展示車両(協力：トヨタハートフルプラザ仙台)</p> <p>絵画展示(協力：アトリエ北斗七星)</p> <p>陶芸・写真展示(協力：ファミリーにこにこクラブ)</p> <p>立体オブジェ展示(協力：ぞうさんの家)</p> <p>書道作品展示(協力：書楽、センター書)</p> <p>洋服・バッグ・小物等展示 (協力：センター手仕事サロンひだまり)</p> <p>【その他】</p> <p>ラウンジ喫茶幸(協力：喫茶ルームぱれった 他)</p>

#### エ ダンス☆パラダイス 2022!!

開催日	参加人数 障害種別	内容
11月23日 (水・祝)	74(47) ・知的障害 ・精神障害 ・肢体不自由 ・発達障害 ・家族 ・ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウォーミングアップ(きつねダンス)</li> <li>・ディスコタイム(ディスココンテスト)</li> <li>・ディスココンテスト各賞表彰</li> <li>・ドリンクコーナー, 変身コーナー</li> </ul>

#### オ 趣味の教室

障がいのある方が、創造の喜びを味わうとともに仲間づくりを図り、日常生活に潤いと変化をもちながら、社会参加への足がかりとすることができるよう、教室を開催しました。

※ ( ) 内数字は前年度

教室名	開催日・日数	参加延べ人数 障害種別	講師・指導協力者等
クッキング	7月30日(土) 10月15日(土) 12月17日(土) 1月14日(土) 4(3)日	64(38) ・肢体不自由 ・知的障害 ・精神障害 ・発達障害 ・家族 ・一般	7月「夏休みこどもクッキング教室」 10月「お野菜たっぷり韓国料理」 12月「みんなパティシエブルーランジェリー(パンやさん)」 1月「缶詰を使って冬のおうちご飯を作ろう」 講師： 料理教室「七ツ森」浅野 ゆか 氏 四季の森パーニス 岡本 牧子 氏
陶芸	2月19日(日) 2月26日(日) 3月19日(日) 3(2)日	48(20) ・発声障害 ・知的障害 ・発達障害 ・家族 ・一般	「器、皿 他」 講師：ギャラリー石神窯 窯元 大場 拓俊 氏
フラワーアレンジメント & 盆点前	8月 6日(土) 9月 9日(金) 10月 9日(日) 12月18日(日) 4(3)日	35(31) ・肢体障害 ・知的障害 ・精神障害 ・家族 ・一般	「季節のアレンジ」「盆点前の手順等」 講師：MOA美術文化芸術財団 インストラクター 三浦 ひとみ 氏
手作りひろば	7月 2日(土) 12月 3日(土) 2(3)日	42(36) ・肢体不自由 ・知的障害 ・精神障害 ・発達障害 ・家族 ・一般	7月「夏用マスクチャーム」 12月「イヤリングorマスクチャーム」 講師：啓生園 石井 喜子 氏
			合計 延べ 131(131)

(5) 広報・啓発事業

ノーマライゼーションの実現を図るには、社会を構成する全ての人々が障がい及び障がいのある方に対して正しく理解をし、配慮していくことが大切であるという認識のもとに、広報・啓発活動に努めました。

ア ホームページによる情報提供

新しい福祉情勢の動向や県内外の福祉情報を提供するために、定期刊行物や読み

物を閲覧できるようにしています。

また、ホームページではより多くの方々へ、事業予定や内容の紹介、参加者募集の呼びかけ等をおこないました。予約における空き状況の照会、各事業の参加申し込みや問い合わせにはメールでも対応できるようにしています。

\*ホームページ更新 15回

宮城県障害者福祉センター ホームページ アドレス

<https://miyasyoufuku.com/>

代表メールアドレス

miyasyoufuku@gmail.com

イ 県内外の福祉情報の提供および定期刊行物や読み物の閲覧  
ウ 機関紙「杜の風」の発行

・1200部発行

エ 事業広報・利用促進チラシの配布

・利用促進パンフレット及び事業案内チラシの随時配布

オ 施設PRプログラム

より多くの方々には有効に当施設を活用していただくことを目指し、施設の貸し出しや事業紹介を周知、PRを図りました。

実施日	参加人数	内容
5月27日(金)	30	特別支援学校初任者研修(2年目)専門研修
9月2日(金)	30	宮城県障がい者福祉協会市町村会長会議
9月7日(水) ～11日(日)	100	趣味の教室紹介(革細工) ※宮城レザークラフト2020杜の会展での作品展示
3月23日(木)	40	大和町ボランティアセンター研修会

## (6) 施設の便宜提供

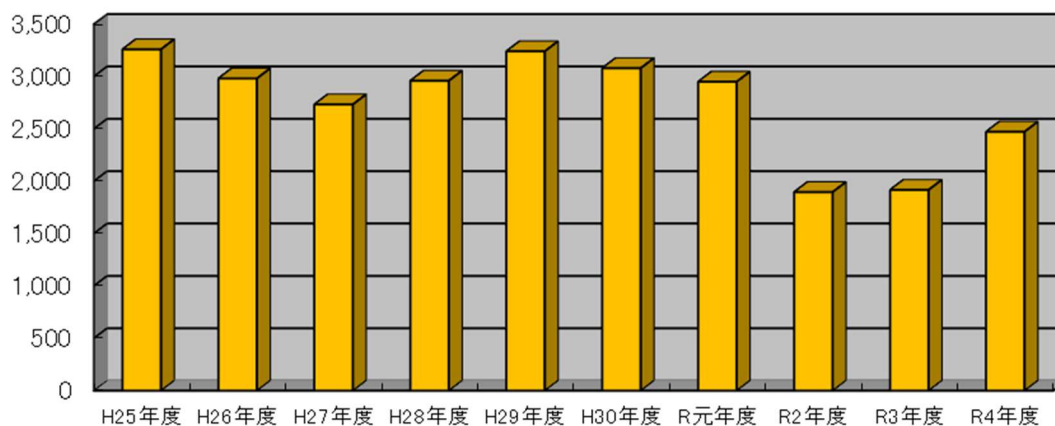
ア 年間施設利用状況

障がいのある方とご家族やボランティア、そして、福祉関係者ならびに一般の方々が開催する研修、会議、交流の場として、会議室等の部屋及び設備の便宜を図りました。(令和元年度より利用人数の集計方法を変更しました。)

2年度から継続してきた各室の使用人数の制限(本来の定員の50%)については、4年度後期から、感染状況に留意しながら緩和しました。

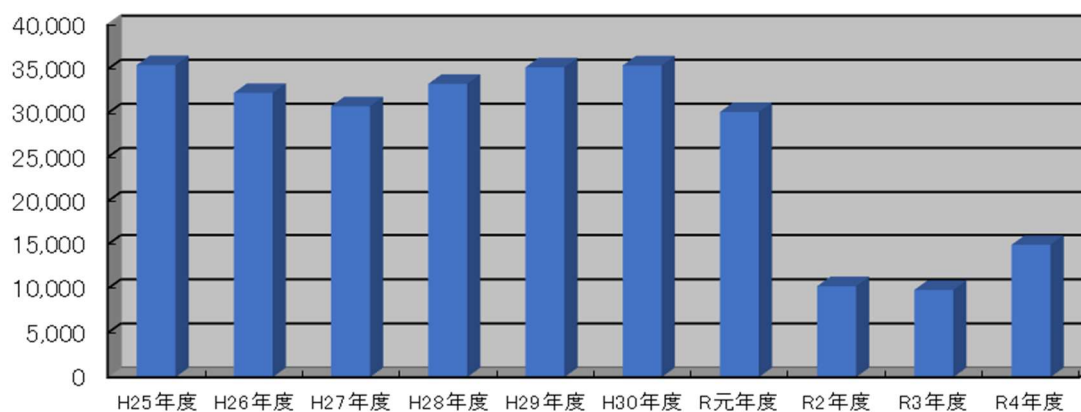
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用人数(人)	10,297	9,881	14,994
利用件数(件)	1,896	1,917	2,474

利用件数（件） 過去10年比較



年 度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
利用件数(件)	3,259	2,981	2,733	2,959	3,240
年 度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用件数(件)	3,079	2,950	1,896	1,917	2,474

利用人数（人） 過去10年比較



年 度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
利用人数(人)	35,477	32,320	30,806	33,349	35,228
年 度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用人数(人)	35,442	30,159	10,297	9,881	14,994

※令和元年度より利用人数実績の集計方法を変更しました。

※令和2年度はコロナ対策のため各室の利用人数を制限しました。（各室定員の50%）

※令和4年度は各室の利用人数制限を緩和しました。

イ 館外事業参加者延べ人数（福祉センター館外で行った事業）

館外で開催した出前教室, パラスポ体験・PR 教室, 体感ワークショップ	合計 28 件 697 人
---	---------------

## 2 利用者サービス

福祉センターの適切かつ効率的な運営並びに利用者サービスの向上を図ることを目的として、次の取り組みをおこない、利用者及び関係者の意見・要望等を把握し、福祉センターの運営に反映しました。

### (1) 利用者サービスの向上に向けた取り組み

#### ア 運営推進委員会の開催

各種障がい者団体及び隣接関連施設の代表で委員会を組織し、当福祉センターの当面する諸問題や相互の連携及び関係する問題についての具体的事項の検討や利用事業の調整を図ることを目的に開催しました。

・会 場：宮城県障害者福祉センター 時 間：15：00～16：00

開催日	内 容	参加人数（名）
4月21日（木）	令和3年度センター利用状況・事業報告並びに令和4年度センター利用計画について その他、センターへの要望、各委員団体の近況報告について	10団体14人 手話通訳2人
10月20日（木）	令和4年度上半期実績報告 事業報告・センター事業への要望・ その他要望	10団体12人 手話通訳2人
		延べ30人

#### イ 利用者懇談会の開催

福祉センターの各利用団体からの声をいただく機会を設け、その中で寄せられた多様なご意見を今後の事業運営に反映させていただき目的として予定しましたが、新型コロナウイルス感染防止のため中止し、アンケートによる意見・要望の集約をおこないました。

事業名	月 日	内 容
利用者懇談会	中止	懇談会の中止に伴い、利用団体アンケートを実施 (85 団体配布中 60 団体回収 回収率 71%)

#### ウ 苦情委員会の設置

当福祉センター利用に関する利用者からの苦情等について、迅速かつ適切に対応し、サービスの向上を高めるため、平成14年度から本制度を設置しています。

受付件数 0 件（前年度 0 件）

エ 虐待防止委員会の設置

障がい者への虐待の防止、早期発見、虐待を受けた利用者への保護を図れるよう研修をおこないました。

受付件数 0件（前年度 0件）

(2) 利用者のニーズの把握

ア 意見箱の設置

センターの運営についてもっと気軽にご意見をお寄せいただけるように、ご意見の投書箱「ケヤッキーあのね」ポストを設置しています。

受付件数 0件

イ 利用者アンケート（上記以外の方法で受付：口頭・電話・相談）

受付件数 0件（利用報告書・電話・書面）

### 3 自主事業

福祉センター事業の効果的促進を図るため、センター独自の事業を実施しました。

(1) 出前教室

余暇活動の提案や当事者活動の有意義なプログラムの提供を目指し、当センター人気教室「趣味の教室」等を出前形式で実施しながら、各地域の障がいのある方々との交流を通して、寄せられるニーズや課題等を掘り起こし、今後の事業へ反映しました。

実施日	会場(館内・館外)	出前教室内容 (出前提供団体)	人数
5月14日(土)	上郡山自治会館	「ボッチャ」 (白石市身体障害者福祉協会)	12
6月8日(水)	さわおとの森	「卓球バレー」 (NPO 法人多機能サポートランドさわおとの森)	20
6月13日(月)	仙台市立東仙台小学校	「CH体験」(聴覚障害の理解、手話体験) (仙台市立東仙台小学校)	93
6月19日(日)	放課後デイサービス ぱるけ西中田	「ボッチャ」 (NPO 法人アフタースクールぱるけ)	20
6月24日(金)	宮城県障害者福祉 センター	「革細工」 (宮城県聴覚障害者協会女性部)	8
6月26日(日)	仙台市宮城野障害 者福祉センター	「素敵なアロマ体験」 (宮城県手をつなぐ育成会)	11
6月27日(月)	ウェルポート仙台	「クワイアチャイム体験」 (アイト仙台障害者地域活動推進センターきりん)	15
6月30日(木)	館内	「ボッチャ」 (宮城県立小松島支援学校)	28



7月21日(木)	NPO 法人つばめっこ	「ボッチャ」 (NPO 法人つばめっこ)	11
7月23日(土)	亙理中央公民館	「マリンバ&ピアノコンサート」 (重症心身障害児者親の会ベリーの会)	25
8月8日(月)	登米市迫体育館	「ボッチャ、スティックボール」 (社会福祉法人登米市社会福祉協議会)	18
8月24日(水)	宮城野区中央市民センター	「CH」(視覚障害者対応訓練) (NPO 法人アートワークショップすんぷちよ)	26
9月1日(木)	仙台市鶴ヶ谷市民センター	「楽しいネイル体験」 (仙台市鶴ヶ谷市民センター)	8
9月8日(木)	仙台市鶴ヶ谷市民センター	「盆点前、フラワーアレンジメント」 (仙台市鶴ヶ谷市民センター)	17
9月24日(土)	ハナトピア岩沼	「フラワーアレンジメント」 (岩沼市身体障害者福祉協会文化部趣味の会)	8
10月6日(木)	館内	「ボッチャ」 (仙台市立連坊小路小学校)	12
10月16日(日)	東松島市役所大曲市民センター	「ボッチャ」 (アドベンチャークラブ)	15
10月20日(木)	館内	「書」 (小松島支援学校中等部)	12
10月22日(土)	放課後等デイサービスじゃんぷ	「ボッチャ」 (放課後等デイサービスじゃんぷ)	9
10月24日(月)	志波姫小学校	「ボッチャ」 (栗原市志波姫小学校)	44
10月26日(水)	西多賀支援学校	「素敵なアロマ体験」 (西多賀支援学校)	14
11月12日(土)	館内	「ボッチャ」 (波の会)	10
11月13日(日)	館内	「ボッチャ」 (きぼっこキャンプ)	43
11月19日(土)	幸町市民センター	「楽しいネイル体験」 (幸町市民センター)	25
11月27日(日)	エル・パーク仙台	「クッキング教室」 (仙台市視覚障害者福祉協会女性部)	10
12月3日(土)	名取市文化会館	「わくわくダンス」 (名取市手をつなぐ育成会)	100
12月10日(土)	色麻町農業改善センター	「クワイアチャイム」 (色麻町社会福祉協議会)	15

1月6日(金)	北山市民センター	「ボッチャ」 (認定 NPO 法人アフタースクールぱるけ ぱるけ中山)	13
1月12日(木)	仙台市立連坊小路 小学校	「ボッチャ」 (仙台市立連坊小路小学校)	24
1月16日(月)	館内	「盆点前」 (宮城県手をつなぐ育成会)	8
1月19日(木)	人來田コミュニ ティ・センター	「ボッチャ、スティックボール」 (ポッケの森)	30
2月3日(金)	幸町市民センター	「卓球バレー」 (仙台幸町市民センター)	12
2月16日(木)	仙台市立岡田小学 校	「当事者交流会, ユニバーサルデザイングッズ紹介」 (仙台市立岡田小学校)	28
合計			33回 延べ744 (30回807)

(2) ロビーパフォーマンス「スポットライトひろば」

当センターの利用団体や教室関係者の皆様の活動発表の場として、作品の展示をおこないました。

期間	内容	利用団体等
11月～3月	コサージュ, リース等	石井喜子氏(センター教室講師)
2月	絵画	アトリエ北斗七星
2月	陶芸, 写真	ファミリーにこにこクラブ
2月	立体オブジェ	NPO法人ぞうさんの家
2月	書道作品	書(センター教室)参加者
2月	書道作品	書楽
2月～3月	洋服, 草履, バッグ等	手仕事サロンひだまり(センター教室)参加者

#### 4 環境配慮の取組

宮城県の「わが社のe行動(e c o d o ! ) 宣言に基づき、「環境配慮実践事業者」として年間を通して積極的に環境に配慮した取り組みをおこないました。

(1) 物品等の調達にあたっての配慮

エコマークやリサイクルなどの環境ラベルのある商品・物品を調達に努めました。

(2) 省エネルギー対策

不要な照明のスイッチをこまめに消したり、階段の積極的な利用促進を図りました。

(3) 自動車燃料使用量の削減

無駄なアイドリングをなくし、エコドライブに努めました。

(4) 省資源対策

使用済み用紙の裏面活用や印刷時の用紙の節約等に留意しました。また、水洗トイレ用擬似音発生器により、節水に努めました。

(5) 廃棄物の減量化・リサイクルの促進

紙、金属片、ガラスびん、プラスチック、電池等の分別の徹底、生ゴミ処理機による生ゴミの堆肥化を実践し、ごみのリサイクルに努めました。

## 5 障害者就労施設等からの物品等の優先調達

宮城県内の障害者就労施設等からの物品等の調達の推進を図るため、その行動実践に努めました。

- (1) 障害者就労施設等からの提供可能な物品の情報については、年間を通し情報収集に努め、その情報を参考に物品等の調達を推進しました。

※ ( ) 内数字は前年度総額

購入項目(品物・役務)	調達の対象となる障がい者就労施設等	金額(円)
会議用 菓子(5件)	就労継続支援B型事業所	13,150
クリーニング	重度障害者多数雇用事業所	43,192
広報誌印刷・封筒代	就労継続支援B型事業所	211,420
「まっくら散歩道」(教材)花	就労継続支援B型事業所	5,040
ホームページ年間保守料	就労継続支援B型事業所	26,400
行事協力者 弁当等(4件)	就労継続支援B型事業所	59,375
プリンターインク	就労継続支援B型事業所	7,282
	合 計	365,859 (298,120)

## 6 地域公益事業

県内各地の障がい福祉関係施設や団体、小グループ等へ福祉センターの出前教室やキャップハンディなどの福祉啓発活動、およびレクリエーションプログラムの実施要請に対し、福祉センターの職員や事業に携わっていただいている講師を派遣し、出前教室・キャップハンディプログラムの実施など、それぞれの地域や団体の活動が活性化されるように事業推進を図りました。

## 7 職員の資質向上(研修参加状況)

職員の事業推進能力を高める知識・技能の習得を目指し、外部研修の機会を活用しました。

月 日	研 修 内 容	参加人数
7月16日(土)17日(日)	障害のある人を支援する防災研修会(オンライン)	1
8月20日(土)	第9回卓球バレー指導者養成講習会	1
9月27日(火)	アサーティブコミュニケーション研修会(オンライン)	1
10月13日(木)	仙台市旅館業衛生講習会(オンライン)	1
1月27日(金)	障害者虐待防止研修(オンライン)	1
1月28日(土)	卓球バレー2022年改訂ルールの解説、実技研修	1
2月 8日(水)	難病患者と災害の備え 災害時医療と福祉避難所	1
2月10日(金)	Withコロナ 新しい生活様式で進める地域づくり	1
2月17日(金)	障害者福祉センター等職員研修会(オンライン)	1

## 8 安全管理及び防災対策

施設利用をされる方々が、安全に安心して利用できるよう、日頃からの日常点検・施設設備点検・職員の防災意識向上を図りました。

特に、東日本大震災での教訓を生かし、近隣施設等との連携強化、情報の提供等に努めました。

- |                    |           |           |
|--------------------|-----------|-----------|
| (1) 避難訓練           | 第1回 9月21日 | 第2回 3月20日 |
| (2) 消防設備点検         | 第1回 7月30日 | 第2回 3月23日 |
| (3) 施設内外日常点検       | 随時        |           |
| (4) 災害用非常食・救急用品の備蓄 | 随時        |           |
| (5) 防災対策・交通安全の研修会  | 随時        |           |

## 9 施設・設備の保全

施設の老朽化で懸念される設備の劣化や破損に留意し、日頃からの職員による点検や、施設の安全に配慮し、保守点検、修繕をおこないました。

No.	項目	内容
1	更新	各種保守点検
2	修繕	外灯用タイムスイッチ修繕工事
3	修繕	本館換気扇フード金網張り工事
4	修繕	旧館共用部照明機器 LED 交換工事
5	修繕	旧館事務室 5 照明機器 LED 交換工事
6	修繕	誘導灯修繕工事(玄関、1階廊下)
7	修繕	旧館給湯室給湯機交換
8	修繕	日常生活訓練室 2 手洗い器排水管修理
9	修繕	障害者福祉センター電気設備改修(LED)工事・非常灯改修工事 (宮城県施設整備事業)
10	修繕	旧館階段塗装工事
11	修繕	受水槽プロボックス交換
12	修繕	汚水桝及び配管入替工事
13	修繕	3階廊下ファンコイル交換
14	修繕	公用車整備・ブレーキフレード交換
15	修繕	職業センター、啓生園、福祉センター下水道共用部工事
16	修繕	ボイラー室給水管漏水工事
17	修繕	日常生活訓練室 2 バスシャワー水栓交換
18	修繕	1階、3階給湯室蛇口交換
19	修繕	1階男子トイレ給湯管漏水工事

## G オアシス（特定相談支援事業）

計画相談支援事業では、定期モニタリング等を通じて、施設やサービス提供事業所のサービス管理責任者とともに、利用者の生活状況や生活課題等の把握に努めてきました。

また、基本相談支援事業について、施設入居者の場合は、施設内での過ごし方や対人関係についての相談が多く、コロナ禍での行動の一部規制が、入居者のストレスに繋がっているものと推察されました。

在宅者からの相談では、各種障害福祉サービスや成年後見制度の利用はじめ、医療保険を使ったサービスの利用など幅広い相談が寄せられ、関係機関等との連携協力のもと自己決定に結び付けてきました。

令和4年度は、事業所の指定期間満了及び更新に合わせ、オアシス開設後初めての実地指導監査もおこなわれ、概ね良好に事業が実施されているとの指導結果をいただきました。

### 1 計画相談支援事業

#### (1) 施設別契約者数 (単位：人)

ふぼう	杏友園	啓生園	在 宅 者			計
			第二啓生園	他事業所	その他	
52(52)	43(41)	22(20)	5(7)	4(4)		126(124)

※( )内は前年度実績

#### (2) 施設別及び月別での新規契約者数 (単位：人)

種別 月	ふぼう	杏友園	啓生園	在 宅 者			計
				第二啓生園	他事業所	その他	
4月							
5月		1	1				2
6月	(1)						(1)
7月		(1)					(1)
8月							
9月							
10月							
11月	(1)	1					1(1)
12月	1		(1)				1(1)
1月		(2)					(2)
2月							
3月							
計	1(2)	2(3)	1(1)				4(6)

※( )内は前年度実績

## (3) 施設別契約終了者数

(単位:人)

種別 終了事由	ふぼう	杏友園	啓生園	在 宅 者			計
				第二啓生園	他事業所	その他	
死 亡	1(2)	1(2)	(2)				2(6)
退所による変更	(1)	(1)					(2)
そ の 他							
計	1(3)	1(3)	(2)				2(8)

※( )内は前年度実績

## (4) 施設別及び月別でのサービス等利用計画他の作成状況

## ア 新規契約締結に伴う作成分

(単位:人)

種別 月	ふぼう	杏友園	啓生園	在 宅 者			計
				第二啓生園	他事業所	その他	
4月							
5月			1				1
6月							
7月	(1)						(1)
8月							
9月							
10月							
11月	(1)						(1)
12月	1		(1)				1(1)
1月							
2月							
3月							
計	1(2)		1(1)				2(3)

※( )内は前年度実績

## イ 受給者証の更新またはサービス内容の変更に伴う作成分

(単位:人)

種別 月	ふぼう	杏友園	啓生園	在 宅 者			計
				第二啓生園	他事業所	その他	
4月		(1)	(2)	2			2(3)
5月	4(1)						4(1)
6月	1(1)	1(1)	2(3)	(1)			4(6)
7月	1	1(1)			1(1)		3(2)
8月			1(2)	1(1)			2(3)
9月	1						1
10月	1			1(1)			2(1)
11月	(1)	1		(1)	(1)		1(3)
12月	10(1)						10(1)

1月	2(3)	1(1)	1	1(1)			5(5)
2月	3(3)		4	1(1)			8(4)
3月	1(2)	2(1)	(1)	1(1)	2(1)		6(6)
計	24(12)	6(5)	8(8)	7(7)	3(3)		48(35)

※( )内は前年度実績

ウ 利用(サービス提供)状況確認に係るモニタリング報告書作成 (単位:人)

種別 月	ふぼう	杏友園	啓生園	在 宅 者			計
				第二啓生園	他事業所	その他	
4月	2(2)	7(8)	1	1(1)			11(11)
5月	6(12)	5(5)		(1)	1		12(18)
6月	16(18)	12(10)	2(1)				30(29)
7月	6(7)	9(7)	2(1)	1(1)			18(16)
8月	6(2)	5(5)	10(8)	1(1)			22(16)
9月	8(10)	7(4)	5(4)	1(2)	2(2)		23(22)
10月	2(2)	7(9)	1(1)	(1)			10(13)
11月	10(10)	5(5)	1		1		17(15)
12月	7(17)	13(12)	3(3)	(1)			23(33)
1月	6(4)	8(7)	1(1)		1(1)		16(13)
2月	3(2)	4(4)	6(10)	1(1)			14(17)
3月	9(8)	4(5)	5(4)	(1)	(1)		18(19)
計	81(94)	86(81)	37(33)	5(10)	5(4)		214(222)

※( )内は前年度実績

※受給者証の更新手続きに必要な人のモニタリング分は除く。

エ 在宅障がい者に係る家庭訪問 (単位:回)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ回数
3(3)		(4)	(1)	(1)				(2)			1(1)	4(12)

※( )内は前年度実績

オ 施設利用者に係るサービス調整等更新期間外ケア会議 (単位:回)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ回数
1		1			(1)	1	1	2	(2)		1(2)	7(5)

※( )内は前年度実績

## 2 基本相談支援事業

(1) 基本相談件数 (単位:件)

種別 月	施 設	在 宅	計	相談に伴う自宅や 施設他の訪問回数	相談に伴う関係 機関との調整他
4月	1(1)		1(1)		(1)
5月		2	2		1
6月		1	1		

7月		1(1)	1(1)		(1)
8月					
9月	3	(3)	3(3)		3(2)
10月	2	2	4		2
11月		(1)	(1)		(1)
12月	2(1)	1(2)	3(3)	1(1)	2(3)
1月	2(1)	(1)	2(2)		1(1)
2月		1(1)	1(1)		1
3月		1(1)	1(1)	1	
計	10(3)	9(10)	19(13)	2(1)	10(9)

※( )内は前年度相談件数

### 3 職員の資質向上

#### (1) 職員の資質向上等を目的とした研修

月 日	内 容 等	場 所
2月24日(金)	令和4年度仙南地域障がい者基幹相談支援センター研修会及び相談支援部会研修会 ○講義及び質疑応答 演題「仙南地域の障がい者虐待をなくすために」 講師 宮城県障害者権利擁護センター 所長 鈴木 みゆき 氏 ○仙南地域の虐待実状についての報告	宮城県大河原合同庁舎

#### (2) 関係機関との連絡調整等会議

月 日	内 容 等	場 所
6月1日(水)	令和4年度第1回仙南地域自立支援協議会相談支援部会会議 ○相談支援事業所アンケート調査について ○仙南地域における課題の抽出について ○成年後見人等の相談について	宮城県大河原合同庁舎

#### (3) 法人職員内部研修

月 日	内 容 等	場 所
11月7日(月)	社会福祉法人宮城県障がい者福祉協会法人職員研修 ○講義及び質疑応答 演題「お酒と上手に付き合うために」 講師 花京院病院健康管理センター 産業医 清治 邦章 氏	宮城県障害者福祉センター
2月17日(金)	令和4年度障害者支援施設ふぼう職員研修 ○障がい者の虐待防止等について(ビデオ講話)	ふぼう会議室



(4) 職員自主参加研修

月 日	内 容 等	場 所
11月26日(土)	令和4年度宮城県障害者相談支援従事者専門別コース別(意思決定支援)研修会 ○講義及び質疑応答 演題「相談支援における意思決定～相談支援の本質～」 講師 愛知県田原市障害者総合相談支援センター (特定非営利活動法人ふい～る工房統括) センター長 新井 在慶 氏 ○ヒヤリングシートの活用について(演習) ○意思決定支援の準備について(演習) ○意思形成支援について(演習)	フォレスト 仙台

## H 地域公益事業

市町村協会地域活動促進事業として、6月に開催した女性部会長会議では、女性部会の今後の方向性について話し合われました。

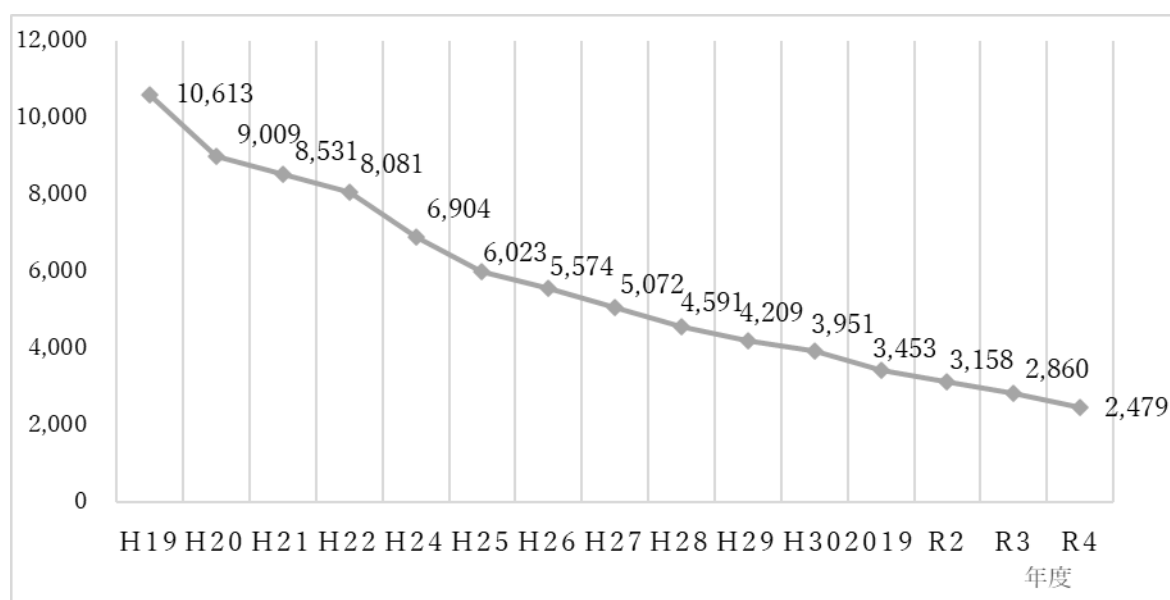
新型コロナウイルスの影響により、2年振りの開催となった市町村協会会議では、「会員の高齢化と減少、新会員の勧誘」という共通の課題の打開策のひとつとして、会員募集の取り組みの好事例等を紹介しました。

第2回の市町村協会対抗卓球バレー交流大会は、5市町村協会（岩沼市・丸森町・気仙沼市・多賀城市・山元町）7チーム、45名の皆様にご参加いただきました。

福祉運動推進事業「第67回日本身体障害者福祉大会（ふくおか大会）」は今年度もオンライン配信、「東北・北海道ブロック身体障害者団体連絡会（秋田市）」は参集型でというように、コロナ禍での状況に合わせ、滞りなく開催できました。

「第68回宮城県社会福祉大会」は、昨年に引き続き規模を縮小して開催され、本法人の協会長表彰もこの大会でおこないました。

### 本法人の会員数の推移



\*H23年度は東日本大震災のため把握困難

\*H24年度も一部の市町村で把握困難

## 1 市町村協会地域活動促進事業

開催月日	事業名	内容
6月15日	市町村協会女性部会の活動支援	会場：宮城県障害者福祉センター 図書室 内容：女性部会長会議の開催 出席者：3市町村協会6名
9月2日	市町村協会会議	目的：協会組織の全体会議をととして、協会および障害者福祉に関する課題と現状を理解する。併せて、会の活性化、相互協力に向けた検討をおこなう。 会場：宮城県障害者福祉センター 大会議室 内容：ア 役立つタブレットの活用法～情報収集と防災～ イ 資料提供 ・市町村協会状況報告 ・市町村協会会議の開催にあたって ・好事例紹介（宮城県川崎町） （山形県鶴岡市） （宮城県大河原町） ・個別避難計画について ・女性部会について ・相談員委嘱について ウ 意見交換 エ レクリエーション紹介 出席者：21市町村協会35名
11月30日	第2回市町村協会対抗卓球バレー交流大会	目的：市町村協会対抗のスポーツ大会を通し、会員相互の交流を図る。 会場：宮城県障害者総合体育センター 協力：宮城卓球バレー協会 出席者：5市町村協会45名

## 2 福祉運動推進事業

### (1) 日本身体障害者団体連合会関係

開催月日	事業名	内容
6月20日	第67回 日本身体障害者福祉大会 (ふくおか大会)  ※オンライン配信	目的：社会福祉法人日本身体障害者団体連合会に所属する都道府県及び政令指定都市の身体障害者に向け、令和4年(2022)年度の活動方針及び障害者施策の促進や共生社会に向けた展望について認識を共有するとともに、障害者の自立と社会参加を積極的に展開、発展させ、その福祉の増進を図る。 内容：ア 講演 「パラリンピックのレガシーを活用した共生社会の実現」に向けて 東北大学公共政策大学院 教授 御手洗潤 氏 イ 式典 表彰 ウ 議事 令和3年度事業報告 令和4年度事業計画 大会宣言 大会決議

6月20日	日身連会長表彰	富谷市身体障害者福祉協会 星照子会長へ森会長から表彰状と記念品を授与した。 会 場：富谷市福祉健康センター
7月21日 ～22日	東北・北海道ブロック 身体障害者団体連絡会	目 的：東北・北海道ブロックの身体障害者団体が一堂に会し、共生社会の実現に向けて、共通課題の解決を図ることを目的とする。 会 場：秋田県 ANAクラウンプラザホテル秋田 内 容：ア 報告1 国及び日身連の最近の動きについて 報告2 令和3年度事業報告及び収支決算報告について 報告3 令和4年度事業計画(案)及び収支予算(案)について 報告4 連絡会開催順について 報告5 日身連副会長の定数削減について 報告6 会長、副会長及び日身連理事候補者選出規程の一部改正(案)について 報告7 令和3年度事務局長会議での協議結果の報告について (2)令和3年度収支予算についての報告 イ 議案1 日身連に対する要望事項 ウ 情報交換 エ 事務局長会議
4月 8日 5月11日 7月26日 12月 1日 12月21日 2月10日 3月 3日	正・副会長会議及び理事会	出席者：会長 ※WEB 会議
7月20日 9月 6日 11月29日 1月31日	日身連の財政の安定化に対する検討委員会	出席者：会長 ※WEB 会議
6月 8日 3月24日	評議員会	出席者：会長、常務理事 ※WEB 会議

(2) 第68回宮城県社会福祉大会

開催月日	事業名	内 容
11月 9日	第68回宮城県社会福祉大会	出席者：会長、常務理事 事務局長、事務局次長、事務局事務員 内 容：式典 ・宮城県知事および主催5団体長表彰の贈呈 ・本法人も協会長表彰を授与した (表彰状4名、感謝状1名) 備 考：新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年同様、規模を縮小して開催された。
7月20日 8月 9日 9月 9日 10月 7日 10月26日	11月の大会開催に向けて主催団体の事前打合せ会に出席	出席者：事務局次長 内 容：役割分担、大会までのスケジュール、開催要綱、予算 他

### 3 啓発・広報事業

	事業名	内容
9月 2月	広報紙「県障みやぎ」の発行 第115号 第116号	8ページ フルカラー刷り 4ページ フルカラー刷り
随時	情報公開、報告	ホームページを活用して最新の情報提供に努めました。
市町村協会 主催事業への 出席	目的：各市町村協会主催の諸活動を支援することで、活性化及び会員の団結と親睦を図る。 ・大崎市障がい者福祉協会総会 (会長) 4月19日 ・名取市身体障害者福祉協会緊急理事・役員会 (会長) 1月23日	
関係福祉団体の 役員等の 就任状況	目的：各関係福祉団体のおこなう障害者福祉推進の諸活動に積極的に参加することで、ネットワークと協力体制の構築、およびニーズ把握と共通目標の実現に努める。  (ア)会長：日本身体障害者団体連合会以外 a 宮城県障害者施策推進協議会：委員 b 宮城県社会福祉協議会：評議員 c 宮城県共同募金会：評議員 d JDF宮城：会長 e 宮城県社会福祉法人経営者協議会：監事 f 宮城県地域共生社会推進会議 g 東北文化学園大学外部評価委員 (イ)副会長（伊藤） a 国土交通省移動等円滑化評価会議東北分科会：委員 b 宮城県特別支援教育将来構想審議会：委員 c 仙台市特別支援教育推進プラン検討委員会：委員 (ウ)常務理事：日本身体障害者団体連合会以外 a 宮城県社会福祉協議会：福祉サービス利用に関する運営適正化委員会選考委員会委員 b 山元町障害者地域協議会：アドバイザー c 亙理町障害者等地域自立支援協議会：委員 (エ)事務局長 a 宮城県リハビリテーション協議会：委員 (オ)事務局次長 a 宮城県社会福祉法人経営青年会：監事 b 宮城県社会福祉協議会生活福祉資金運営委員会：委員	
関係福祉団体の 諸会議及び 行事等の出席 状況	・第61回手をつなぐ育成会東北ブロック大会・本人大会 (併催) 第65回手をつなぐ育成会宮城県大会 (会長) 9月10日	

# I 宮城県障害者社会参加推進センター（受託事業）

ノーマライゼーションの理念の実現に向けて、障がいの有無にかかわらず、だれもが家庭や地域で明るく暮らせる社会づくりに向け、コミュニケーション、文化、スポーツ活動など、地域生活支援事業の実施により様々な分野における社会参加の推進を図りました。

新型コロナウイルス感染症の感染防止策と社会情勢の動きを鑑み、工夫を凝らして各種事業を概ね予定通り実施することができました。本年度の経験や課題を活かし、次年度も参加者、関係者へ安心して楽しむことのできる事業を目指していきます。

## 1 宮城県障害者社会参加推進センター運営業務

### (1) 宮城県障害者社会参加推進協議会の開催

障害者権利条約の対日審査がおこなわれたことを受け、障がいのある方への防災についての研修や、当事者を支援する家族の現状のお話を伺いました。

開催期日	場 所	出席者	内 容
11月28日(月)	宮城県障害者福祉センター	28	災害時の要配慮者支援について、3.11から学んだこと、伝えたいこと、役員改選について、その他
3月8日(水)	宮城県障害者福祉センター	22	精神障害のある人を支える家族の現状、その他

### (2) 宮城県障害者社会参加推進センター出前講座

障がい理解の普及啓発を目的に、宮城県障害者社会参加推進協議会構成団体より出前講座メニューの提供をおこないました。

開催期日	場 所	出席者	内 容
4月13日(水)	大和町役場	32	大和町職員研修 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する研修」 派遣団体：宮城県障がい者福祉協会
12月13日(火)	柴田町図書館	5	福祉教育 「知的障害のある人の世界をのぞいてみよう」 「心のバリアフリーについて学ぼう」 派遣団体：宮城県障がい者福祉協会
2月7日(火)	仙台アンパンマンミュージアム	38	障がい者対応研修 派遣団体：宮城県障がい者福祉協会

(3) 電子媒体による情報発信

ホームページ等により、推進センター事業をはじめとした各種情報を周知しました。

(4) 宮城県障害者相談員連絡協議会の活動支援

市町村より委嘱を受けた障害者相談員の資質向上と連携を目的に活動する宮城県障害者相談員連絡協議会の事務局として事業を実施しました。

ア 総会の開催

開催期日	場 所	出席者	内 容
総会 4月28日(木)	宮城県障害者福祉センター	21	令和3年度事業報告・決算について 令和4年度事業計画・予算案について 役員改選について

イ 監事会・理事会の開催

開催期日	場 所	出席者	内 容
監事会 4月7日(木)	宮城県障害者福祉センター	2	令和3年度監事監査
理事会 4月7日(木)	宮城県障害者福祉センター	3	令和4年度総会提出議案について その他
理事会 5月23日(月)	宮城県障害者福祉センター	6	移動研修会の開催について 施設見学会の開催について その他

ウ 移動研修会の開催

開催期日	場 所	出席者	内 容
7月14日(木)	秋保温泉蘭亭	23	「災害時の要配慮者支援について」 講師：宮城県保健福祉部保健福祉総務課 保険福祉政策班 班長 大泉 織絵氏

エ 施設見学会の開催

開催期日	場 所	出席者	内 容
10月20日(木)	宮城県リハビリ テーション支援 センター	20	施設紹介 ALS等難病患者に対するコミュニケーション支 援について 障害者の自動車運転支援について

## 2 地域生活支援事業の実施

(1) 障害者でんわ相談室運營業務

障がい者の権利擁護を目的に電話相談窓口を設置し専任相談員による相談対応をおこないました。

ア 年間相談件数

(単位：件)

身体障がい	知的障がい	精神障がい	発達障がい	その他	合 計
14	15	861	332	33	1,255
(17)	(18)	(737)	(320)	(19)	(1,111)

※( )内数字は前年度

イ 専任相談員研修会及び意見交流会の開催

開催期日	場 所	出席者	内 容
7月29日(金)	宮城県障害者福祉センター	7	障害者虐待の実態と防止に向けた取り組みについて、障害者虐待防止の現状と課題、更なる取り組みへの期待について
2月24日(金)	宮城県障害者福祉センター	6	令和4年度の相談状況について

(2) 身体障害者・知的障害者相談員等活動強化業務

市町村より委嘱をうけた障害者相談員の資質の向上を図るため実施しました。

ア 令和4年度東北・北海道ブロック身体障害者相談員研修会の派遣

開催期日	場 所	出席者	内 容
11月10日(木)	TKPガーデンシティ仙台	13	障害者福祉施策について、障害者福祉の動向をふまえて

イ 令和4年度宮城県障害者相談員研修会の開催

開催期日	場 所	出席者	内 容
2月3日(金)	大崎合同庁舎	32	「宮城県内における補装具費支給制度について」
2月6日(月)	宮城県障害者福祉センター	39	講師：宮城県リハビリテーション支援センター技術主任主査 松木 儀浩氏

(3) 全国障害者スポーツ大会宮城県選手団（身体障害及び精神障害）派遣業務

栃木県にて開催された第22回全国障害者スポーツ大会(いちご一会とちぎ大会)への宮城県代表選手団を編成し派遣しました。

ア 宮城県代表選手の個人競技（身体障害及び精神障害）選手選考会の開催

開催期日	場 所	出席者	内 容
6月9日(木)	宮城県障害者福祉センター	6	代表候補者の選出について



イ 宮城県選手団（身体障害）説明会の開催

開催期日	場 所	出席者	内 容
7月30日(土)	宮城県障害者福祉センター	29	大会概要説明、ユニフォーム採寸
10月10日(祝)	東京エレクトロンホール宮城	30	ユニフォーム支給、行動計画説明

ウ 強化練習会の開催

競技名	参加者(延べ)	開催場所
陸上	38	宮城県障害者総合体育センター 他
水泳	46	仙台スイミングスクール清水沼校 他
卓球	33	気仙沼市総合体育館 他
STT	40	石巻市総合体育館 他
フライングディスク	49	宮城県障害者総合体育センター
ボッチャ	40	本吉総合体育館 他
合 計	246	

エ 宮城県選手団（身体障害）の派遣

派遣期間・開催地	派遣人数
10月27日(木)～11月1日(火)	選手13人
大会期日10月29日(土)～31日(月)	役員17人

オ 競技結果

( )内数字は前回

競技名	競技会場	選手	メダル獲得数
陸上	カンセキスタジアムとちぎ	5人	8個(6個)
水泳	日産アリーナ栃木屋内水泳場	1人	2個(2個)
一般卓球・サント <sup>®</sup> テーブルテニス	TKC いちごアリーナ	2人	2個(2個)
フライングディスク	栃木市総合運動公園	3人	4個(1個)
ボッチャ	にしなすの運動公園体育館	2人	1個
	合 計	13人	17個(11個)

(4) レクリエーション教室開催業務 ※( )内数字は前回大会  
余暇活動の充実と参加者間交流を目的に大会を開催しました。

ア 第10回宮城県障がい者パークゴルフ交流大会の開催

開催期日	場 所	参加者	内 容
10月6日(木)	SATO 開発おおひら万葉パークゴルフ場	58 (26)	18ホール個人戦

イ 第28回宮城県障がい者ボウリング大会

開催期日	場 所	参加者	内 容
6月18日(土)	タイトーステーション仙台ベガロポリス店	60 (35)	2ゲーム個人戦

(5) 障害者週間推進業務(書道・写真コンテスト開催業務)

芸術文化活動の推進と、障害者週間(12/3～12/9)における啓発活動の一環として実施しました。

ア 第37回「障害者による書道・写真全国コンテスト」宮城県大会の開催

応募作品数	内 容
書道 140点(163点) 写真 17点(41点) 携帯フォト6点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入賞作品18点を選出し表彰をおこなった。</li> <li style="padding-left: 20px;">書道：金賞1点、銀賞2点、銅賞3点</li> <li style="padding-left: 20px;">写真：金賞1点、銀賞2点、銅賞3点</li> <li style="padding-left: 20px;">携帯：金賞1点、銀賞2点、銅賞3点</li> <li>・入賞作品を全国コンテストへ出展</li> <li style="padding-left: 20px;">書道：金賞1点</li> <li style="padding-left: 20px;">写真：銀賞1点 銅賞2点</li> <li style="padding-left: 20px;">携帯：入賞1点</li> </ul>

※( )内数字は前年度

イ 宮城県大会応募作品展の開催

開催期日	展示場所
11月22日(火)～27日(日)	松山酒ミュージアム
12月5日(月)～9日(金)	宮城県庁行政庁舎2階 回廊壁面

3 包括委託契約の履行に伴う再委託

下記団体と再委託契約を締結し事業を実施しました。

<公益財団法人県視覚障害者福祉協会>

(1) 視覚障害者家庭・社会生活訓練業務

視覚障害者の日常生活上必要とされる諸能力について訓練や指導、社会生活上必要な知識や技術の習得に向けた講習や体験交流等を開催しました。

ア 視覚障害者家庭・社会生活訓練の開催

開催期日	場 所	参加者	内 容
5月19日(木)	角田市市民センター	10	いきいき健康体操
5月29日(日)	JR多賀城駅周辺、市役所・文化センター	16	歩行訓練会
6月30日(木)	鮎川ホエールランド	4	施設見学
7月3日(日)	大崎市図書館第1,2研修室	14	健康と栄養について

10月2日(日)	塩竈市公民館2階ホール	13	施設見学
10月24日(月)	大崎市図書館	14	協会主催現況報告懇談会
10月30日(日)	角田市市民センター	18	〃
11月12日(土)	松島町文化観光交流館	8	グランドソフトを楽しむ
11月30日(水)	東日本大震災津波伝承館	20	施設見学
12月11日(日)	石巻市保健相談センター	17	協会主催現況報告懇談会
12月12日(月)	柴田町地域福祉センター	14	四季さくら民謡の語り
12月17日(土)	気仙沼市市民福祉センター	10	協会主催現況報告懇談会
12月18日(日)	多賀城市市民活動サポートセンター	17	協会主催現況報告懇談会
12月25日(日)	仙台市宮城野区障害者福祉センター	9	STT 初心者体験会
1月21日(土)	東松島市コミュニティセンター	14	協会主催現況報告懇談会
2月13日(月)	柴田町地域福祉センター	14	〃
2月25日(土)	利府町コミュニティセンター	25	〃
2月26日(日)	多賀城市市民活動サポートセンター	16	操体法とセルフケア
3月12日(日)	塩竈市公民館	21	協会主催現況報告懇談会

## (2) 中途失明者緊急生活訓練業務

中途視覚障害者等への、今後の生活に関する助言や指導、自立生活に向けた感覚訓練や点字指導等に関する相談会を開催しました。

### ア 中途視覚障害者緊急相談会(地域相談会)の開催

開催期日	場 所	参加者	内 容
7月24日(日)	石巻市保健相談センター	39	医療相談、歩行訓練、デジタル機器
9月4日(日)	多賀城市市民活動支援センター	19	の操作 等

## (3) 点字・声の広報等発行業務

県が発行する「みやぎ県政だより」を点訳・音訳し、視覚障害者に対して県政情報の提供をおこないました。

### ア 発行部数

発行月	点字版	音声版
隔月奇数月(年6回)	210部	540部

## <宮城県喉頭摘出者福祉協会立声会>

### (1) 音声機能障害者発声訓練・指導者養成業務

喉頭摘出者を対象とした発声訓練の開催と、発声訓練に携わる指導者の養成をおこないました。

ア 音声機能障害者発声教室の開催

開催期日	場 所	参加者	内 容
年 107 日間	宮城県障害者福祉センター他	263	食道発声訓練、人工喉頭または電気発声器による発声訓練 他

イ 音声機能障害者発声訓練指導員養成研修会への派遣

開催期日	場 所	参加者	内 容
10月28日(金) ～30日(日)	宮城県障害者福祉センター	—	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

<公益社団法人日本オストミー協会 宮城県支部>

(1) オストメイト社会適応訓練事業

オストメイトの社会復帰を促進するため、装具や社会生活に必要な知識の習得についての教室を開催しました。

ア オストメイト社会適応訓練教室の開催

開催期日	場 所	参加者	内 容
年 9 回	名取駅コミュニティプラザ 他	182	ストマ用装具に関すること 社会生活に関すること

<一般社団法人宮城県手をつなぐ育成会>

(1) 知的障害者本人活動支援業務

知的障害者の自己の自信を確立し、仲間との交流や社会適応能力や自立心を養うため、みやぎフレンズ会の活動支援をおこないました。

ア みやぎフレンズ会Aの活動

開催期日	場 所	参加者	内 容
4月17日(日)	宮城県障害者福祉センター	9	役員会
7月10日(日)	宮城県障害者福祉センター	9	
10月9日(日)	宮城県障害者福祉センター	10	
1月22日(日)	宮城県障害者福祉センター	12	
2月26日(日)	宮城県障害者福祉センター	19	
5月24日(火)	仙台福祉プラザ	3	優良勤労知的障害者表彰
6月26日(日)	仙台市宮城野障害者福祉センター	16	総会
4月17日(日)	宮城県障害者福祉センター	6	広報委員会
10月9日(日)	宮城県障害者福祉センター	5	

6月26日(日)	仙台市宮城野障害者福祉センター	13	イベント
12月4日(日)	仙台市宮城野障害者福祉センター	8	
3月5日(日)	仙台市宮城野障害者福祉センター	10	年未度交流会

イ みやぎフレンズ会B（非会員でも参加可能）の活動

開催期日	場 所	参加者	内 容
7月	※参加見送り	—	スポーツレクリエーション

ウ みやぎフレンズ会A・B共通の活動

開催期日	場 所	参加者	内 容
11月20日(日)	※参加見送り	—	宮城県障害者綱引き大会

エ 育成会大会への派遣

開催期日	場 所	参加者	内 容
9月17日(土) ～19日(祝)	仙台サンプラザ	31	東北ブロック大会
9月19日(祝) 10月9日(日)	仙台福祉プラザ	11	全国大会オンライン本人大会

## J 幸町ウェルフェア温水プール（補助事業）

令和4年度は、昨今の世界情勢の影響における光熱費の高騰により、プールの運営が圧迫される事態となりました。後期からボイラー燃焼時間の見直しや、令和5年2月からは夜間営業の休止措置をとりましたが、残念ながら3月7日～31日までの期間、休業を余儀なくされました。休館期間中はプール内保守点検及び館内清掃をおこないました。

営業中は、昨年度同様、新型コロナウイルス感染予防措置をとりながら、安全面、衛生面に配慮した運営に努め、受付や更衣室等の消毒作業の実施や水質管理の徹底、日々の点検による設備の性能維持に努めました。

また、広報活動に重点をおき、地域への利用案内チラシの配布や無料開放の実施、「水中ウォーキング教室」の増設や新規「子ども水泳教室」「各種水泳教室」等の水泳教室の開催事業の充実化は、障がいのある方、地域の方それぞれの利用促進につながり、年間利用者数は、15,757名で前年比34.59%の増となり、コロナ禍前（令和元年度との比較82.42%）の約8割まで回復しました。

懸念される施設および設備の不具合には早急に対応し、常に、宮城県障害者総合体育センターと連携を深めながら安全管理体制の推進に努めました。令和4年3月の地震によって破損した煙突のワイヤー修繕や漏電の危険が指摘された電灯盤ブレーカー修繕、更衣室の照明のLED化に伴い非常灯改修工事をおこないました。

### 1 スポーツ・リハビリテーション事業

#### (1) 障がい者等水泳教室

第一期・第二期の教室は、例年通りの10回ずつの開催となりました。第三期は、光熱費の高騰による事業費の圧迫のため中止しました。

- ・第一期 5月9日（月）～ 7月16日（土）
- ・第二期 9月5日（月）～ 11月21日（月）
- ・第三期 光熱費の高騰の影響で中止

※（ ）内数字は前年度 （単位：人）

教室名	第一期	第二期	第三期	合計
月曜日コース（豊齢者・一般成人）	74(34)	69(31)	中止(中止)	143(65)
木曜日コース（豊齢者・一般成人）	120(62)	128(80)	中止(中止)	248(142)
水中ウォーキング木曜日コース （豊齢者・一般成人）	55(29)	54(40)	中止(中止)	109(69)
金曜日コース（豊齢者・一般成人）	66(34)	77(48)	中止(中止)	143(82)
障がい児(者)親子 前半コース	150(118)	158(78)	中止(中止)	308(196)
障がい児(者)親子 後半コース	80(74)	72(58)	中止(中止)	152(132)
障がい者コース	59(32)	65(52)	中止(中止)	124(84)

障がい者 AS リズムコース	45( 30)	41( 26)	中止(中止)	86( 56)
障がい者 AS コース	132( 55)	116( 72)	中止(中止)	248(127)
合 計	781(468)	780(485)	0(0)	1,561(953)

※ASはアーティスティックスイミングの略。

※令和4年度より木曜日・夕方コースから水中ウォーキング・木曜日コースに名称変更しました。

## (2) 水中有酸素運動

### ア アクアビクス

前期7月～8月、後期11月～12月の各3回ずつ実施しました。

※指導者 早坂聡子氏

	前期	後期	合 計
参加者数	23(53)	12(11)	35(64)

### イ 水中ウォーキング教室

4月～翌年3月まで、月2回(または1回)、毎月開催することができました。

※指導者 藤田ますみ氏

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	33	34	22	27	34	33	36	25	10	31	18	11	314(125)

## (3) 水泳普及指導日(ワンポイントアドバイス)の設定

光熱費等の高騰の影響により、5月～7月までの開催となりました。

※指導者 藤田ますみ氏、西基栄氏、大嶋泰子氏

月	5	6	7	合計
回数	2	3	1	6( 19)
人数	18	18	6	42(142)

## (4) 子ども水泳教室(新規)

夏休み期間中、泳ぎが不得意な低学年の児童に対し、短期集中型の水泳教室をおこないました。最終日には全員が泳げるようになり、水泳の楽しさを満喫した子どもたちでした。

※指導者 藤田ますみ氏

	日程	人数
第一期 (全5回)	7月23日(土),7月24日(日),7月28日(木), 7月29日(金),7月30日(土)	40
第二期 (全5回)	8月3日(水)、8月4日(木)、8月5日(金)、 8月6日(土)、8月7日(日)	46
合計		86

(5) プール無料開放 (センターまつり代替事業)

	日 程	人 数
1 回目	8 月 1 日(月)	121
2 回目	8 月 11 日(木・祝日)	77
合 計		198

(6) 利用者水中交流会 ※新型コロナウイルス感染防止のため中止

(7) 施設の提供

団体利用状況 (団体専用コース利用)

団 体 名	回 数	人 数
すまいる作業所	1	11
ぼっぼハウス	2	25
MOTTO	3	22
幸町ウェルフェアASチーム	3	30
ほほえみ	4	13
ワーキングギルド花梨	4	20
仙台市障害者スポーツ協会	5	29
ひだまり介護じゃんぷ	9	82
仙台チャレンジスイミングクラブ	10	48
MOTTOスイムスクール	31	55
湯歩	88	788
合 計	160	1,123

(8) 苦情・要望の受付

できる限り速やかに対処し、改善に努めました。 ・受付件数：7件 (前年度6件)

(7月) 水中ヨガ教室をおこなってください。身体に負担がかからないし健康にもなると思う。(要望にて)

(対応) ご提案いただきました「水中ヨガ教室」につきましては、今後にむけて検討していくことをお伝えしました。

(8月) 閉館間際に、在室中の女子更衣室の自動ドアを監視員が開けたことに対するご意見。

(対応) 間違いであったこととお詫びし、再発防止のため、所内で閉館時の更衣室の最終確認方法を見直しました。

- ・複数での男女更衣室の在室状況の確認。
- ・男女更衣室の確認作業を同時におこなう。
- ・職員退所時は更衣室を開放せず閉めた状態にする。

(8月) 監視員の不十分な利用案内に対するご意見 (電話にて)

(対応) 当日に関わった監視員に状況を確認し、再発防止のため、所内で案内方法の再検討をおこないました。その後、利用者にお詫びしました。



(8月) プール内に浮き輪を利用している親子や子どもを見て驚いた。浮き輪を利用してプール内で遊ぶことは重大な事故につながるので、使用許可については再考すべきである。(口頭にて)

(対応) 浮き輪の使用は、障がいのある方、泳ぎが不得手で溺れる危険がある幼児等に限定して使用を許可していること、監視の重点項目として、浮き輪の適正な大きさでの使用、危険行為への注意を徹底し、想定される危険をできる限り回避しての運営をおこなっていくことを説明しました。

(11月) トイレのペーパータオルが引き抜くのに力がいる。(要望にて)

(対応) 使用していたペーパータオルから柔らかい素材のペーパータオルへ変更しました。

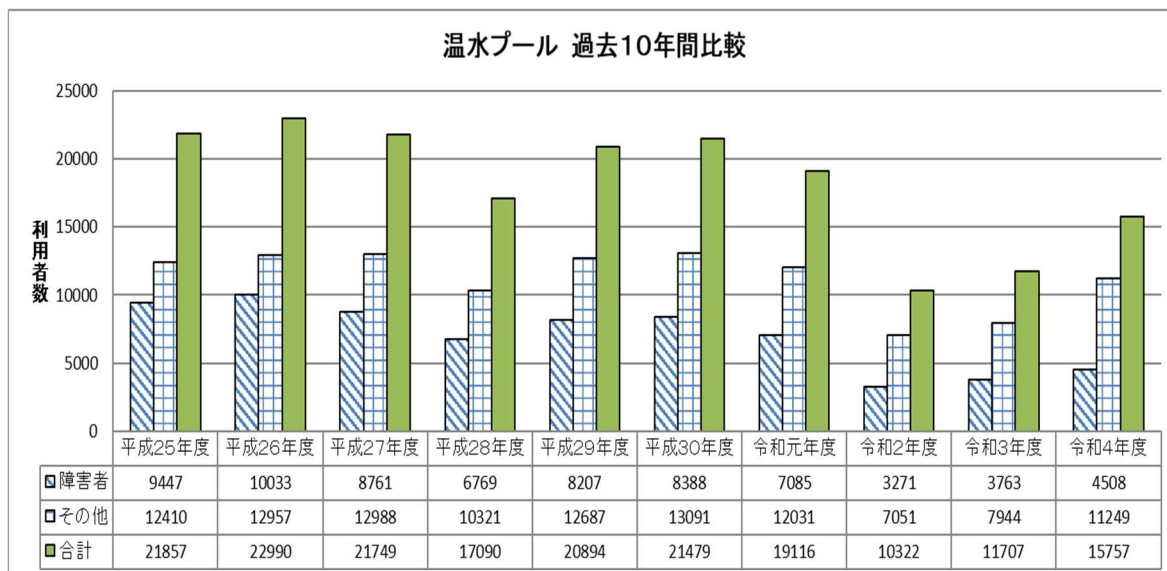
(11月) 水泳教室が予定時間を過ぎてもコースを独占しているように見える。時間や予定を見て来ているので、きちんとけじめをつけてほしい。(要望にて)

(対応) 今後は水泳教室等の予定時間を守っていくように努めると回答しました。

(11月) 更衣室が寒すぎてたまらない。早くストーブを入れて暖かくしてほしい。(要望にて)

(対応) ファンヒーターを早急に設置し対応しました。

## (9) 利用実績



※平成28年度 プール天井コンクリート落下のため11月17日から営業休止

※令和2年度 新型コロナウイルス感染防止対策で4月11日から5月31日まで営業中止  
福島県沖地震(2月13日発生)の影響で2月14日から3月31日まで営業休止

※令和3年度 まん延防止等重点措置のため4月1日から5月1日まで営業休止  
緊急事態宣言のため8月27日から9月17日まで営業休止

※令和4年度 光熱費高騰のため3月7日から3月31日まで営業休止

## 2 環境配慮の取組み

### (1) エコ活動への取組み

- ア 再生用紙の購入、使用に努めました。
- イ 電気、燃料（重油・灯油）等のエネルギー資源や水道水の節減に努めました。
  - ・空調機器等の運転基準を定め省エネ運転の徹底に努めました。
  - ・利用者不使用時における照明等について、消灯の徹底に努めました。

### (2) 日常業務の見直し

- ア 用紙類の使用経費の抑制を図りました。
  - ・資料や印刷物の必要部数だけの印刷を励行しました。
  - ・ミスコピー紙等の再利用及び両面コピーの励行に努めました。

## 3 地域公益活動

- (1) ホームページ公開（更新回数、月4回更新）計48回
- (2) 「無料開放の日」の開催（年2回）
- (3) 区役所、障がい者団体、近隣小学校、地域の方々にむけて、利用促進を図るチラシを配布しました。

## 4 職員の資質向上

### (1) 外部研修

月 日	内 容	人 数
9月27日(火)	アサーティブコミュニケーション研修	1
9月～3月	プール安全管理者講座	1
1月18日(水)	救急救命講習会（主催：体育センター）	5

## 5 安全管理と防災対策

### (1) 感染症対策

プール棟内の人が触れる場所に除菌溶液を使用し、日に4回の拭き取りによる消毒をおこないました。受付時の体調確認および検温等を実施しました。

### (2) 救急救命講習 ※水中安全法は日赤の意向により救急救命講習に変更しました。

月 日	内 容	人 数
5月25日(水)	AED操作・救急救命法 講師：日本赤十字宮城県支部	11

### (3) 避難訓練

機械室からの火災発生を想定し、体育センターと合同で避難訓練を実施しました。

月 日	人 数
11月11日(金)	5
3月10日(金)	4

## 6 施設の保全 修理・工事

施設の老朽化で懸念される設備の劣化や破損に留意し、日頃から、職員による点検をおこなうとともに、安全に配慮し、保守点検や修繕を実施しました。

1	更新	各種保守点検
2	修繕	煙突ワイヤー修繕工事
3	修繕	更衣室照明（LED化）改修工事・非常灯改修工事
4	修繕	プールロボットドルフィン修理
5	修繕	電灯盤L-4ブレーカー更新工事
6	修繕	温水プール劣化度調査
7	修繕	コンクリート梁、スラブ補修工事
8	修繕	真空式温水ヒーター緊急修理

## K 宮城県障害者総合体育センター（指定管理者施設）

体育センターは、今年度から、新型コロナウイルス感染拡大防止のための人数制限が、緩和措置を経て撤廃されました。利用人数は体育館がコロナ禍になってから過去最大、グラウンドに関してはコロナ禍以前の水準に戻りました。

安心して施設をご利用いただくため、館内の換気、消毒の徹底、利用者の体調確認及び検温を継続しておこないました。

スポーツ教室や地方巡回指導等は、昨年度よりも着実に回数を増やすことで、スポーツに触れていただく機会を増やすことができました。実施の際は、参加者の安全を第一に考え、感染防止対策を徹底した上でおこないました。

宮城県による施設整備工事は、アリーナ床改修工事及びグラウンド駐車場拡張工事が完了し、より使いやすい施設になりました。

環境整備に関しては、利用団体にもご協力いただきながら、草刈り作業等をおこないました。

施設・設備の老朽化が進む中、日々の目視点検や設備点検などに力を入れ、安心して施設をご利用いただけるように努めました。

### 1 障がい者スポーツ活動普及促進事業

#### (1) スポーツ教室開催事業

心身のリラックスと適度な運動メニューを組み入れた各種目の教室を提供し、健康的で充実した余暇の過ごし方を考えるきっかけづくりを図りました。

\* ( ) 内の数字は昨年度実績

事業名	開催状況	参加述べ人数	講師
eスポーツ教室 (共催：福祉センター)	9月～12月 計5回	65 (60)	講師：仙台市eスポーツ協会
グラウンドゴルフ教室	6月～7月 11月～12月 計7回	35 (10)	講師：石田 隼亮 指導員 遠藤 貴紀 指導員
スラローム教室	5月 計3回	9	講師：石田 隼亮 指導員
チューブトレーニング教室	5月～2月 計10回	87	講師：NOBU 高橋 氏
フライングディスク教室	5月 計2回	9	講師：みやぎ障害者フライング ディスク協会
ミニテニス教室	5月～3月 計10回	75 (49)	講師：遠藤 貴紀 指導員

ヨガ教室	5月～3月 計11回	186 (126)	講師：(株)ヨーガライフシステム コンサルタント 林 るみ子 氏 中野 直子 氏 渡邊 麗子 氏 亀山 綾子 氏
------	---------------	--------------	---

(2) 広報啓発事業

- ・ホームページでは予約状況の公開や障がい者スポーツ情報を提供しました。
- ・事業広報・利用促進チラシ配布
- ・ホームページの更新・管理 更新回数12回

(3) スポーツ普及活動事業

ア 障がい者スポーツ普及活動

スポーツ活動団体等の要請に応じて当体育センター職員を派遣し、各種スポーツ大会や練習等への指導・支援等をおこないました。

期日	事業名	依頼機関
6月5日(日)	第30回宮城県・仙台市 障害者スポーツ大会 陸上競技大会	仙台市障害者スポーツ協会
7月23日(土) 24日(日)	東京2020大会1周年記念セレモニー	日本車いすバスケットボール連盟
8月7日(日)	全国障害者スポーツ大会ボッチャ練習会	宮城県障害者社会参加推進センター
8月27日(土)	全国障害者スポーツ大会ボッチャ練習会	宮城県障害者社会参加推進センター
9月10日(土)	全国障害者スポーツ大会ボッチャ練習会	宮城県障害者社会参加推進センター
10月27日(木) ～11月1日(火)	全国障害者スポーツ大会 いちご一会とちぎ大会	宮城県障害者社会参加推進センター

イ スキルアップ研修会

障がい者スポーツに取り組む競技者及び利用者のレベルの向上および、車いすスポーツに活かせる基礎知識や基礎技術の習得の機会を図りました。

開催日時	内容	参加人数	会場／講師
3月4日(土) 10:00～12:00	車いすチェアスキル	8	会場：宮城県障害者総合体育センター 講師：萩野 真世 氏(MAX)

ウ 物品の貸出

障がい者スポーツの裾野を広げることを目的として、物品を必要とする団体等に貸し出しました。

物品名	件数	物品名	件数
ハンドマイク	1	サウンドテーブルテニス台	1

ポッチャ	9	ブラインドサッカーボール	1
テント	1	反射鏡ストープ	1
ヨガマット	1	卓球ネット	1
バレーボール得点板	1		

## エ 巡回指導教室

県内の各市町村、支援学校、小中学校及び施設等を訪問し、日常生活の中で簡単に組みめる「楽しい障がい者スポーツ」を紹介することによって、地域の中で障がい者スポーツへの理解と協力を得るとともに、関係機関等との連携を通して地域内での定着を目指しました。

### (ア) ポッチャ

開催日	対象団体	参加人数	会場／講師
6月29日(水)	登米市社会福祉協議会豊里支所	60	会場：登米市立豊里小中学校 講師：遠藤 貴紀 指導員 石田 隼亮 指導員
7月24日(日)	根白石子ども会育成会	200	会場：旧 JA 根白石支店駐車場 講師：遠藤 貴紀 指導員 石田 隼亮 指導員
8月10日(水)	登米市社会福祉協議会豊里支所	30	会場：豊里多目的研修センター 講師：遠藤 貴紀 指導員 石田 隼亮 指導員
8月22日(月)	放課後等デイサービスアスノバ	13	会場：放課後等デイサービスアスノバ 講師：石田 隼亮 指導員
9月7日(水)	金成ボランティア友の会	30	会場：栗原市金成体育センター 講師：寺澤 洋 指導員 石田 隼亮 指導員
10月15日(土)	宮城東部地域自立支援協議会	18	会場：松島町文化観光交流館 講師：石田 隼亮 指導員
10月17日(月)	登米市社会福祉協議会米山支所	9	会場：登米市中津山公民館 講師：遠藤 貴紀 指導員 石田 隼亮 指導員
12月21日(水)	登米市立南方小学校	28	会場：登米市立南方小学校 講師：遠藤 貴紀 指導員 石田 隼亮 指導員
3月1日(水)	白石市婦人会	18	会場：奥州街道ふれあいの館 講師：石田 隼亮 指導員

## (イ) ミニテニス

開催日	対象団体	参加人数	会場／講師
5月20日(金)	あしたのタネまき	6	会場：体育センター 講師：遠藤 貴紀 指導員

## (ウ) 風船バレー

開催日	対象団体	参加人数	会場／講師
7月8日(金)	あしたのタネまき	5	会場：体育センター 講師：遠藤 貴紀 指導員
11月2日(水)	亶理中学校2学年PTA	150	会場：亶理町立亶理中学校 講師：岩佐 義明 主任指導員 遠藤 貴紀 指導員 石田 隼亮 指導員

## (エ) 車いすバスケットボール

開催日	対象団体	参加人数	会場／講師
6月2日(木)	亶理町立長瀬小学校	22	会場：長瀬小学校体育館 講師：斎藤 雄太 氏(MAX) 岩佐 義明 主任指導員
6月16日(木)	亶理町立荒浜小学校	13	会場：荒浜小学校体育館 講師：萩野 真世 氏(MAX) 斎藤 雄太 氏(MAX) 岩佐 義明 主任指導員
9月14日(水)	亶理町立高屋小学校	19	会場：高屋小学校体育館 講師：斎藤 雄太 氏(MAX) 岩佐 義明 主任指導員
10月27日(木)	亶理町立逢隈小学校	100	会場：逢隈小学校体育館 講師：萩野 真世 氏(MAX) 斎藤 雄太 氏(MAX) 岩佐 義明 主任指導員
11月18日(金)	亶理町立吉田小学校	34	会場：吉田小学校体育館 講師：萩野 真世 氏(MAX) 向後 寄夫 氏(MAX) 岩佐 義明 主任指導員
11月24日(木)	仙台市立吉成小学校	100	会場：吉成小学校体育館 講師：萩野 真世 氏(MAX) 岩佐 義明 主任指導員
11月25日(金)	宮城県伊具高等学校	65	会場：伊具高校体育館 講師：萩野 真世 氏(MAX) 斎藤 雄太 氏(MAX) 岩佐 義明 主任指導員

12月1日(木)	仙台市立富沢小学校	175	会場：富沢小学校体育館 講師：萩野 真世 氏(MAX) 斎藤 雄太 氏(MAX) 岩佐 義明 主任指導員
12月12日(月)	仙台市立八乙女中学校	160	会場：八乙女中学校体育館 講師：萩野 真世 氏(MAX) 岩佐 義明 主任指導員 石田 隼亮 指導員
12月14日(水)	仙台市立第一中学校	200	会場：第一中学校体育館 講師：萩野 真世 氏(MAX) 斎藤 雄太 氏(MAX) 岩佐 義明 主任指導員
12月22日(木)	仙台市立松森小学校	68	会場：松森小学校体育館 講師：萩野 真世 氏(MAX) 岩佐 義明 主任指導員
2月3日(金)	岩沼市立岩沼西小学校	174	会場：岩沼市立西小学校体育館 講師：萩野 真世 氏(MAX) 岩佐 義明 主任指導員 遠藤 貴紀 指導員
2月10日(金)	柴田町立槻木小学校	150	会場：槻木小学校体育館 講師：岩佐 義明 主任指導員 遠藤 貴紀 指導員 石田 隼亮 指導員

(オ) ノルディックウォーキング

開催日	対象団体	参加人数	会場／講師
5月20日(金)	わたげ福祉会	10	会場：広瀬川飯田河原 講師：岩佐 義明 主任指導員 石田 隼亮 指導員
3月30日(木)	わたげ福祉会	10	会場：広瀬川飯田河原 講師：石田 隼亮 指導員

(カ) バドミントン

開催日	対象団体	参加人数	会場／講師
6月17日(金)	あしたのタネまき	7	会場：体育センター 講師：遠藤 貴紀 指導員

(キ) フライングディスク

開催日	対象団体	参加人数	会場／講師
8月10日(水)	登米市社会福祉協議会豊里支所	30	会場：豊里多目的研修センター 講師：遠藤 貴紀 指導員 石田 隼亮 指導員



10月17日(月)	登米市社会福祉協議会米山支所	9	会場：登米市中津山公民館 講師：遠藤 貴紀 指導員 石田 隼亮 指導員
-----------	----------------	---	---

(ク) 卓球バレー

開催日	対象団体	参加人数	会場／講師
10月28日(金)	多賀城市身体障害者福祉協会	15	会場：体育センター 講師：岩佐 義明 主任指導員 遠藤 貴紀 指導員
3月24日(金)	村田町身体障害者福祉協会	9	会場：村田町多世代交流センター 講師：遠藤 貴紀 指導員

オ 体育センター杯クロスカントリー大会

体育センターの敷地内を利用して、1500m走、3000m走の陸上大会を開催しました。

施設利用者や地域の方が参加しやすい大会にすることで、障がいの有無に関わらず、多くの方が交流できました。

	日時	参加人数	会場
1	3月12日(日)9:30~12:00	39	体育センターグラウンド

カ 市町村向けパラスポーツ体験会

より多くの方にパラスポーツを知ってもらうために、体育センター主導で各市町村の社会福祉協議会等の団体と連携し体験会を開催しました。

開催日	市町村	競技	参加人数	会場／講師
2月25日(土)	角田市	車いすバスケットボール フライングディスク ボッチャ	148	会場：角田市総合体育館 講師：向後 寄夫 氏(MAX) 岩佐 義明 主任指導員 遠藤 貴紀 指導員 石田 隼亮 指導員
3月5日(日)	登米市	車いすソフトボール フロアバレーボール ボッチャ	38	会場：登米市迫体育館 講師：宮城県障害者スポーツ指導者協議会 宮城ファイティング・スピリッツ 杜の都スパイカーズ

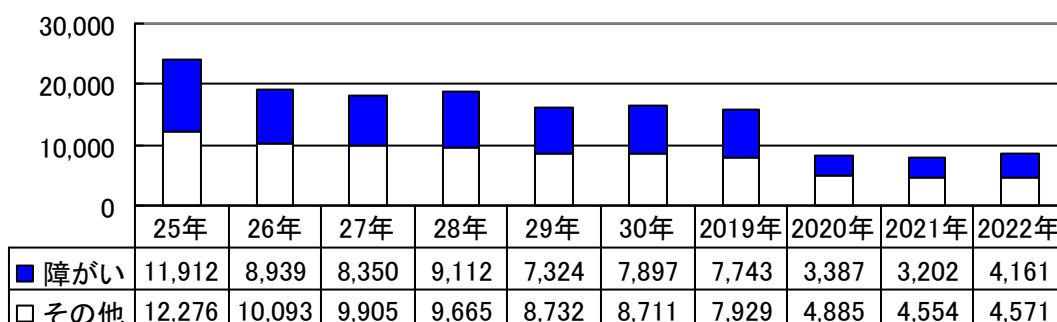
(4) 施設の貸し館業務

障がい者スポーツ活動を目的とする個人や団体に対し、体育館やグラウンドを優先的に貸し出しました。また、それ以外を目的とする個人や地域の団体に対しても貸し出しをおこなっています。

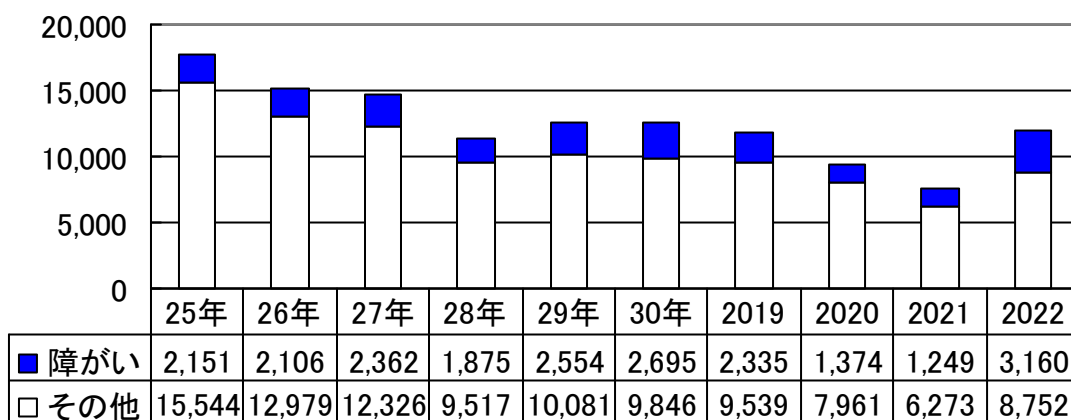
貸し館	障がいのある方・人数	その他の方・人数	合計
体育館	4,161 (3,202)	4,571 (4,554)	8,732 (7,756)
グラウンド	3,160 (1,249)	8,752 (6,273)	11,912 (7,522)

件数	障がいのある方・件数	その他の方・件数	合計
体育館	697 (599)	357 (278)	1,054 (877)
グラウンド	179 (69)	267 (157)	446 (243)

体育館利用人数 過去10年比較



グラウンド利用人数 過去10年比較



## 2 サービスの向上推進事業

### (1) 利用者サービスの向上に向けた取組み

#### ア 運営協議会の開催

当センターの運営を円滑かつ効果的並びにサービスの向上を図るために、障がい者団体や関係団体から選出された委員で、施設運営や施設利用に関すること、主催事業に関すること、その他体育センターの管理上必要な事項、運営方針等について協議しました。

今年度1回目の運営協議会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面での報告になりました。

	日時	参加人数
1	新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面で報告(7月)	
2	1月7日(土)13:00~14:00	10

#### イ 利用調整会議の開催

施設利用の公平性を期し、障がい者及び一般利用者の利用調整会議を開催し、円滑かつ効果的な運営を図りました。障がい者スポーツ活動団体の利用を優先しその後、障がい者スポーツ活動以外の団体利用に提供しました。

##### (ア) 障がい者スポーツ活動団体

	日時	参加団体
1	5月7日(土)10:00~12:00	21
2	9月3日(土)10:00~12:00	20
3	1月7日(土)10:00~12:00	21

##### (イ) その他の目的団体

	日時	参加団体
1	5月30日(月)10:00~12:00	8
2	9月26日(月)10:00~12:00	8
3	1月30日(月)10:00~12:00	8

#### ウ 苦情解決委員会の設置

当センターの利用に関係したトラブルの未然防止と軽減に努めるとともに、寄せられた苦情については苦情解決委員会に従って解決を図っています。

苦情解決の申し出件数 0件

#### エ 虐待防止委員会の設置

虐待防止、早期発見、虐待を受けた利用者への保護等を図れるよう、虐待防止の指針の作成や研修に努めます。

### (2) 利用者の要望の把握と反映の方法

#### ア 意見箱の設置

当センター内に「意見箱」を設置し、利用者のニーズの把握を図り、施設運営や事業の企画に反映しました。

受付件数 0件

#### イ 利用者からの要望、ご意見(上記以外の方法で受付：窓口・運営協議会での要望)

受付件数 0件

### (3) 利用者の増加策

ア 魅力のある事業等でスポーツ活動を実施できるよう、環境の充実に努めました。

イ 体育センターの事業、貸館利用法を紹介するチラシを作成し、地域の学校、施設、団体へ配布しました。

ウ ホームページに予約状況を掲載し、利用者が施設の空き状況を把握しやすい環境をつくり、より効率的に施設を利用していただけるように努めました。

### 3 自主事業

#### (1) 施設利用者各種大会（卓球大会）

当センターの利用団体を中心に、県内の卓球愛好家同士が広く交流し、日頃の練習の成果を発揮できる大会の開催を支援しました。

	日時	支援団体	参加人数
1	12月18日(日)9:00~14:00	宮城県障害者卓球協会	24

#### (2) 救命救急法講習会

利用者の病気・けが等は、突発的に起こることが多く、日頃から職員の意識付けが必要であることから、当センター・福祉センター・温水プールを対象に、日本赤十字社宮城県支部の指導のもと救命救急講習をおこないました。

	日時	参加人数
1	5月25日(水)13:00~15:00	12
2	1月18日(水)13:00~15:00	11

### 4 環境配慮の取組み

宮城県の「わが社のe行動（eco do!）宣言に基づき、「環境配慮実践事業者」として登録し、積極的に環境に配慮した取り組みをおこなっています。

#### (1) 取組項目

##### ア 物品等の調達にあたっての配慮

エコマークやリサイクル等の環境ラベルのある商品・物品を使用しました。

##### イ 省エネルギー対策

不要な照明のスイッチをこまめに消すなど、照明の適正な管理をおこないました。

##### ウ 自動車燃料使用量の削減

無駄なアイドリングをなくし、エコドライブに努めました。

##### エ 省資源対策

使用済み用紙の裏面活用や印刷時の用紙の節約等に努めました。

また、水洗トイレ用擬似音発生器を設置しており節水に努めました。

##### オ 廃棄物の減量化・リサイクルの推進

紙、金属片、ガラス瓶、プラスチック、電池等の分別の徹底に努めました。

### 5 障害者就労施設等からの物品等の優先調達

宮城県内の障害者就労施設等からの物品等の調達の推進を図るため、具体的目標を設定し、その行動実践に努めました。

障害者就労施設等から提供可能な物品の情報については、年間を通し情報の収集に努め、その情報を参考に物品などの調達を推進しました。

	調達物品・役務	調達の対象となる障がい者就労施設等	金額(円)
1	広報誌(印刷)	就労継続支援B型事業所	144,100
2	会議茶菓子	就労継続支援B型事業所	2,050
		合計	146,150

## 6 地域公益活動

利用促進のためにパンフレットの配布、広報誌「スロープ」によるスポーツ教室や地域巡回指導の紹介等、情報提供をおこないました。

## 7 職員の資質向上

各種事業の企画・運営にあたり、より質の高いサービス（指導）内容で業務に取り組むことが必要と考え、積極的に外部研修に参加しました。

月日	内容	参加人数
9月27日(火)	アサーティブコミュニケーション研修(オンライン研修)	2
1月14日(土)	障害者スポーツ指導員研修会(車いすスラローム・音響走)	1
1月19日(木)	スポーツ施設管理者のための障がい者対応講習会	2

## 8 安全管理と防災対策

施設利用される方々が、安全に安心して利用できるよう日常点検、施設設備点検、職員の防災意識向上、及び利用者への施設利用前後の準備運動の徹底と事故防止を図りました。特に、東日本大震災での教訓を生かし、近隣施設との連携強化、情報提供等に努めています。

### (1) 消防設備点検の実施

	日時
1	7月6日(水) 9:00~11:00
2	1月11日(水) 9:00~11:00

### (2) 施設内外の日常点検の実施(随時)

### (3) 災害用非常食、救急用品の備蓄(随時)

### (4) 防災対策、交通安全の研修会(随時)

## 9 施設・設備の保全

施設の老朽化で懸念される設備の劣化や破損に留意し、日頃からの職員による点検を実施するとともに、施設の安全に配慮し、保守点検や修繕をおこないました。

		項目
1	新設	女子更衣室カーテン取付工事
2	修繕	玄関・ロビー照明器具改修工事(LED)
3	修繕	アリーナ床改修工事(宮城県施設整備事業)
4	新設	グラウンド駐車場拡張工事(宮城県施設整備事業)
5	修繕	受水槽1次側屋外給水管修理(漏水工事)
6	修繕	女子更衣室給湯管修理(漏水工事)

## L 肢体不自由児協会事業

令和元年度以降、コロナ禍にあって休止していた「きぼっこキャンプ」を、共催団体のきぼっこキャンプ実行委員会（ボランティア団体）と協議を重ね、対策を講じることでおこなうことができました。このことは、令和5年度の第50回きぼっこキャンプ実施への足がかりになりました。

令和3年度に宮城県内「障がい児親の会ご紹介」の冊子を作成・配付を通して得た親の会との協働関係については、「親なきあと」を念頭に置きながら、「将来的に必要なお金について考える」をテーマとする学習会を開催し、更に連携を深めることに努めました。

宮城県の地域生活支援事業として実施した「パソコンボランティア養成講座」では、基礎講座及び応用講座に加えて、医療的ケア児を含め重度重複肢体不自由児のコミュニケーション支援を内容とする「パソコンボランティア養成学習会」を開催しました。

また、地域との連携を図り、亘理町障害者等地域自立支援協議会をはじめとして、山元町障害者地域協議会、介護福祉士養成校の会議に参画しました。

### 1 普及運動の実施

本運動は、ノーマライゼーションの理念に基づき、肢体不自由児等の障がいがある子どもとその家族の視座に立ち、地域共生社会の実現を目指す運動として実施しています。

#### (1) 「障がいのある子どもに愛の手を」普及運動

運動趣旨、事業内容に加えて、障がいのある子どもに対する理解促進を図り、障がい者に関するマークを掲載したリーフレット「肢体不自由児協会事業募金にご協力を」を作成し、県民の方々に配布しました。

また、障がい児（者）の自立援助のための事業の協賛（事業資金）を募りました。

ア 運動の趣旨 障がい児親の会の活動支援と協働について、関係団体・機関等との連携を図りながら、親の会等セルフヘルプグループを支援するシステム構築を目指す。

イ 普及運動地域 宮城県一円

ウ 事業資金募集の概要

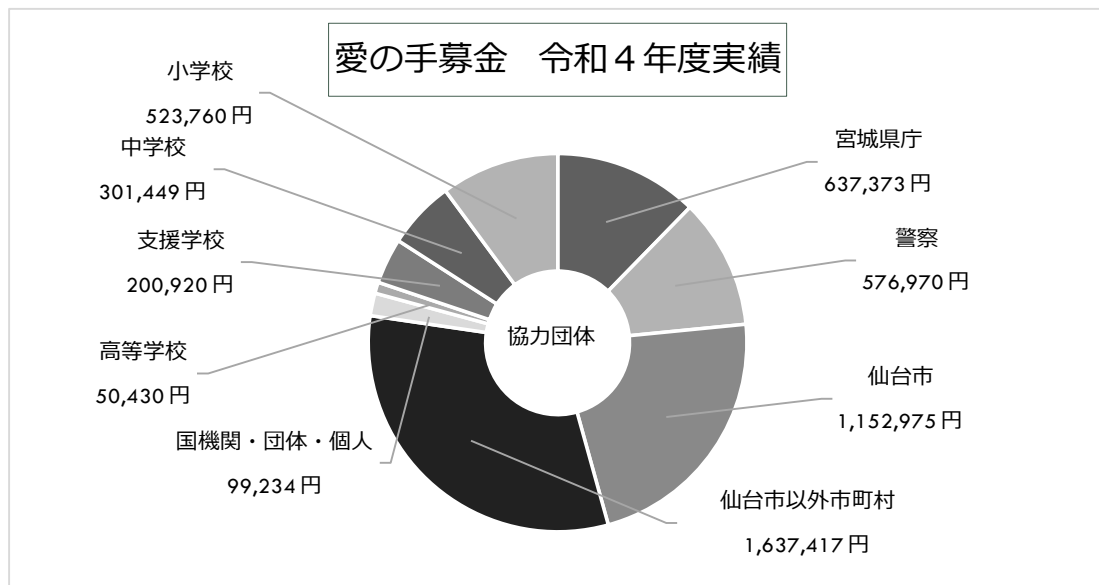
(ア) 協賛金額 1口200円

(イ) 募集期間 令和4年9月1日から令和5年1月31日まで

(ウ) 募集対象 宮城県内官公所(署)、団体、(公・私立)小・中・高等・特別支援学校など

令和4年度愛の手募金実績

依頼先		ご協力口数	募金額(円)
県 庁	本 庁	1,453	279,398
	地方公所	1,854	357,975
	計	3,307	637,373
市 町 村	仙台市	5,851	1,152,975
	他市町村	7,618	1,637,417
	計	13,469	2,790,392
宮城県警察	県警本部	1,433	285,740
	警察署	1,470	291,230
	計	2,903	576,970
他機関・団体等	国機関	75	14,690
	団 体	249	49,378
	個人等	7	35,166
	計	331	99,234
学 校	小学校	2,672	523,760
	中学校	1,578	301,449
	高等学校	256	50,430
	支援学校	1,028	200,920
	計	5,534	1,076,559
愛の手募金合計		25,544	5,180,528



上記団体の職員等有志よりご協力いただきました実績です。

(2) 第70回「手足の不自由な子どもを育てる運動」

社会福祉法人日本肢体不自由児協会、各都道府県の肢体不自由児協会が主催して、全国一斉に展開した第70回「手足の不自由な子どもを育てる運動」を宮城県内の関係諸団体に対して周知を図り、併せて、本運動を推進しました。

ア 後援

(全国)

内閣府	厚生労働省
文部科学省	日本郵便株式会社
都道府県	日本障害者協議会
全国社会福祉協議会	全国肢体不自由児者父母の会連合会
全国肢体不自由児施設運営協議会	全国特別支援学校肢体不自由教育校長会
全国都道府県教育長協議会	全国連合小学校長会
全日本中学校長会	全国高等学校長協会
日本私立中学高等学校連合会	日本PTA全国協議会
日本放送協会	日本チャリティプレート協会
日本医師会	全国肢体不自由特別支援学校PTA連合会

(宮城)

宮城県	仙台市
宮城県教育委員会	仙台市教育委員会
宮城県社会福祉協議会	宮城県肢体不自由児者父母の会連合会
宮城県小学校長会	仙台市小学校長会
宮城県中学校長会	仙台市中学校長会
宮城県市町村教育委員会協議会	

イ 運動期間 令和4年11月10日から12月10日まで

(ア) 手足の不自由な子どもを育てる運動のポスターを県内小学校、中学校、特別支援学校に掲示を依頼し、啓発活動をおこないました。

(イ) 肢体不自由児・者への認識と関心を深め、併せて、障がい児・者の自立援助のため、希望する児童生徒と教職員に「友情と愛の絵はがき」「クリアファイル」「2WAYフォルダー」を頒布しました。

## 2 社会参加促進事業の実施

(1) 第49回「きぼっこキャンプ」

主 催：社会福祉法人 宮城県障がい者福祉協会 肢体不自由児協会事業

共 催：きぼっこキャンプ実行委員会

後 援：宮城県、宮城県教育委員会、宮城県肢体不自由児者父母の会連合会

参加者：児童生徒5名、ボランティア(学生)8名、ボランティアスタッフ11名、  
ボランティアOG3名、OB2名



キャンプ実施日・参加人数：

7月23日（土）9：30～12：00（会場 宮城県障害者福祉センター）

8月 7日（日）9：30～12：00（会場 宮城県障害者福祉センター）

8月13日～14日（1泊2日）（AONE×MATKA 川崎町青根）

スタッフ会議：9回（会場 宮城県障害者福祉センター）

ボランティアトレーニング：6回（会場 宮城県障害者福祉センター5回、  
AONE×MATKA 1回）

きぼっこキャンプ後のお楽しみ会（ボランティア学生企画）

秋のお楽しみ会 日 時：11月13日（日）10：00～12：30

会 場：宮城県障害者福祉センター

内 容：ボッチャ体験、懇談会

車いす送迎車寄贈式参加

参加者：12名（4家庭6名、ボランティア6名）

春のお楽しみ会 日 時：3月4日（土）10：00～12：30

会 場：宮城県障害者福祉センター

内 容：ボッチャ、卒業を祝う会（小学校1名、中学校3名）

参加者：14名（5家庭児童生徒6名、ボランティア8名）

### 3 セルフヘルプグループ支援システム推進事業

#### （1）親の会学習会（親の会と共催）

障がい児（者）家庭のライフステージごとの生活課題とお金の対策について、親が亡くなる前に考えておきたい、お金に関する制度及び仕組みなどを含めての学習会を開催しました。

テーマ：「将来的に必要なお金について考える」

講 師：特定非営利活動法人障がい者の暮らしとお金の相談室 齋藤 真一氏

##### 第1回学習会

日 時：9月8日（木）10：00～12：00

会 場：亘理町保健福祉センター 会議室

参加者：重症心身障がい児親の会「ベリーの会」 5名

##### 第2回学習会

日 時：11月2日（水）10：00～12：00

会 場：気仙沼市市民福祉センターやすらぎ 会議室

参加者：コミュニティ広場ふぁみりあ（5名）、気仙沼マザーズホーム保護者等  
10名

#### （2）重症心身障がい児親の会「ベリーの会」への協力

4月に計画されていたベリーの会の総会は、コロナの影響により書面表決となりました。その他の諸行事に参加しました。

行事	期日	主たる内容	会場	出席者
定例会	5/19(木) 10:00 ～12:00	・亶理町災害時個別避難支援 計画について ・手帳取得者名義の自動車税 について ・その他、意見交換等	亶理町中央公民館	会員 5 名 肢不協 1 名
定例会	6/16(木) 10:00 ～12:00	・地域交流 音楽会について ・その他、意見交換等	亶理町保健福祉 センター	会員 6 名 肢不協 1 名
きょうだい 支援	11/3(木) 10:00 ～13:00	・バーベキュー交流会	グリーンピア岩沼	会員 5 家庭 11 名 ボランティア 10 名 肢不協 1 名
クリスマス会	12/17(土) 10:00 ～15:30	・コンサート NPO 子育て応援団 ピンポンパン	亶理町中央公民館	会員 8 家庭 22 名 ボランティア 9 名 肢不協 1 名
交流会	2/16(木) 10:00 ～12:30	・制作活動 (タイルアート)	亶理町保健福祉 センター	会員 4 名 肢不協 1 名

#### 4 地域生活支援事業

##### (1) パソコンボランティア養成業務 (受託事業)

障がい者の福祉に理解と熱意を有し、情報通信技術に一定の知識・技能を有する者に対して、障がい者のパソコン機器等の使用に関する支援に必要な技術等の習得を目標とするパソコンボランティア養成講座を通してパソコンボランティアを養成し、もって障がい者の社会参加促進を図りました。

##### ア パソコンボランティア養成講座の概要 (会場:宮城県障害者福祉センター)

	期 日	講 師 (敬称略)	受講者
基礎 課程	9月3日(土) (9:30～16:30)	・オリエンテーション、社会福祉概論 宮城県障がい者福祉協会 末田 耕司 ・肢体不自由者とICT支援について 仙台市重度障害者コミュニケーション支援センター 堀米 香菜 ・肢体不自由者支援の実際 メイ・ソリューション株式会社 木島 真央	5名
中上 級 課程	9月17日(土) 10月1日(土) 10月15日(土) (9:30～16:30)	9月17日 ・肢体不自由者支援機器 (スイッチインターフェイス等) 東北福祉大学 情報福祉研究室 高橋 俊史 ・パソコンボランティア活動の実際 パソコンボランティア 田邊 治	5名

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 肢体不自由者支援機器・ソフト (ipad)  仙海市重度障害者コミュニケーション支援センター 木島 真央</li> <li>10月1日</li> <li>・ 視覚障害者支援ソフト (音声入力ソフト)  仙海市視覚障害者福祉協会 嶋原 真一</li> <li>・ コミュニケーションと自己覚知  相談支援事業所 おもいやライフ 高橋 壮</li> <li>・ コミュニケーションについて  宮城県障がい者福祉協会 末田 耕司</li> <li>10月15日</li> <li>・ AT、AACによるコミュニケーション支援  楽暮プロジェクト 竹島 久志</li> <li>・ 障がい者福祉概論、まとめ  宮城県障がい者福祉協会 末田 耕司</li> </ul>	
--	--	--

イ パソコンボランティア養成学習会の概要 (会場:宮城県障害者福祉センター)

期 日	講 師 (敬称略)	受講者
2月19日(日) (9:30~16:30)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ AT、AACによるコミュニケーション支援  ~重度重複障害児童生徒の支援~  楽暮プロジェクト 竹島 久志</li> </ul>	5名

## 5 地域との連携・地域公益事業

### (1) 関連機関委員委嘱等による会議出席の概要

#### ア 亘理町障害者等地域自立支援協議会

全体会 2回参加

第1回 令和3年度 全体会及び各部会の活動状況報告

令和4年度 全体会及び各部会の活動計画

県南エリアコミュニティ地域支援拠点県南ありのまま舎の進捗状況報告

第2回 令和4年度 全体会及び各部会の活動状況報告

県南エリアコミュニティ地域支援拠点県南ありのまま舎の進捗状況報告

子ども部会 2回参加

第1回 情報共有、部会長選任、協議事項 (取り組み計画、活動報告等)

第3回 医療的ケア児への支援、不登校児への支援、今年度振り返り、  
次年度の取り組みについて

#### イ 山元町障害者等地域協議会 2回参加

第1回 令和3年度山元町障害者地域協議会の取組状況と地域課題について  
障害者計画・障害福祉計画の状況について

第2回 山元町障害者地域協議会における障害福祉施策検討整理について  
山元町地域福祉計画策定について

- ウ 東北保健医療専門学校 教育課程編成委員会（介護福祉課） 2回参加  
議事 国家試験について、介護福祉士養成課程新カリキュラムについて  
介護実習について、規則（職務）第3条に基づく意見交換

## 6 その他

### (1) 相談支援

主たる新規相談

- ・子ども用車いすの貸出
- ・肢体不自由者（施設利用者） 1名（パソコン学習支援）
- ・大学生 1名（卒業論文に関して）
- ・大学教員 1名（医療的ケア児に関する研究について）
- ・ベスト（着衣）の寄贈先について

### (2) 社団法人生命保険協会宮城県協会「福祉募金寄贈先」の推薦施設選定のため訪問

- ・放課後等デイサービス「さんらいず」（山元町） 6月 8日
- ・放課後等デイサービス「そよ風 こだま」（美里町） 6月15日
- ・放課後等デイサービス「ココア（心愛Ⅲ）」（名取市）6月16日 訪問

### (3) 寄附受付 車いす送迎車

推薦団体 一般社団法人全国肢体不自由児者父母の会連合会  
宮城県肢体不自由児者父母の会連合会

寄贈団体 アステラス製薬株式会社 アステラス・フライングスター基金

寄贈車 ダイハツ アトレー（白）（4WD，軽自動車）

寄贈日 11月13日（日）

## 事業報告書の付属明細書

令和4年度事業報告には、社会福祉法施行規則第2条の25第3項に規定する付属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。